

桂川町
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
報告書

令和元年9月
桂川町

目次

第Ⅰ部 調査の概要..... 1

1. 調査の目的..... 1
2. 調査設計及び回収結果..... 1
3. 報告書の見方..... 1

第Ⅱ部 調査結果..... 3

第1章 就学前児童

1. 回答者の属性..... 3
 - (1) 居住地区..... 3
 - (2) 子どもの年齢..... 3
 - (3) 子どもの数..... 3
 - (4) 調査回答者..... 4
 - (5) 調査回答者の配偶関係..... 4
 - (6) 主な保育者..... 4
2. 子どもの育ちをめぐる環境について..... 5
 - (1) 子どもをみてもらえる人の状況..... 5
 - (2) 子育てをする上での相談者..... 6
3. 保護者の就労状況について..... 7
 - (1) 母親の就労状況..... 7
 - (2) 父親の就労状況..... 10
 - (3) フルタイムへの転換希望..... 13
 - (4) 就労希望（未就労者）..... 14
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について..... 18
 - (1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況..... 18
 - (2) 年間を通じて平日に定期的に利用している事業..... 19
 - (3) 教育・保育事業の現在の利用状況と希望..... 20
 - (4) 利用している教育・保育事業の実施場所..... 22
 - (5) 平日に利用している定期的な教育・保育事業の満足度..... 23
 - (6) 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由..... 24
 - (7) 定期的に利用したいと考える事業..... 25
 - (8) 幼稚園の利用を強く希望するか..... 26
 - (9) 教育・保育事業を利用したい場所..... 26
5. 地域の子育て支援事業の利用状況について..... 27
 - (1) 地域子育て支援拠点事業の認知度..... 27
 - (2) 地域子育て支援拠点事業の利用状況..... 28
 - (3) 地域子育て支援拠点事業の利用希望..... 29

6. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の	
	利用希望について…………… 30
(1) 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望……………	30
(2) 日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望……………	32
(3) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望……………	33
7. 幼児教育・保育の無償化について……………	35
(1) 幼児教育・保育の無償化が実施された場合の事業の利用意向……………	35
(2) 幼児教育・保育の無償化が実施された場合に希望する施設……………	36
8. 病気の際の対応について……………	37
(1) 子どもの病気等で教育・保育事業を利用できなかったこと……………	37
(2) 教育・保育事業を利用できなかった時の対処……………	38
(3) できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思ったこと……………	40
9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について……………	41
(1) 私用等の理由で不定期に利用している事業……………	41
(2) 私用等の理由で事業を利用する必要があると思うか……………	43
(3) 子どもを泊りがけで預けなければならなかったこと……………	45
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について……………	47
(1) 小学校低学年の放課後の過ごしませ方の希望場所……………	47
(2) 小学校高学年の放課後の過ごしませ方の希望場所……………	49
(3) 学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望……………	51
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について……………	55
(1) 育児休業の取得の有無……………	55
(2) 育児休業取得後の職場への復帰状況……………	59
(3) 職場復帰のタイミング……………	60
(4) 育児休業からの職場復帰時の子どもの年齢……………	61
(5) 希望の時期に育児休業から職場復帰しなかった理由……………	62
(6) 1歳まで育児休業を利用するか……………	64
12. 児童虐待について……………	65
(1) 「子どもへの虐待」を見聞きしたことがあるか……………	65
(2) 見聞きしたときの対処法……………	66
13. 子育て全般について……………	67
(1) 桂川町は子育てしやすいまちだと思うか……………	67
(2) 桂川町の子育て環境や支援の満足度と重要度……………	68

第2章 小学生児童

1. 回答者の属性……………	71
(1) 居住地区……………	71
(2) 子どもの学年……………	71
(3) 子どもの数……………	71
(4) 調査回答者……………	72
(5) 調査回答者の配偶関係……………	72

2. 子どもの身近な預け先	73
(1) 子どもの預け先の状況	73
3. 保護者の就労状況	76
(1) 母親の就労状況	76
(2) 父親の就労状況	79
(3) フルタイムへの転換希望	82
(4) 就労希望（未就労者）	83
4. 放課後の過ごし方について	88
(1) 小学生の放課後の過ごしさせ方の希望場所	88
5. 学童保育所（放課後児童クラブ）について	90
(1) 平日の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望	90
(2) 土曜日の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望	92
(3) 長期休暇中の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望	94
(4) 学童保育所（放課後児童クラブ）に対して希望すること	96
6. 病気の際の対応について	97
(1) 子どもの病気等で教育・保育事業を利用できなかったこと	97
(2) 病気等で教育・保育事業を利用できなかったときの対処	98
(3) できれば施設に預けたいと思ったか	100
7. 一時預かりについて	101
(1) 私用等の理由で不定期に利用している事業	101
(2) 私用等の理由で事業を利用する必要があると思うか	102
8. 宿泊を伴う一時預かりについて	104
(1) 子どもを泊りがけで預けなければならなかったこと	104
(2) 子どもを泊りがけで預けなければならなかったときの対処	104
9. 児童虐待について	106
(1) 「子どもへの虐待」を見聞きしたことがあるか	106
(2) 見聞きしたときの対処法	106
10. 子育て全般について	107
(1) 桂川町は子育てしやすいまちだと思うか	107
(2) 桂川町の子育て環境や支援の満足度と重要度	108

資料編 111

就学前児童保護者用	111
小学生児童保護者用	131
概要版	145

第 I 部 調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、平成 26 年度に策定した桂川町子ども・子育て支援事業計画が平成 31 年度に計画期間の終了年度を迎えるため、子ども・子育て支援法等の関連法に基づいて第 2 期計画を策定するにあたり、新たにニーズ量の推計を行うことを目的とする。

2. 調査設計及び回収結果

区分	就学前児童調査	小学生児童調査
1. 調査対象者	就学前児童全員の保護者	小学校 1～6 年の全児童の保護者
2. 調査方法	町内の幼稚園や保育所に通っている児童については、幼稚園、保育所で配布・回収し、それ以外の児童については、郵送による配布・回収を実施	町内の小学校に通っている児童については、小学校で配布・回収し、それ以外の児童については、郵送による配布・回収を実施
3. 調査期間	令和元年 7 月 3 日～7 月 17 日	令和元年 7 月 3 日～7 月 17 日
4. 回収状況	配布数 462 回収数 391 回収率 84.6%	配布数 513 回収数 380 回収率 74.1%

3. 報告書の見方

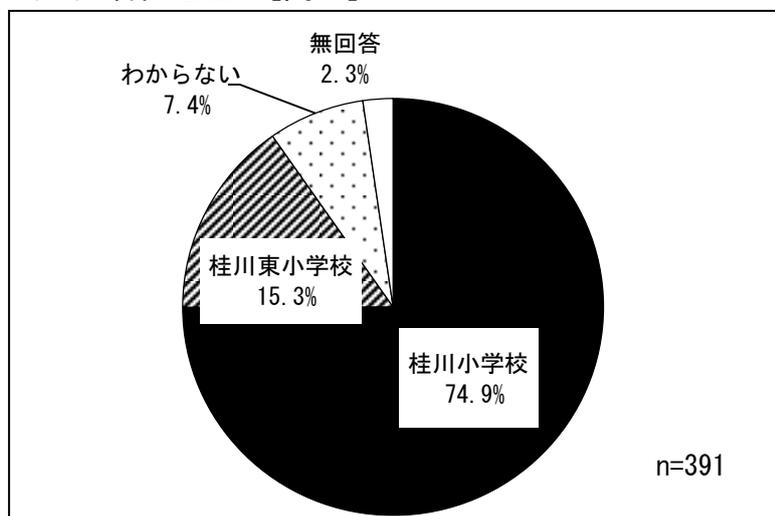
- (1) 図表中の回答者数は「n」で表している。
- (2) 回答は、回答者数を基数とした百分率（％）で表し、小数第二位を四捨五入した。このため百分率の合計が 100％にならないことがある。
- (3) 2 つ以上の複数回答ができる設問では、回答率が 100％を超えることがある。
- (4) 集計の選択肢表現は、コンピュータ入力の場合、調査票の回答選択肢を短縮して表記している場合がある。
- (5) 単純集計の図表中には、回答者数が非常に少ない場合がある。このような場合には、回答比率の数字が動きやすく、厳密な比較をすることが難しいので、回答の傾向をみる程度になる。また、回答者数が 0（ゼロ）人の設問に関しては、図表は掲載を省略した。

第Ⅱ部 調査結果

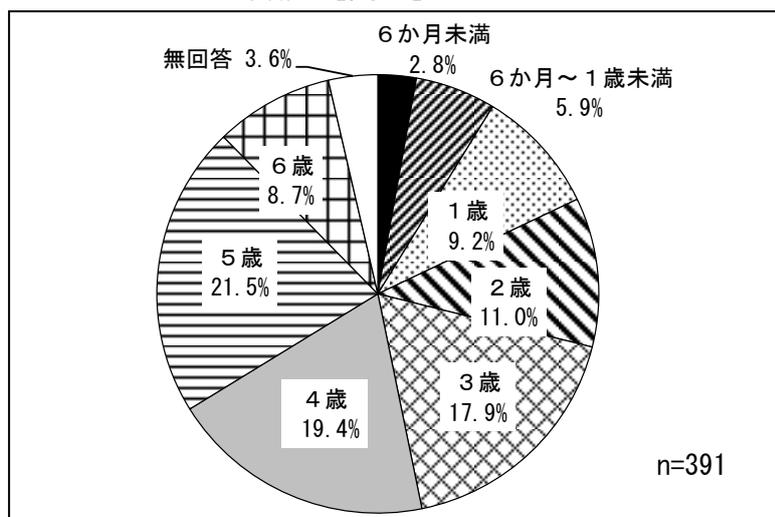
第1章 就学前児童

1. 回答者の属性

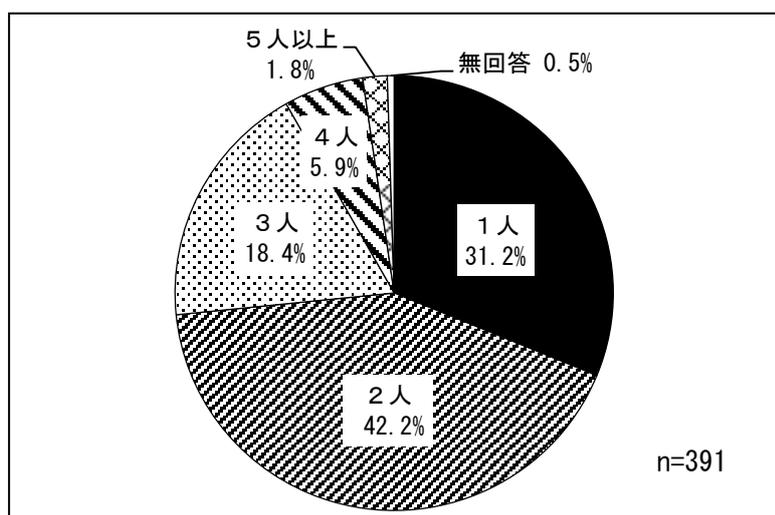
(1) 居住地区 [問1]



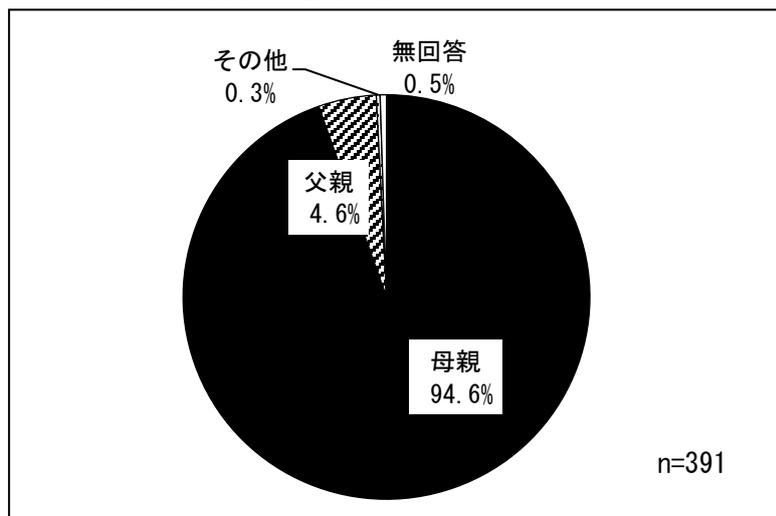
(2) 子どもの年齢 [問2]



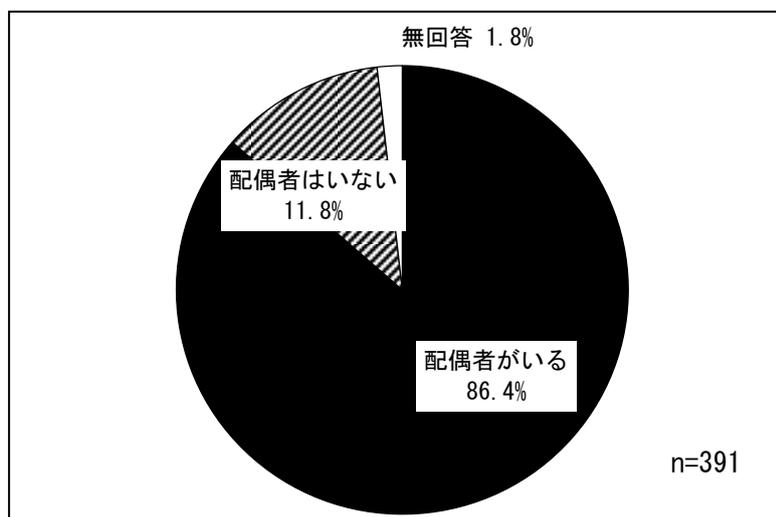
(3) 子どもの数 [問3]



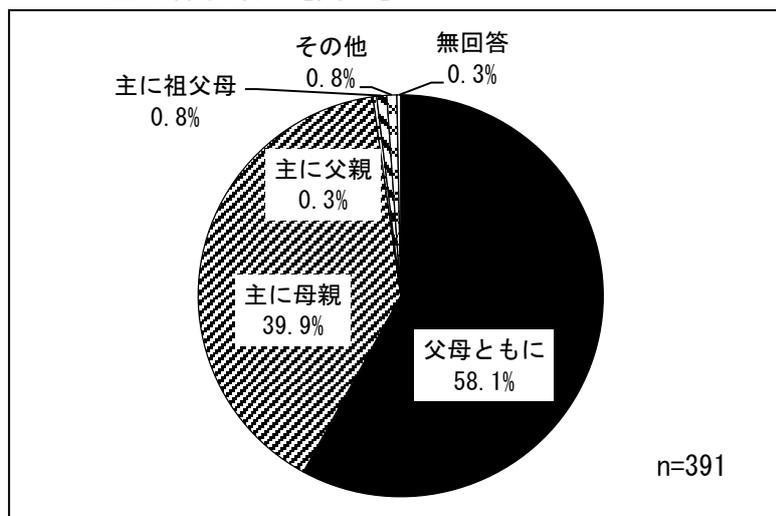
(4) 調査回答者 [問4]



(5) 調査回答者の配偶関係 [問5]



(6) 主な保育者 [問6]

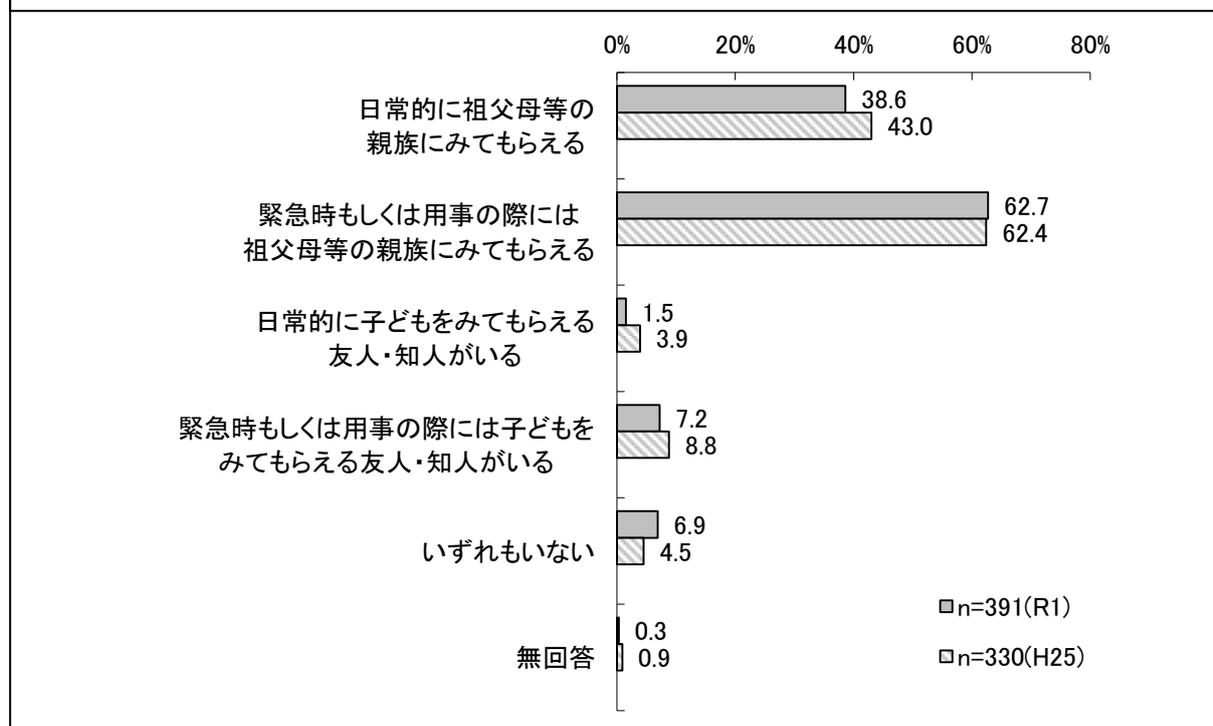


2. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子どもをみてもらえる人の状況

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

【〇はあてはまるものすべて】

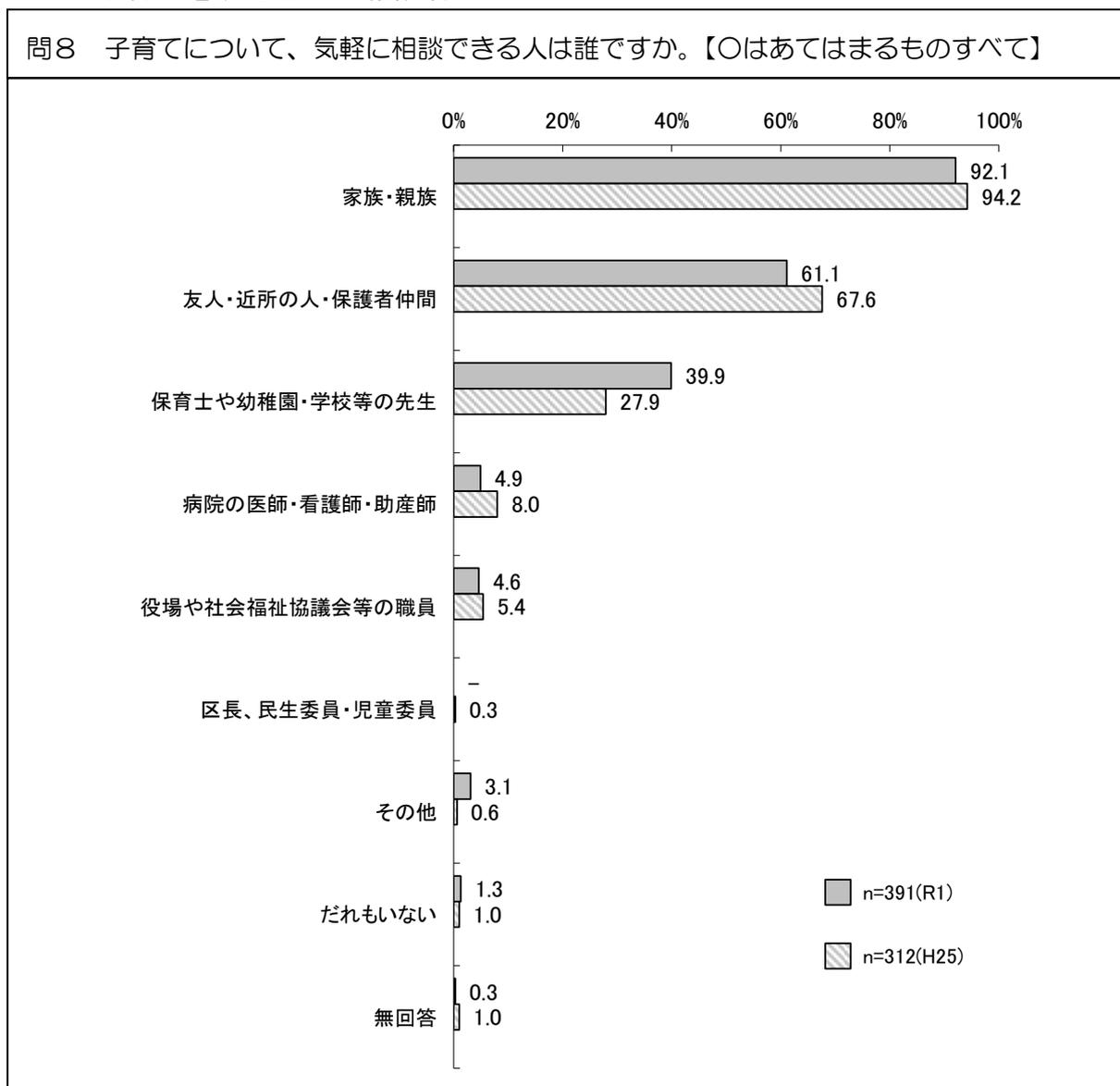


子どもをみてもらえる人の状況については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(62.7%)が6割台を占め最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(38.6%)となっています。

また、「いずれもない」の割合は6.9%でした。

前回調査結果と比較すると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が、今回やや低くなっています。

(2) 子育てをする上での相談者



子育てをする上での相談者については、「家族・親族」(92.1%)が最も多く、次いで「友人・近所の人・保護者仲間」(61.1%)となっています。

前回調査結果と比較すると、「友人・近所の人・保護者仲間」の割合が、今回やや低くなっており、一方で「保育士や幼稚園・学校等の先生」の割合は高くなっています。

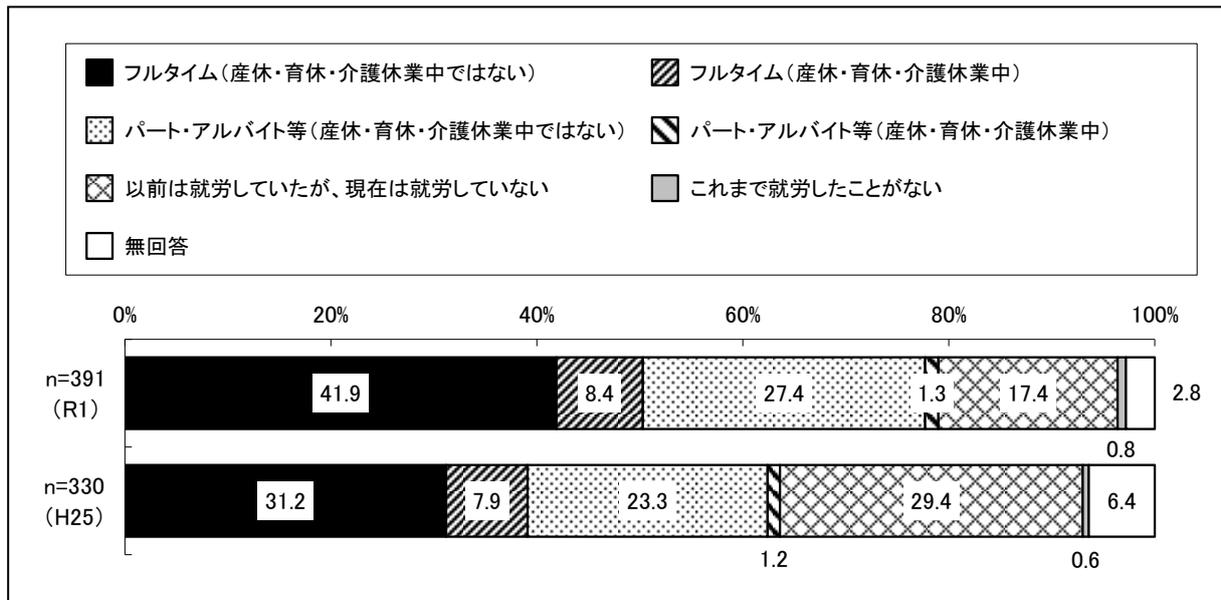
3. 保護者の就労状況について

問9 保護者の方の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。

（1）母親（父子家庭の場合は記入は不要です）【〇は1つだけ】

（1）母親の就労状況

①就労状況



母親の就労状況については、「フルタイムで就労中、産休・育休・介護休業中ではない」(41.9%)が最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労中、産休・育休・介護休業中ではない」(27.4%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(17.4%)となっています。

「フルタイム」「パート・アルバイト等」をあわせると、仕事に就いている母親は79.0%となっています。

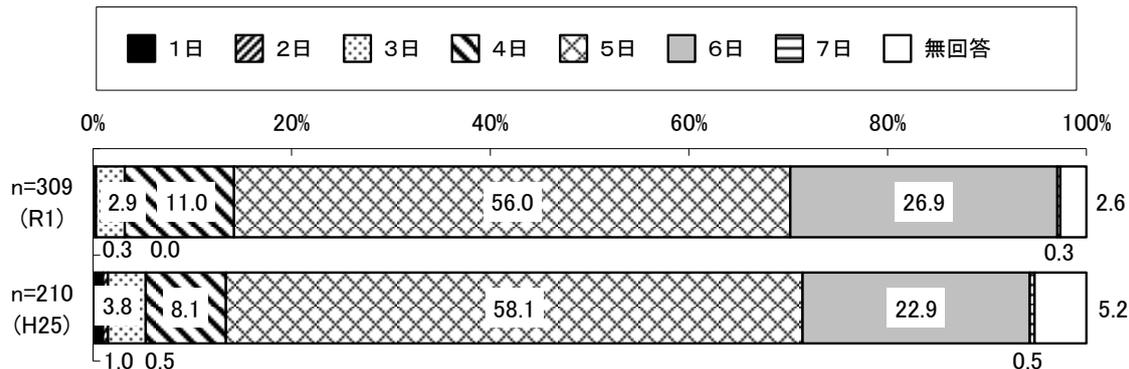
前回調査結果と比較すると、今回「フルタイム」、「パート・アルバイト等」ともに割合が高くなっており、仕事に就いている母親の割合が前回に比べ高くなっています。また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合は、前回は大きく下回っています。

②就労日数・就労時間

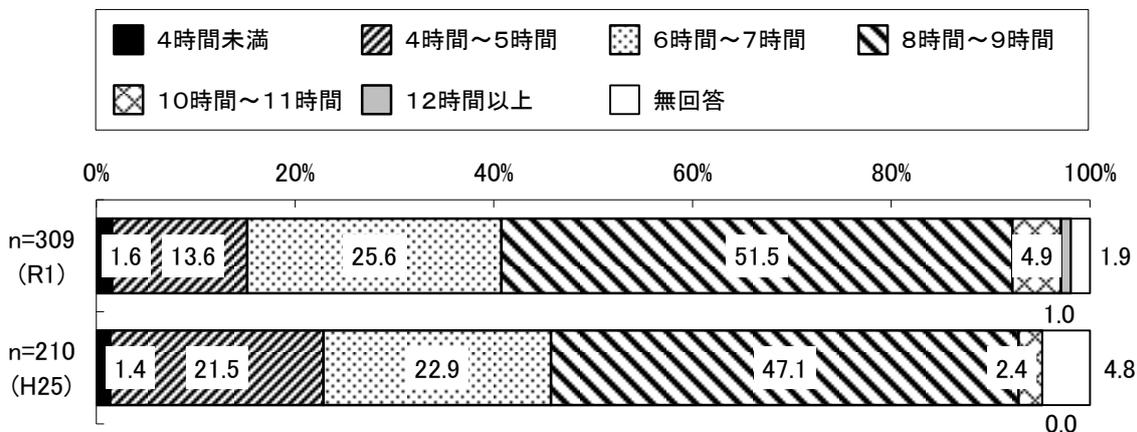
《(1) -1・2は、問9(1)で「1」～「4」を選ばれた方におうかがいします。》

(1) -1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【数字で記入】

【1週あたり就労日数】



【1日あたり就労時間】



母親の1週あたりの就労日数は「5日」(56.0%)が最も多く、次いで「6日」(26.9%)となっており、1日あたりの就労時間は「8～9時間」(51.5%)が最も多く、次いで「6～7時間」(25.6%)となっています。

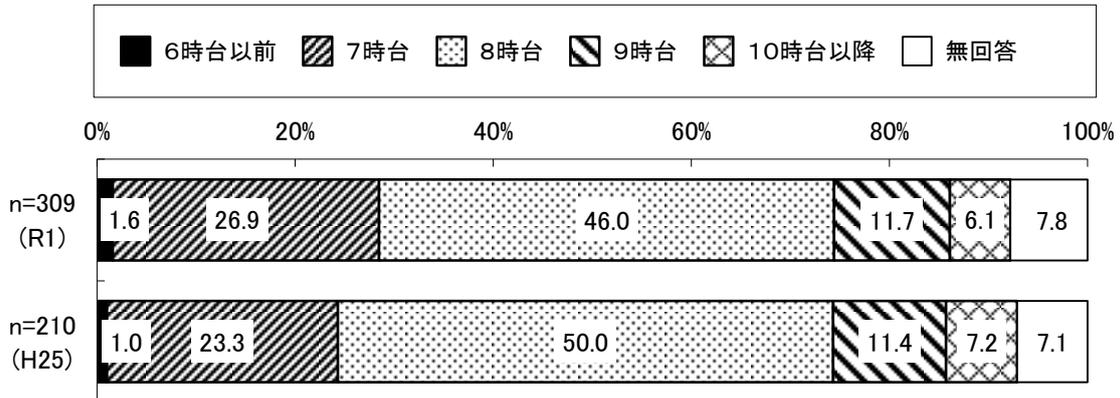
前回調査結果との比較では、1週あたりの就労日数に大きな変化はありません。

1日あたりの就労時間では、今回「4～5時間」の割合が低くなっており、一方で6時間以上の時間帯の割合は高く、前回より長時間での回答割合が高くなっています。

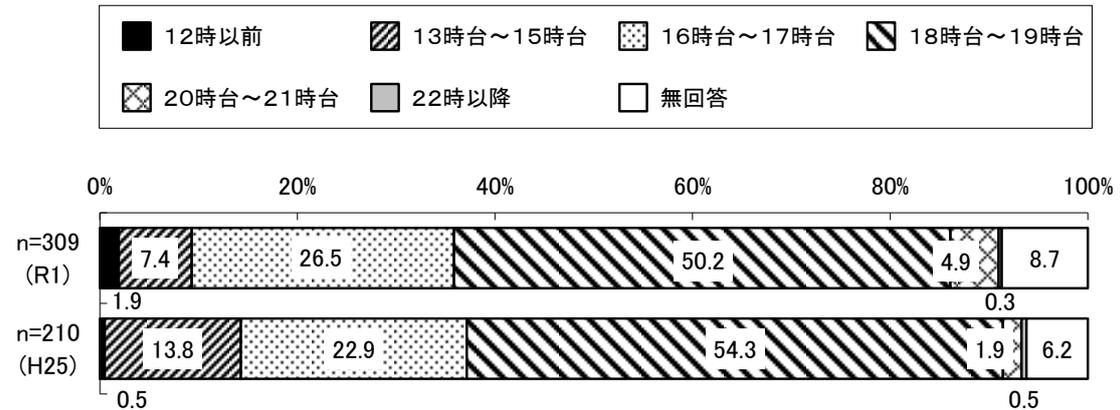
③出勤時刻・帰宅時刻

(1) - 2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【数字で記入】

【出勤時刻】



【帰宅時刻】



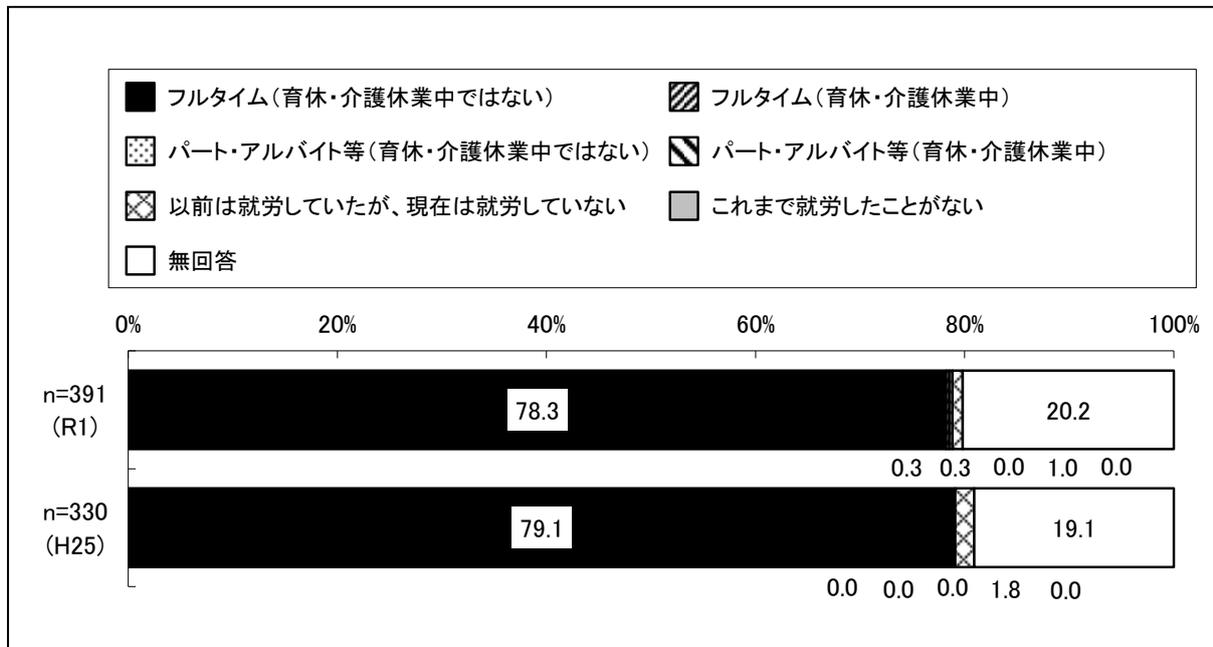
母親の出勤時刻は「8時台」(46.0%)が最も多く、帰宅時刻は「18～19時台」(50.2%)が最も多くなっています。

前回調査結果と比較すると、出勤時間では大きな差はみられませんが、帰宅時間では、今回「13～15時」の割合が低く、「16～17時台」の割合が高くなっており、やや遅い時間での回答割合が高くなっています。

問9 保護者の方の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。
 (2) 父親（母子家庭の場合は記入は不要です）【〇は1つだけ】

(2) 父親の就労状況

①就労状況



父親の就労状況については、「フルタイムで就労中、産休・育休・介護休業中ではない」(78.3%)が最も多く、「フルタイム」「パート・アルバイト等」をあわせると仕事に就いている父親が78.9%となっています。

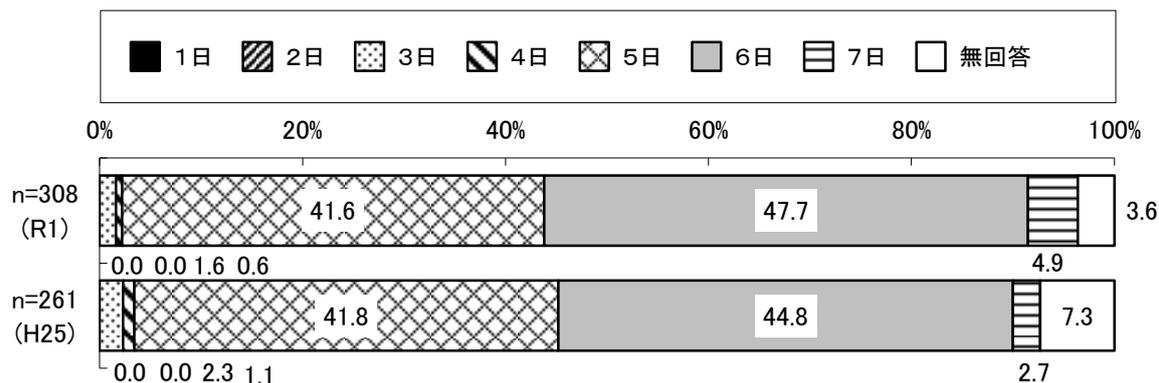
前回調査結果との比較では、特に大きな差はみられませんでした。

②就労日数・就労時間

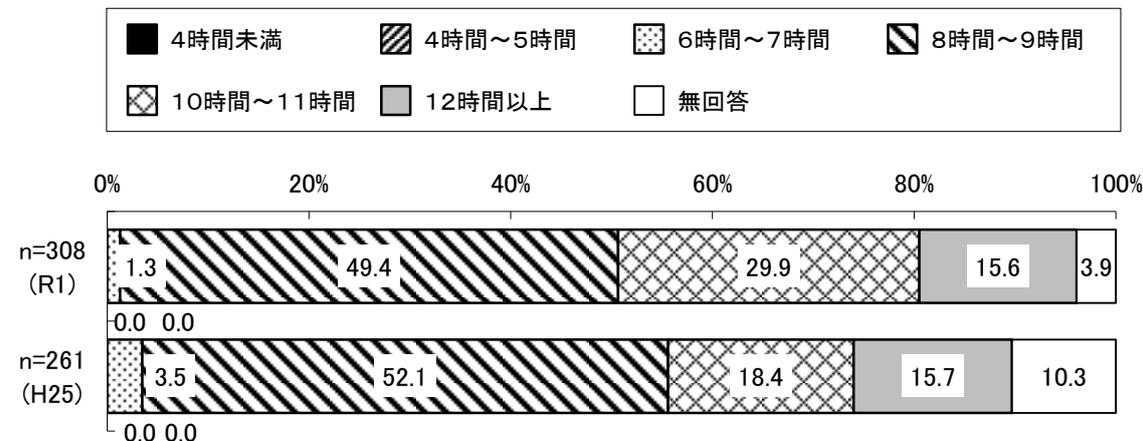
《(2) -1・2は、問12(2)で「1」～「4」を選ばれた方におうかがいします。》

(2) -1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【数字で記入】

【1週あたり就労日数】



【1日あたり就労時間】



父親の1週あたりの就労日数は「6日」(47.7%)が最も多く、次いで「5日」(41.6%)となっています。

1日あたりの就労時間は「8～9時間」(49.4%)が最も多く、次いで「10～11時間」(29.9%)、「12時間以上」(15.6%)となっています。

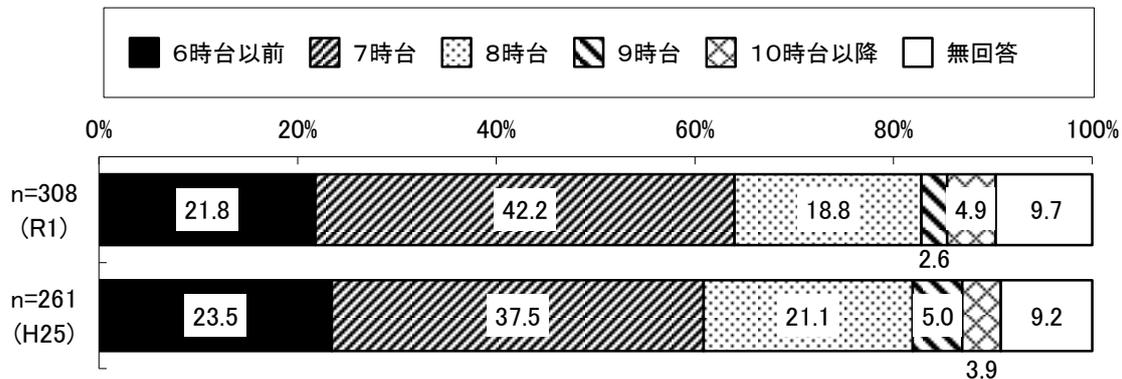
前回調査結果との比較では、1週あたりの就労日数に大きな変化はありません。

1日あたりの就労時間では、今回「8～9時間」の割合がやや低くなっており、一方で「10～11時間」の割合は高くなっており、前回より長時間での回答割合が高くなっています。

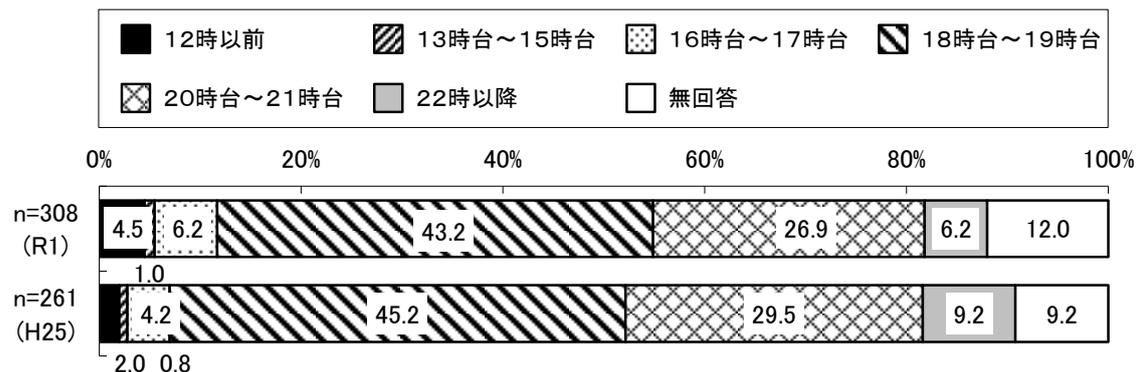
③出勤時刻・帰宅時刻

(2) - 2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【数字で記入】

【出勤時刻】



【帰宅時刻】



父親の出勤時刻は「7時台」(42.2%)が最も多く、帰宅時刻は「18～19時台」(43.2%)が最も多くなっています。

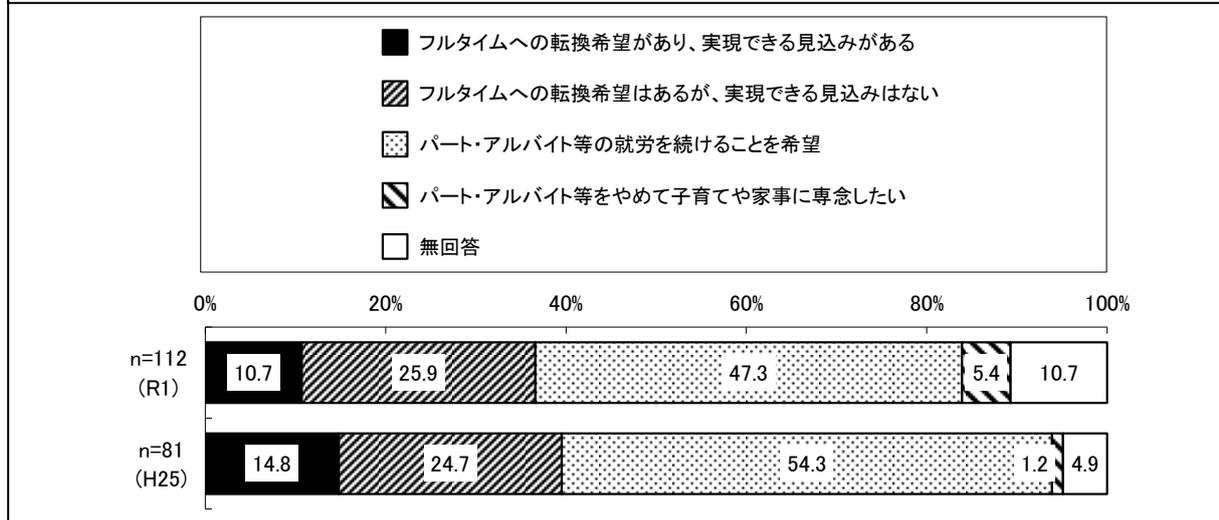
前回調査結果と比較すると、出勤時間、帰宅時間ともに大きな差はみられませんでした。

(3) フルタイムへの転換希望

①母親

《問10は、問9(1)または(2)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労)を選ばれた方におうかがいします。》

問10 フルタイムへの転換希望はありますか。【〇は1つだけ】



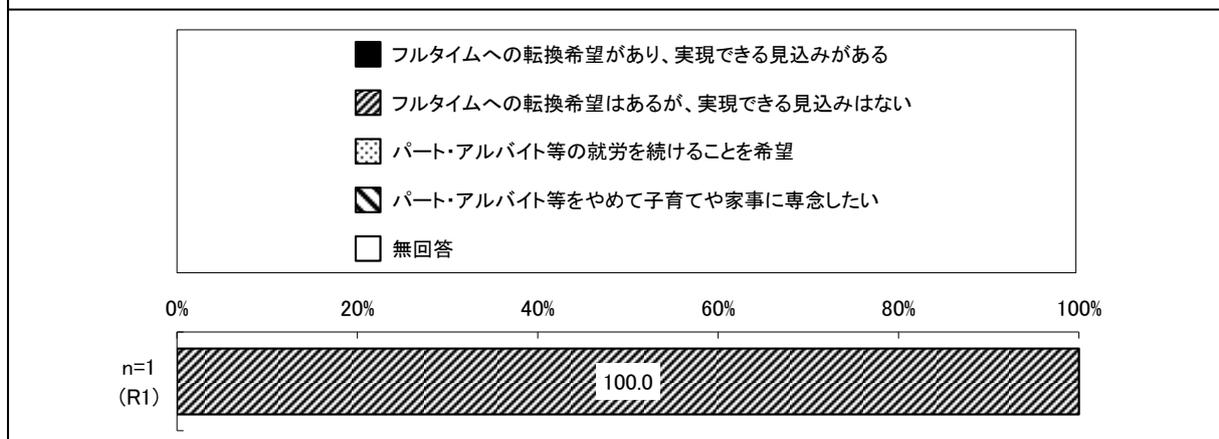
パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」(47.3%)が最も多くなっています。

一方、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(10.7%)と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(25.9%)をあわせると、フルタイムへの転換希望者は36.6%となっています。

前回調査結果と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」する割合が、今回低くなっています。

②父親

問10 フルタイムへの転換希望はありますか。【〇は1つだけ】



パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望については、該当者1人で「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」との回答がありました。

(4) 就労希望 (未就労者)

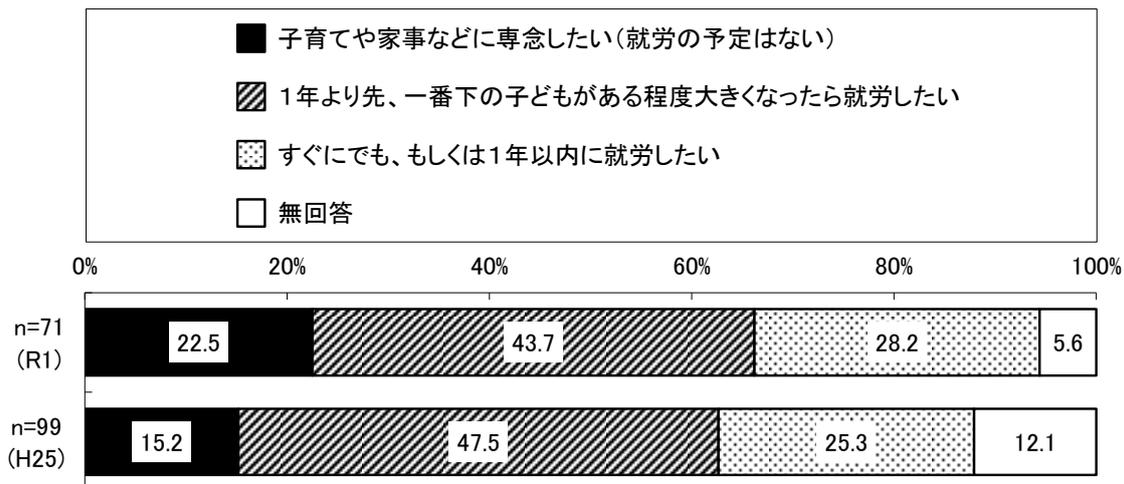
① 母親

《問11は、問9(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」を選ばれた方におうかがいします。》

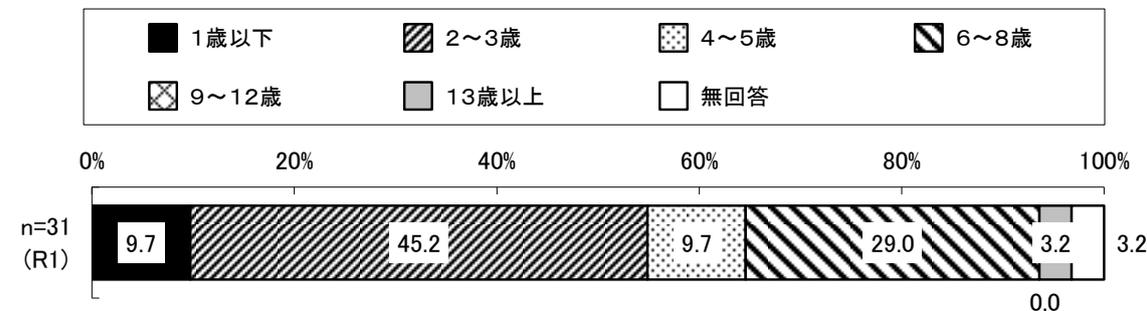
問11 就労したいという希望はありますか。【○は1つだけ】

また、該当する箇所に数字をご記入ください。【数字で記入】

【就労希望】



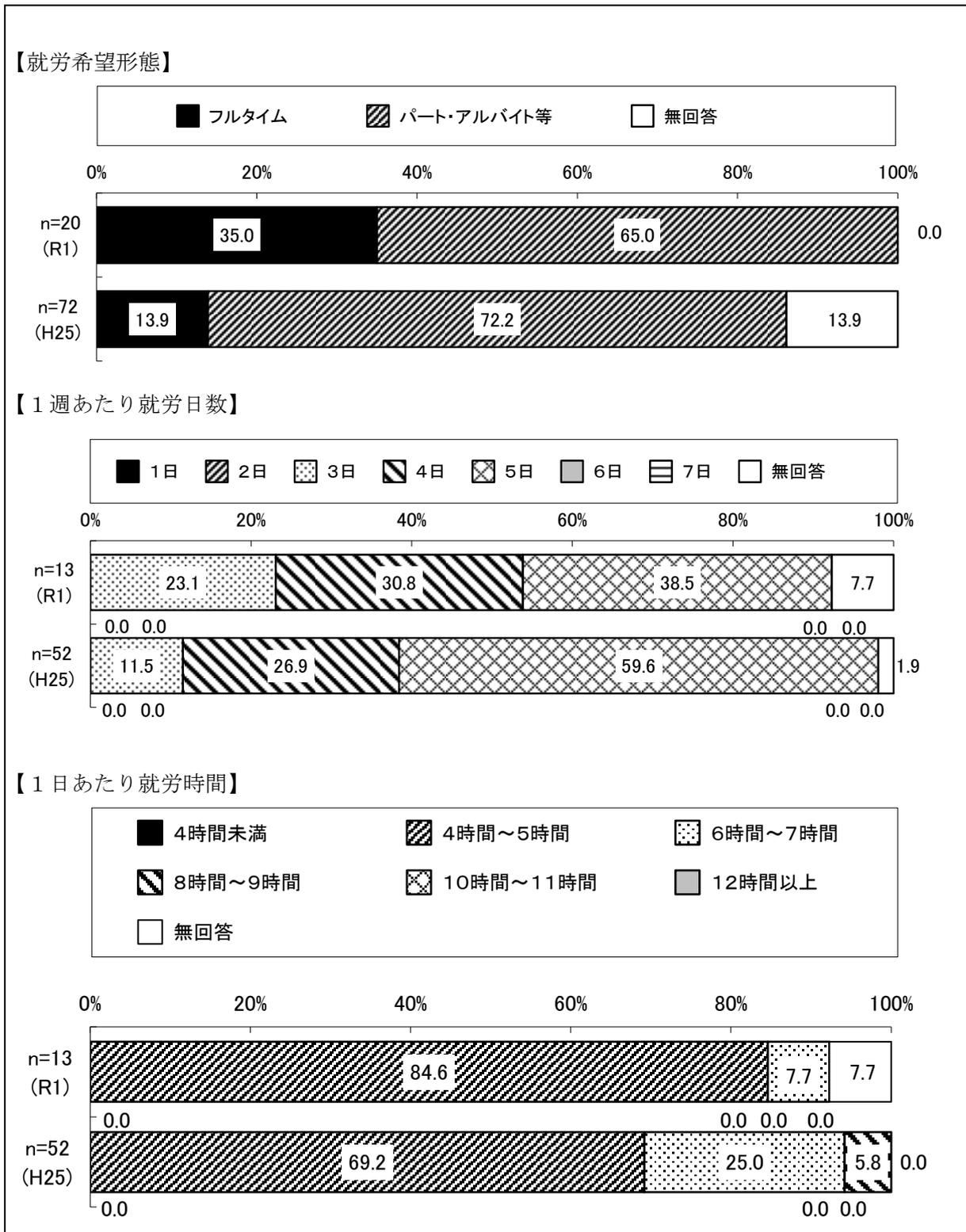
【子どもの年齢】



就労していない母親の就労希望については、「1年より先、一番下の子どもがある程度大きくなったら就労したい」(43.7%)が最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(28.2%)、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(22.5%)となっており、就労希望者は71.9%となっています。

「1年より先、一番下の子どもがある程度大きくなったら就労したい」と回答した人に、一番下の子どもが何歳になったら就労したいかたずねたところ、「2~3歳」(45.2%)が最も多く、次いで「6~8歳」(29.0%)となっています。

母親の就労希望を前回調査結果と比較すると、今回「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が高くなっています。



「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人に希望する就労形態をたずねた結果では、「パート・アルバイト等」(65.0%)、「フルタイム」(35.0%)となっています。

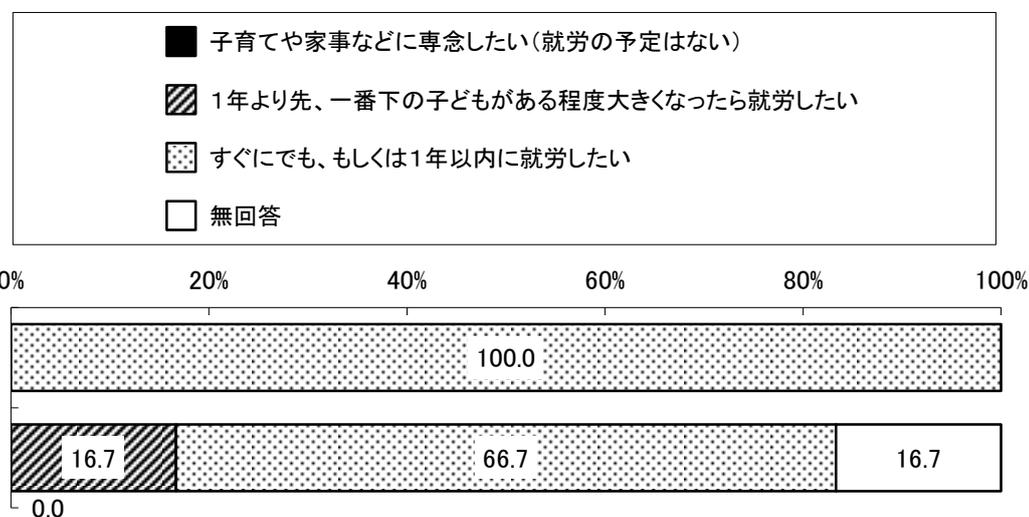
また、パート・アルバイト等希望者に希望する就労日数・就労時間をたずねたところ、1週あたり就労希望日数は「5日」(38.5%)、1日あたり就労希望時間は「4～5時間」(84.6%)が最も多くなっています。

前回調査結果と比較すると、今回就労形態では「フルタイム」の割合が高くなっています。パート・アルバイト等希望者の希望する1週あたりの就労日数では「3日」の割合が高く、「5日」の割合が低くなっており、1日あたりの就労時間は「4～5時間」の割合が高くなっています。

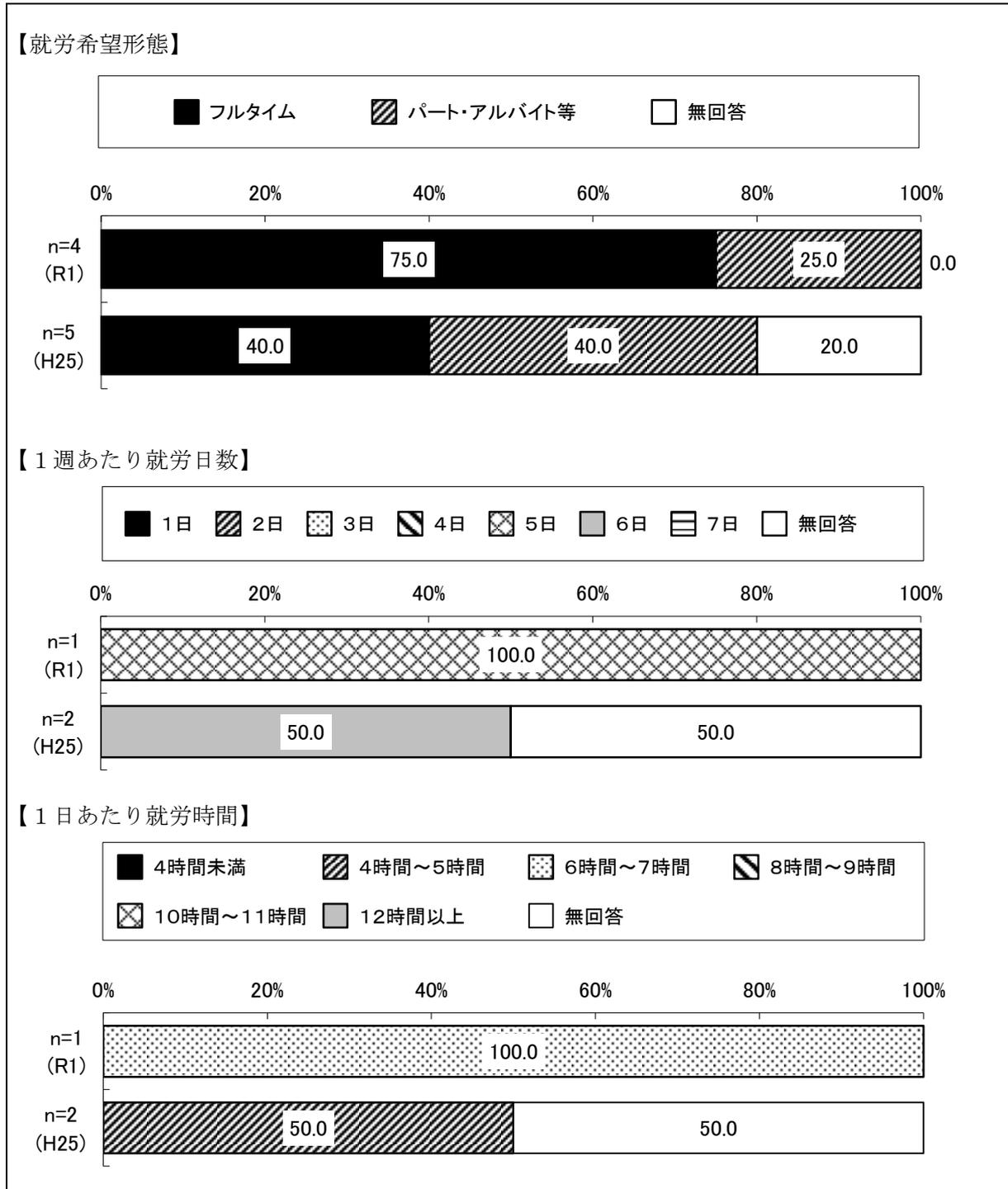
②父親

問 11 就労したいという希望はありますか。【〇は1つだけ】
また、該当する箇所に数字をご記入ください。【数字で記入】

【就労希望】



就労していない父親の就労希望については、該当者4人全員が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答しています。



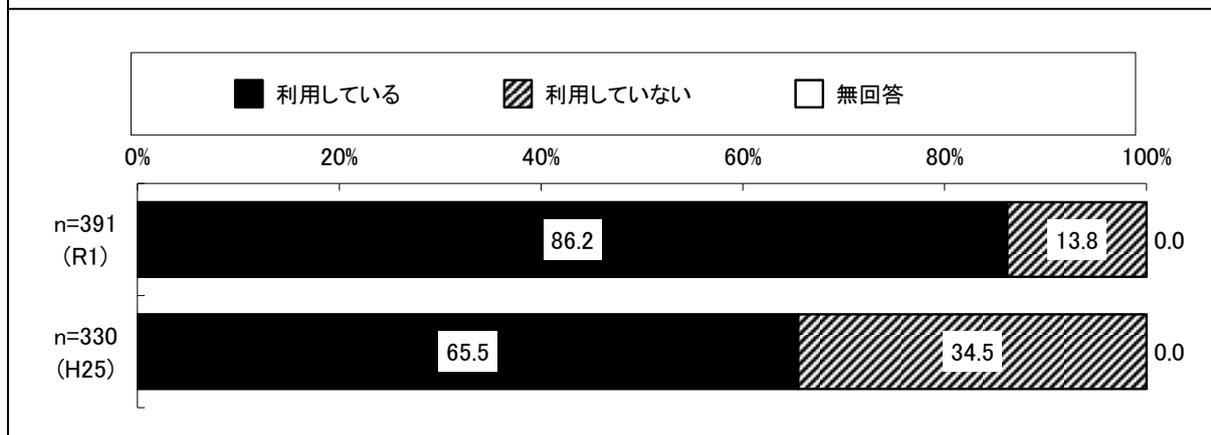
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人に希望する就労形態をたずねた結果では、「フルタイム」(75.0%)、「パート・アルバイト等」(25.0%)となっています。

また、パート・アルバイト等希望者に希望する就労日数・就労時間をたずねたところ、1週あたり就労希望日数は「5日」(100.0%)、1日あたり就労希望時間は「6～7時間」(100.0%)となっています。

4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問12 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所、認定こども園などの「平日の定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。【〇は1つだけ】



平日の定期的な教育・保育事業の利用状況については、「利用している」(86.2%)が9割近くを占めています。

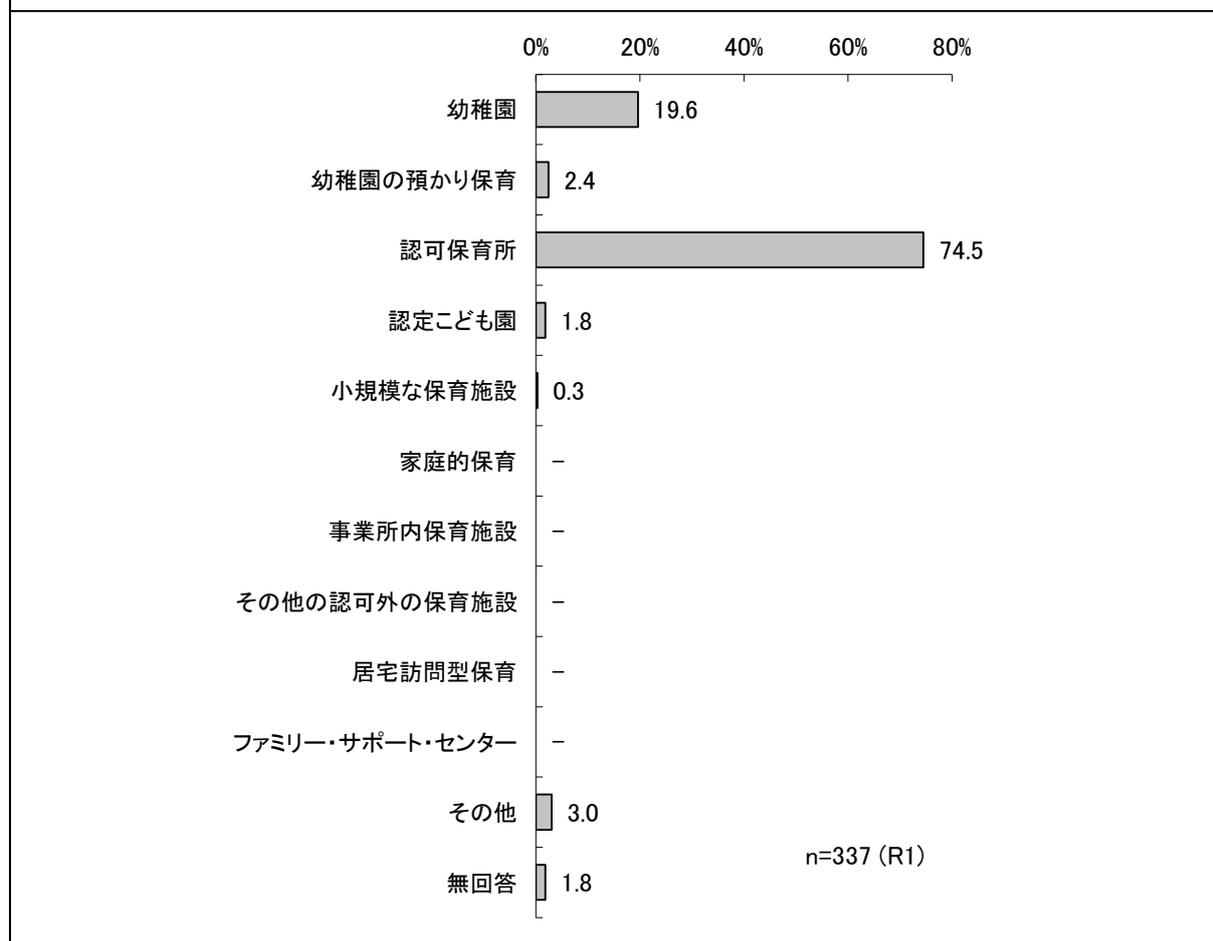
前回調査結果との比較では、今回「利用している」割合が大きく伸びています。

(2) 年間を通じて平日に定期的に利用している事業

《問 12-1~4 は、問 15 で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。》

問 12-1 年間を通じて平日に定期的に利用している事業をお答えください。

【〇はあてはまるものすべて】

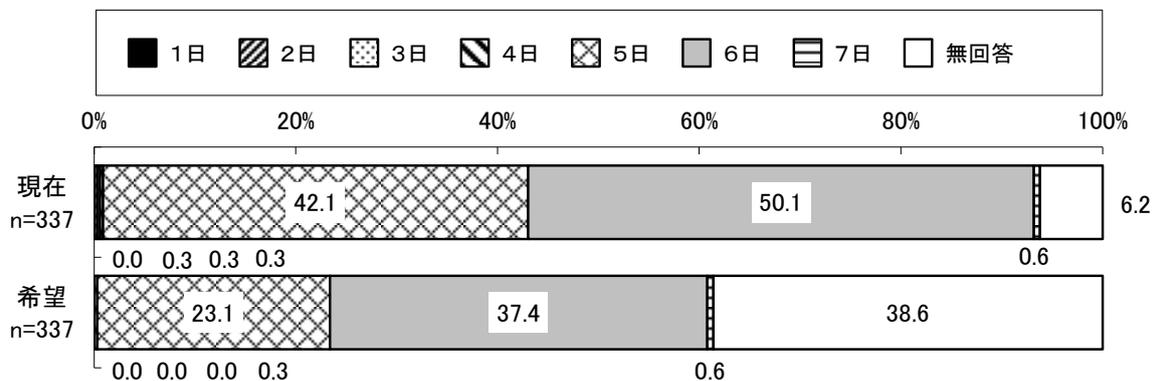


平日の定期的な教育・保育事業を利用している人に、利用している事業の種類をたずねた結果、「認可保育所」(74.5%)が最も多く、次いで「幼稚園」(19.6%)となっています。

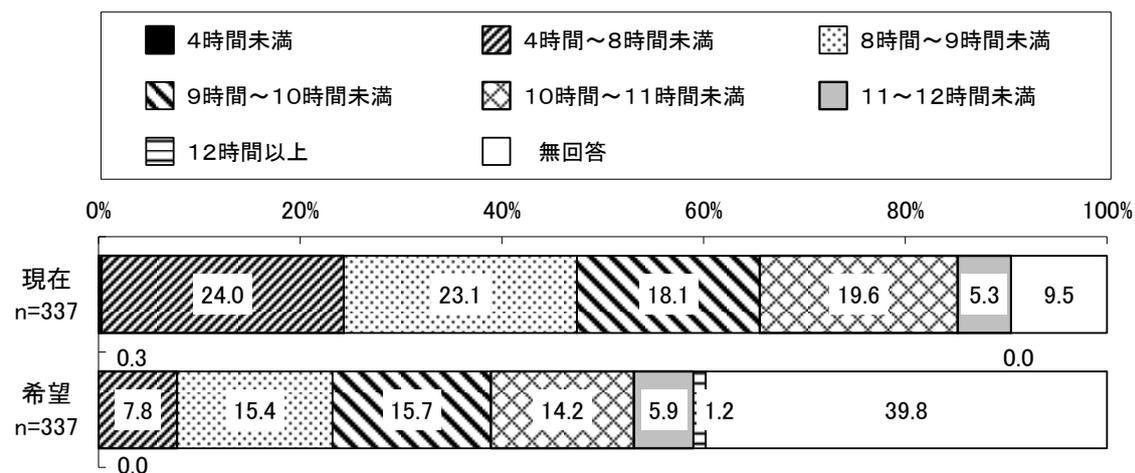
(3) 教育・保育事業の現在の利用状況と希望

問12-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かお答えください。【数字で記入】

【1週あたり利用日数】

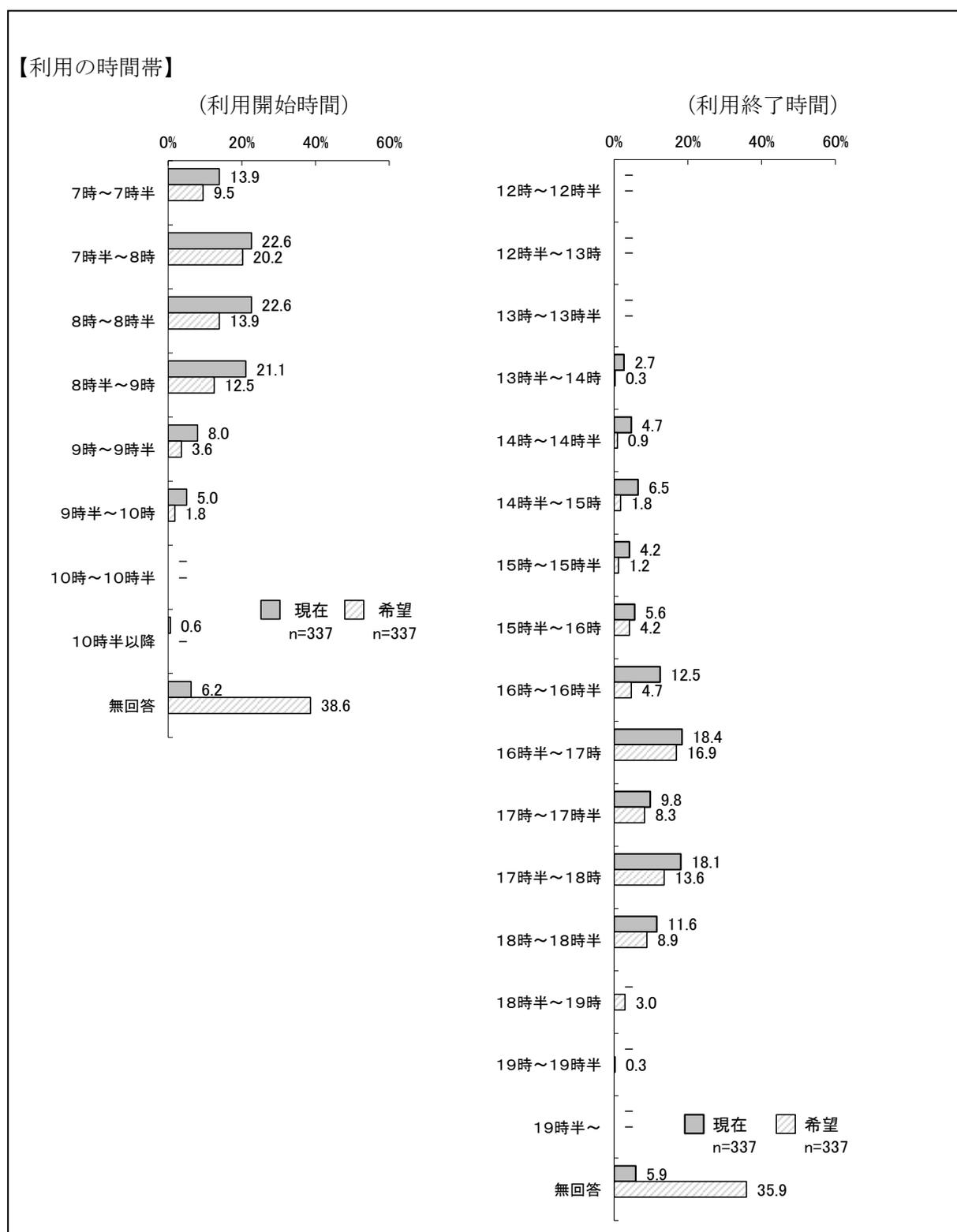


【1日あたり利用時間】



平日の定期的な教育・保育事業の現在の1週あたり利用日数は「6日」(50.1%)が最も多く、次いで「5日」(42.1%)となっています。希望する1週あたり利用日数でも、「6日」(37.4%)が最も多く、次いで「5日」(23.1%)となっています。

現在の1日あたり利用時間は「4～8時間未満」(24.0%)が最も多く、次いで「8～9時間未満」(23.1%)、「10～11時間未満」(19.6%)となっています。一方、希望する1日あたり利用時間は「9～10時間未満」(15.7%)が最も多く、次いで「8～9時間未満」(15.4%)、「10～11時間未満」(14.2%)となっています。

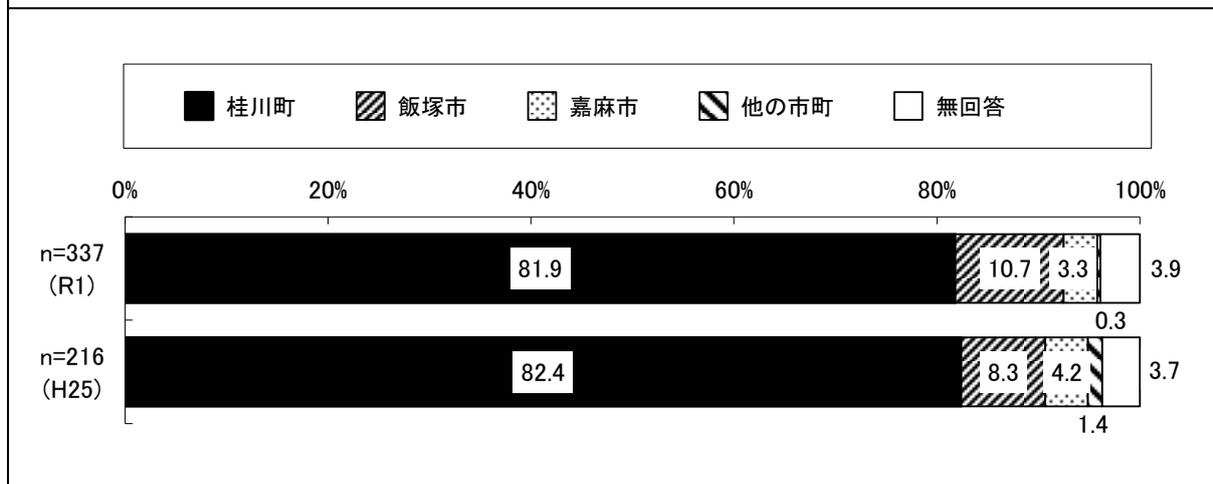


平日の定期的な教育・保育事業の現在の利用時間帯をみると、利用開始時間は「7時半～8時」「8時～8時半」（いずれも 22.6%）が最も多く、次いで「8時半～9時」（21.1%）となっています。希望する利用時間帯でも、利用開始時間は「7時半～8時」（20.2%）が最も多く、次いで「8時～8時半」（13.9%）となっています。

現在の利用終了時間は「16時半～17時」（18.4%）が最も多く、次いで「17時半～18時」（18.1%）となっています。希望する利用終了時間でも、「16時半～17時」（16.9%）が最も多く、次いで「17時半～18時」（13.6%）となっています。

(4) 利用している教育・保育事業の実施場所

問12-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。【〇は1つだけ】

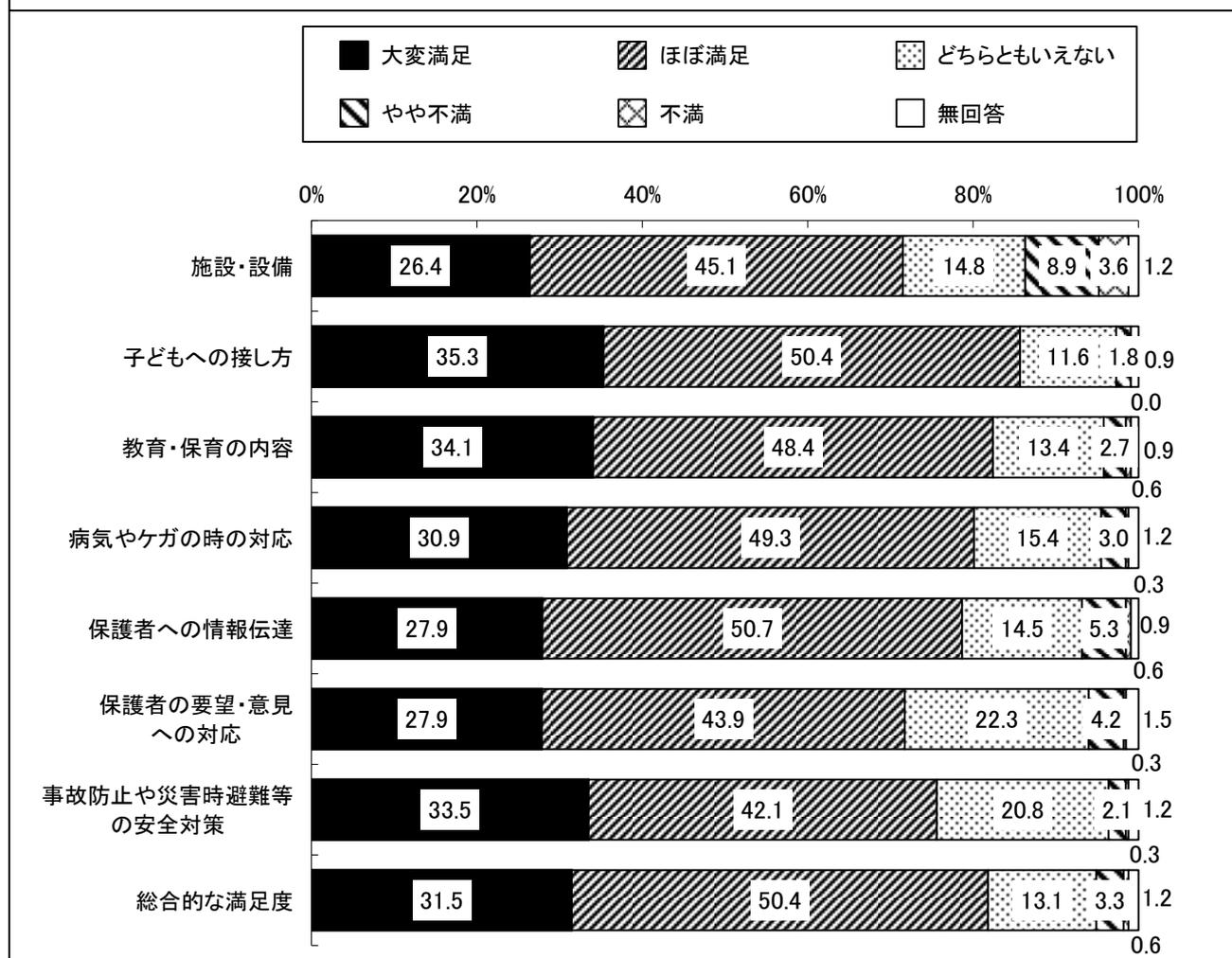


平日の定期的な教育・保育事業の実施場所は「桂川町」(81.9%)が8割を超えて最も多く、次いで「飯塚市」(10.7%)、「嘉麻市」(3.3%)、「他の市町村」(0.3%)となっています。

前回調査結果との比較では、特に大きな差はみられませんでした。

(5) 平日に利用している定期的な教育・保育事業の満足度

問 12-4 現在、利用されている幼稚園や保育所に対してどのように感じていますか。
【〇は1~8それぞれ1つ】



平日の定期的な教育・保育事業の満足度をみると、「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』の割合は、いずれの項目でも7割~8割となっています。

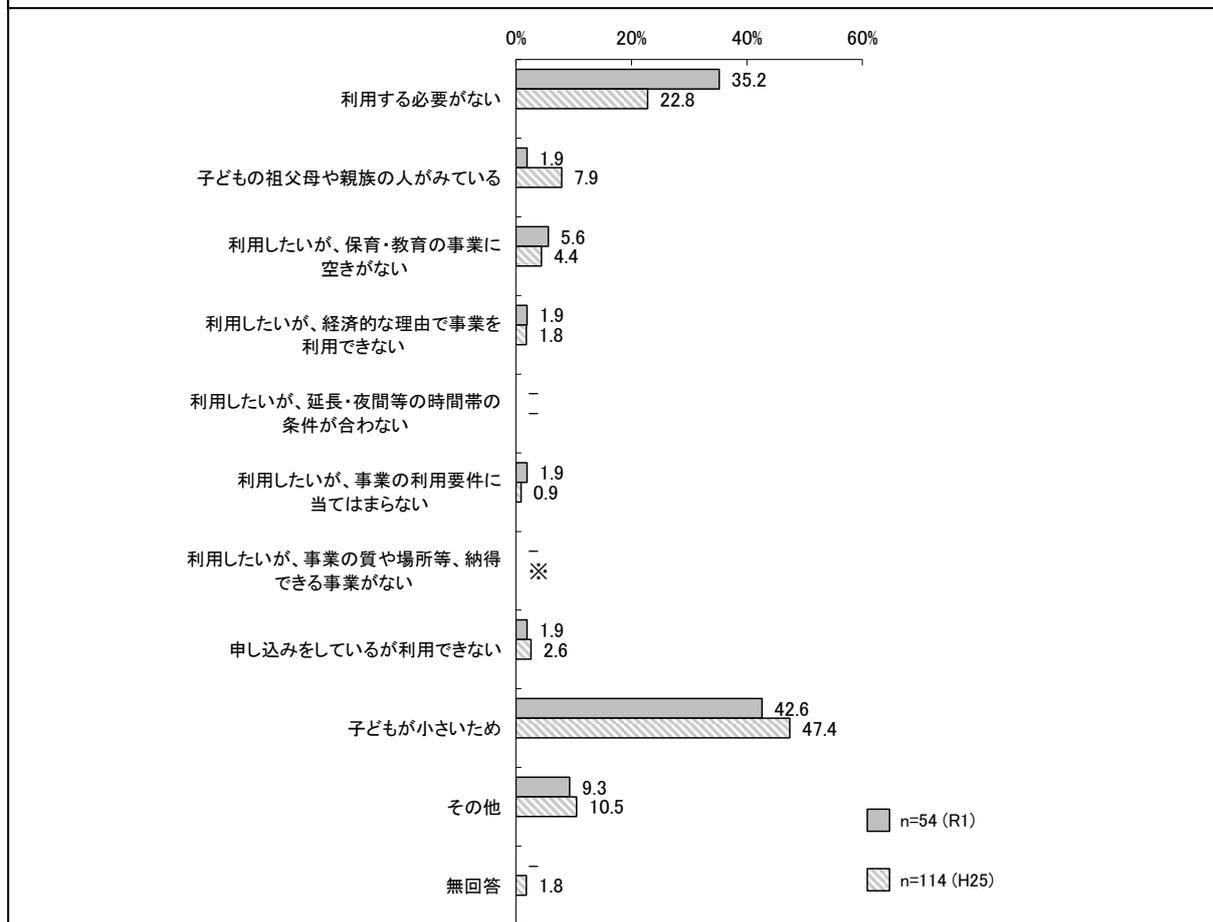
また、「やや不満」と「不満」を足した『不満』については、「施設・設備」(12.5%)で、他の項目より割合が高くなっています。

(6) 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由

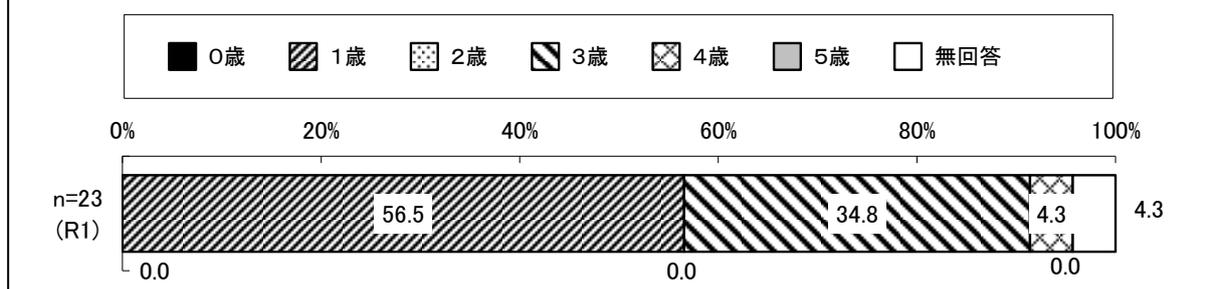
《問12-5は、問15で「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。》

問12-5 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか。

【○はあてはまるものすべて】



【利用したいと考える子どもの年齢】



※前回、項目なし

平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由では、「子どもがまだ小さいため」(42.6%)が最も多く、次いで「利用する必要がない」(35.2%)となっています。

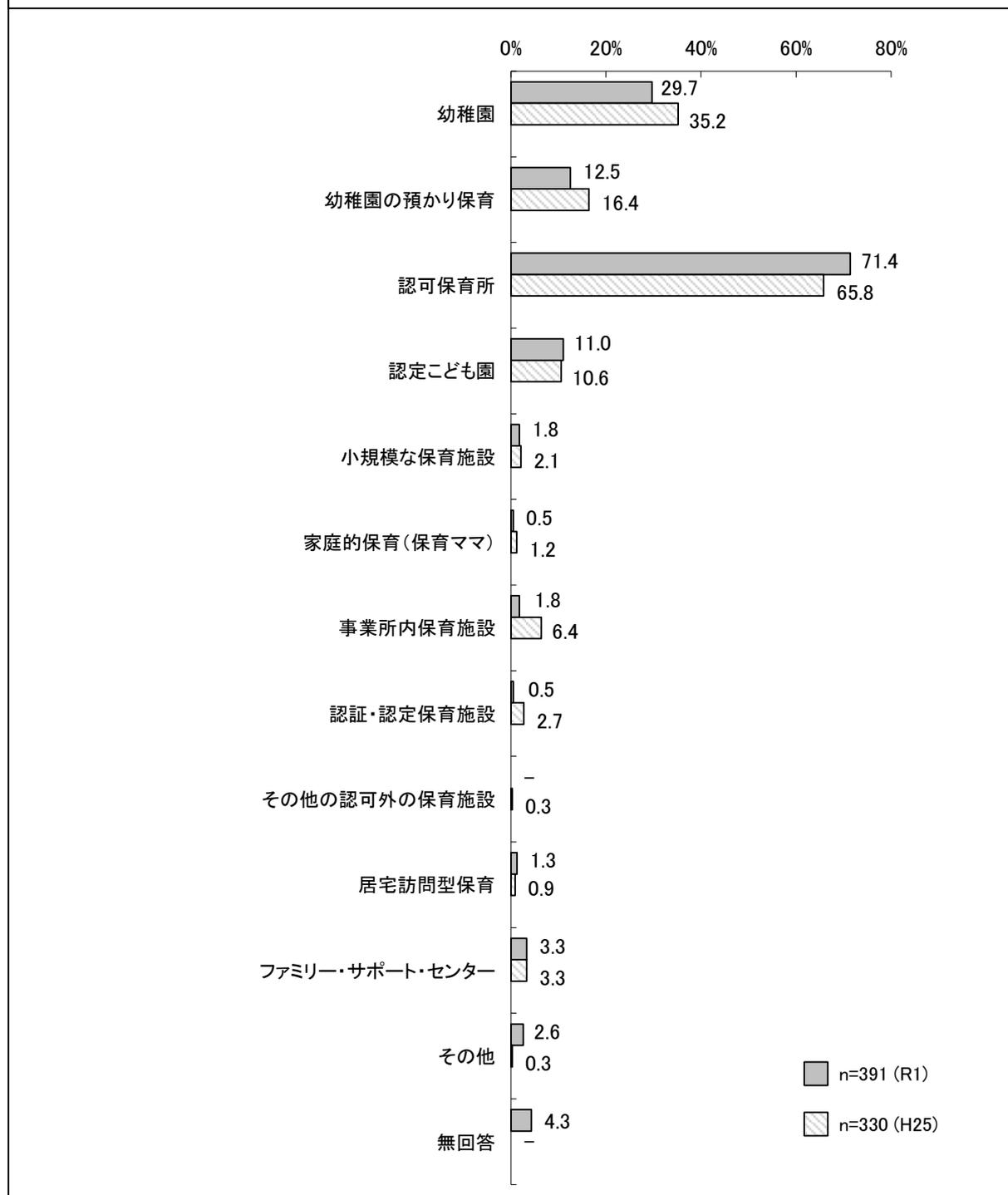
「子どもがまだ小さいため」と回答した人の、平日の定期的な教育・保育事業を利用したいと考える子どもの年齢は、「1歳」(56.5%)が最も多くなっています。

前回調査との比較では、今回「子どもがまだ小さいため」の割合がやや低く、「利用する必要がない」の割合が高くなっています。

(7) 定期的にご利用したいと考える事業

問13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

【〇はあてはまるものすべて】

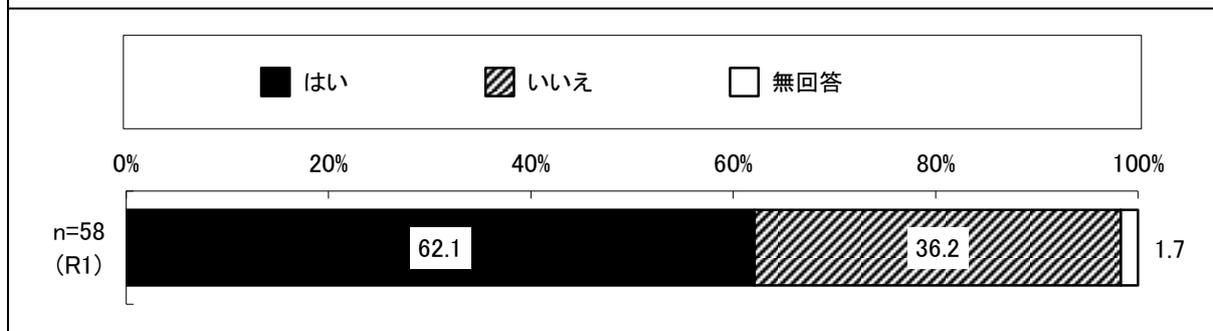


平日の教育・保育事業として定期的にご利用したい事業では、「認可保育所」(71.4%)が最も多く、次いで「幼稚園」(29.7%)、「幼稚園の預かり保育」(12.5%)となっています。

前回調査結果との比較では、今回「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」の割合がやや低く、「認可保育所」の割合が高くなっています。

(8) 幼稚園の利用を強く希望するか

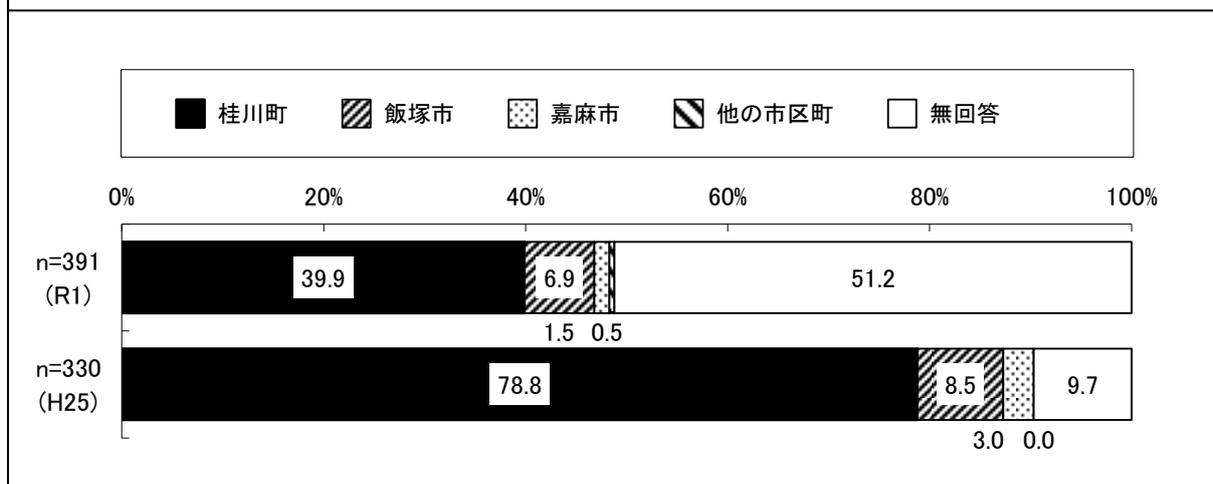
問13-1 問13で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3~12にも○をつけた方に伺います。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。
【○は1つだけ】



幼稚園の利用を強く希望するかについては、「はい」(62.1%)、「いいえ」(36.2%)となっています。

(9) 教育・保育事業を利用したい場所

問13-2 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。【○は1つだけ】



平日の定期的な教育・保育事業を利用したい場所は「桂川町」(39.9%)が最も多く、次いで「飯塚市」(6.9%)、「嘉麻市」(1.5%)、「他の市町村」(0.5%)となっています。

5. 地域の子育て支援事業の利用状況について

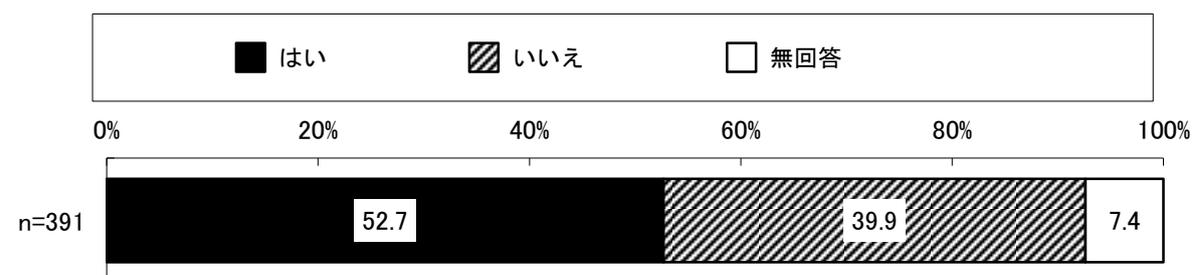
(1) 地域子育て支援拠点事業の認知度

問14 子育て支援センター（ひまわりのたね）を知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。【〇はA～Cのそれぞれに1つ】

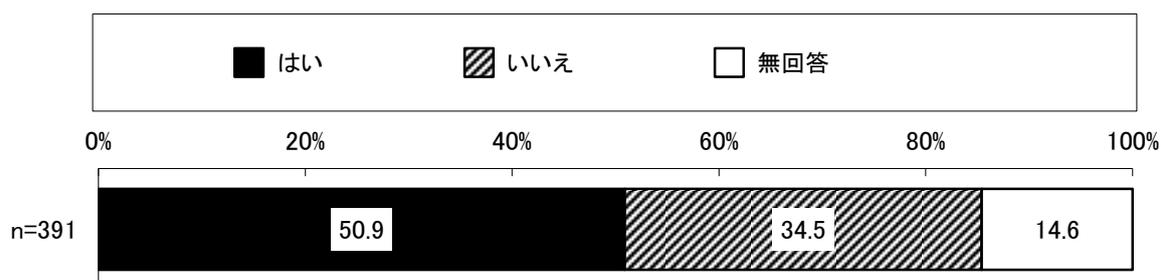
(A) 知っているか



(B) 利用したことはあるか



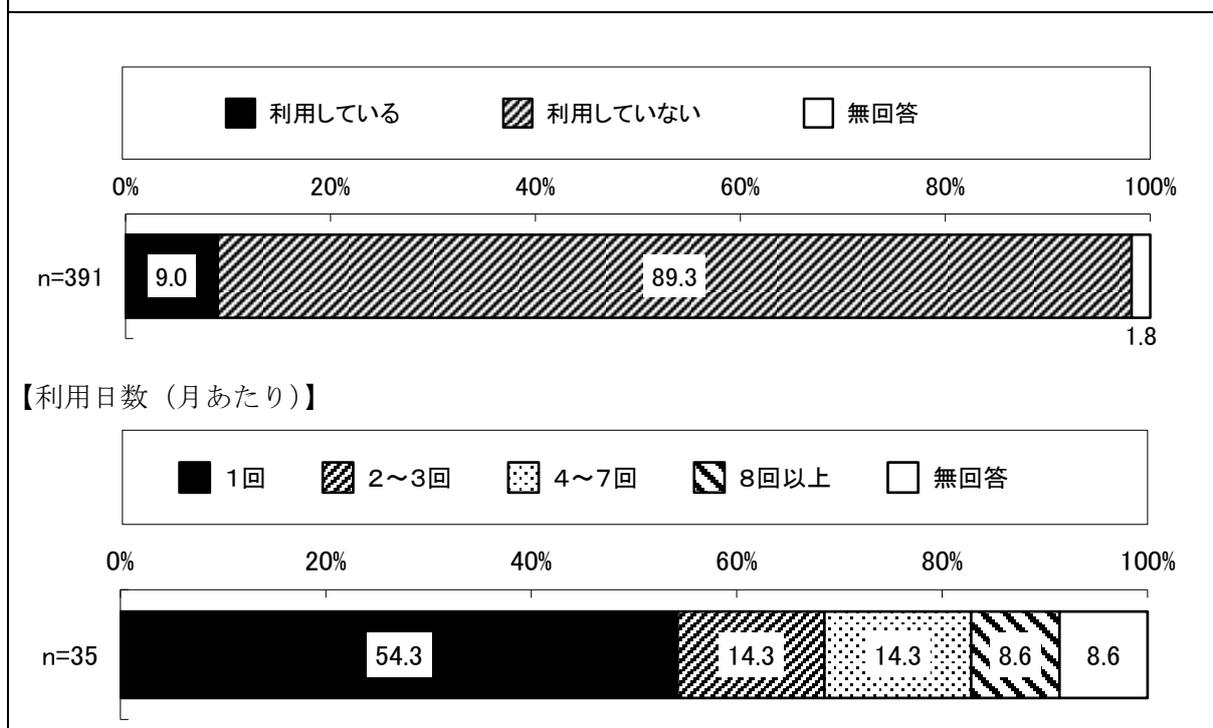
(C) 今後利用したいか



子育て支援センター（ひまわりのたね）について、認知度は87.7%となっていますが、利用経験があると回答したのは52.7%となっています。また、今後利用したいかたずねた結果は、「はい」（50.9%）、「いいえ」（34.5%）となっています。

(2) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問15 あて名のお子さんは、現在、子育て支援センター（ひまわりのたね）を利用していますか。【〇は1つに、また利用している場合は、回数を数字で記入】

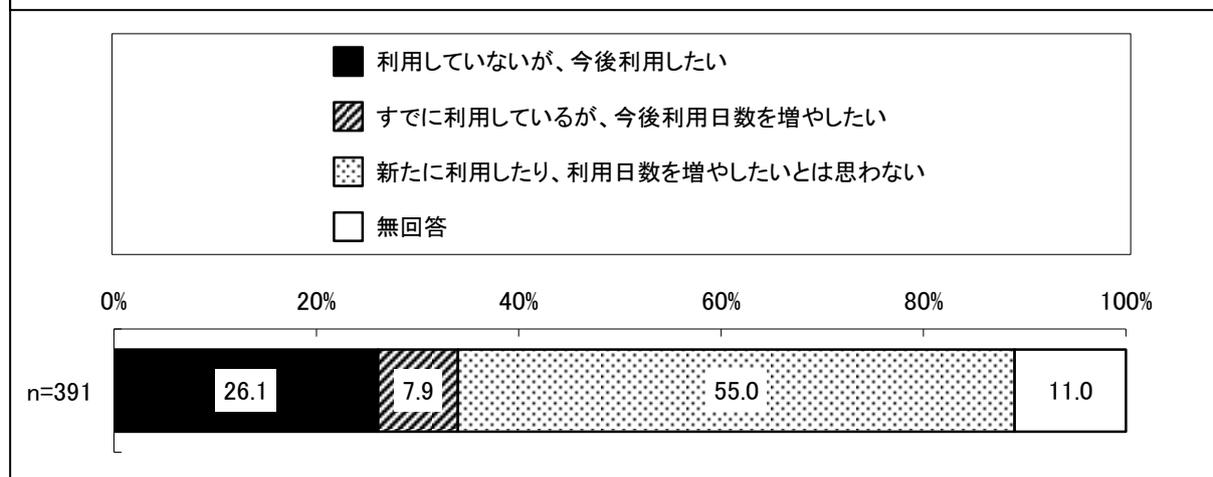


子育て支援センター（ひまわりのたね）の利用状況では、「利用している」は9.0%であり、「利用していない」が89.3%を占めています。

利用していると回答した人に月あたりの利用日数をたずねた結果では、「1回」（54.3%）が最も多くなっています。

(3) 地域子育て支援拠点事業の利用希望

問16 「子育て支援センター（ひまわりのたね）」について、現在は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用頻度を増やしたいと思いませんか。【〇は1つ】
また、希望する場合おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。【数字で記入】



子育て支援センター（ひまわりのたね）の今後の利用希望では、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」（55.0%）が最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」（26.1%）、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」（7.9%）となっています。

【今後の利用希望回数（月あたり）】

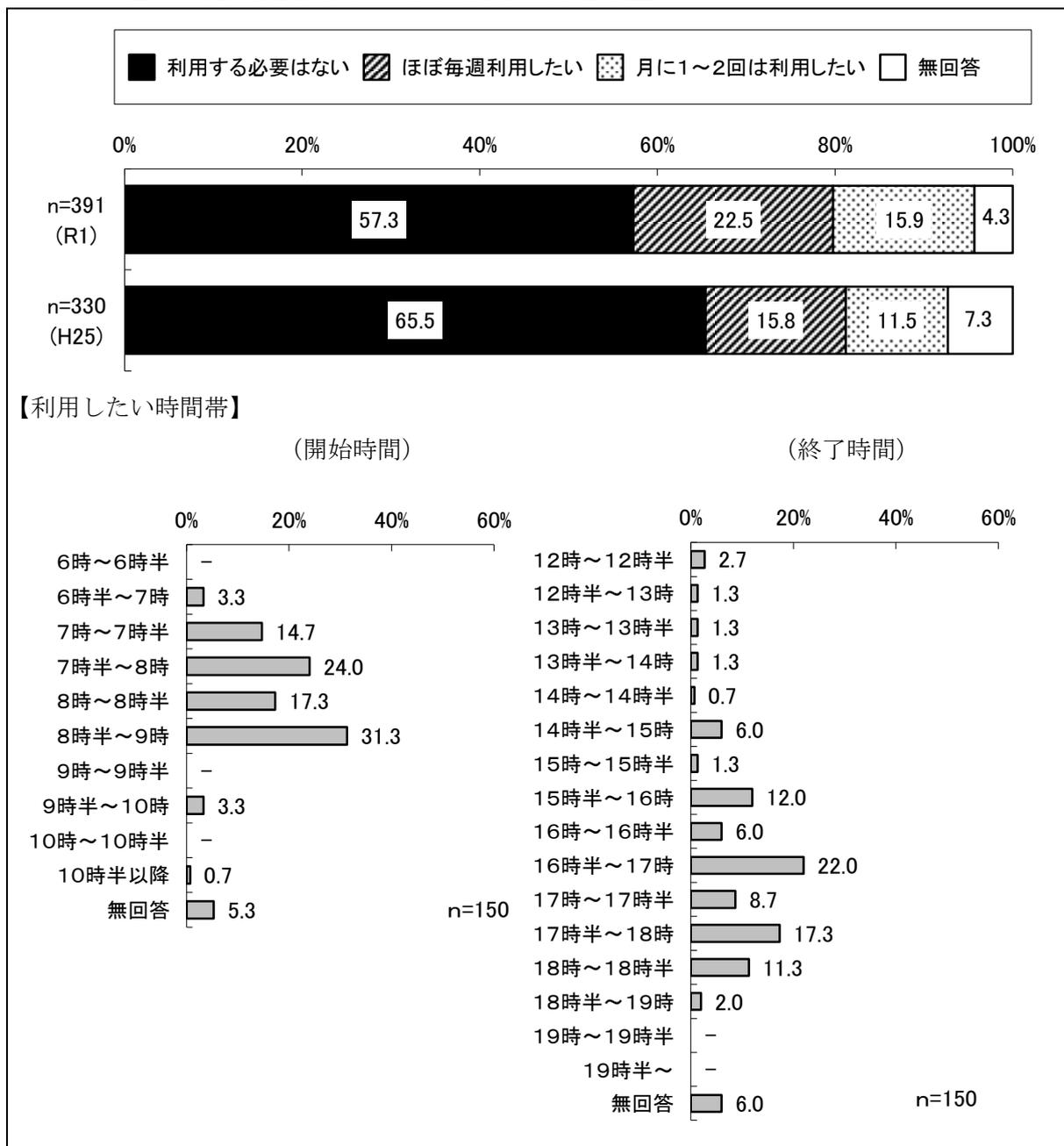
	調査数	1回	2 ～ 3回	4 ～ 7回	8 回 以上	無 回 答
利用していないが、今後利用したい	102	47.1	26.5	10.8	-	15.7
すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい	31	25.8	19.4	19.4	25.8	9.7

新たな利用希望者の月あたりの利用希望回数は、「月1回」（47.1%）が最も多く、現在利用している方の月あたり増やしたい利用回数は、「月1回」「月8回以上」（ともに25.8%）が最も多くなっています。

6. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

問17 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。【〇は1つだけ】
また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。【数字で記入】

(1) 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望



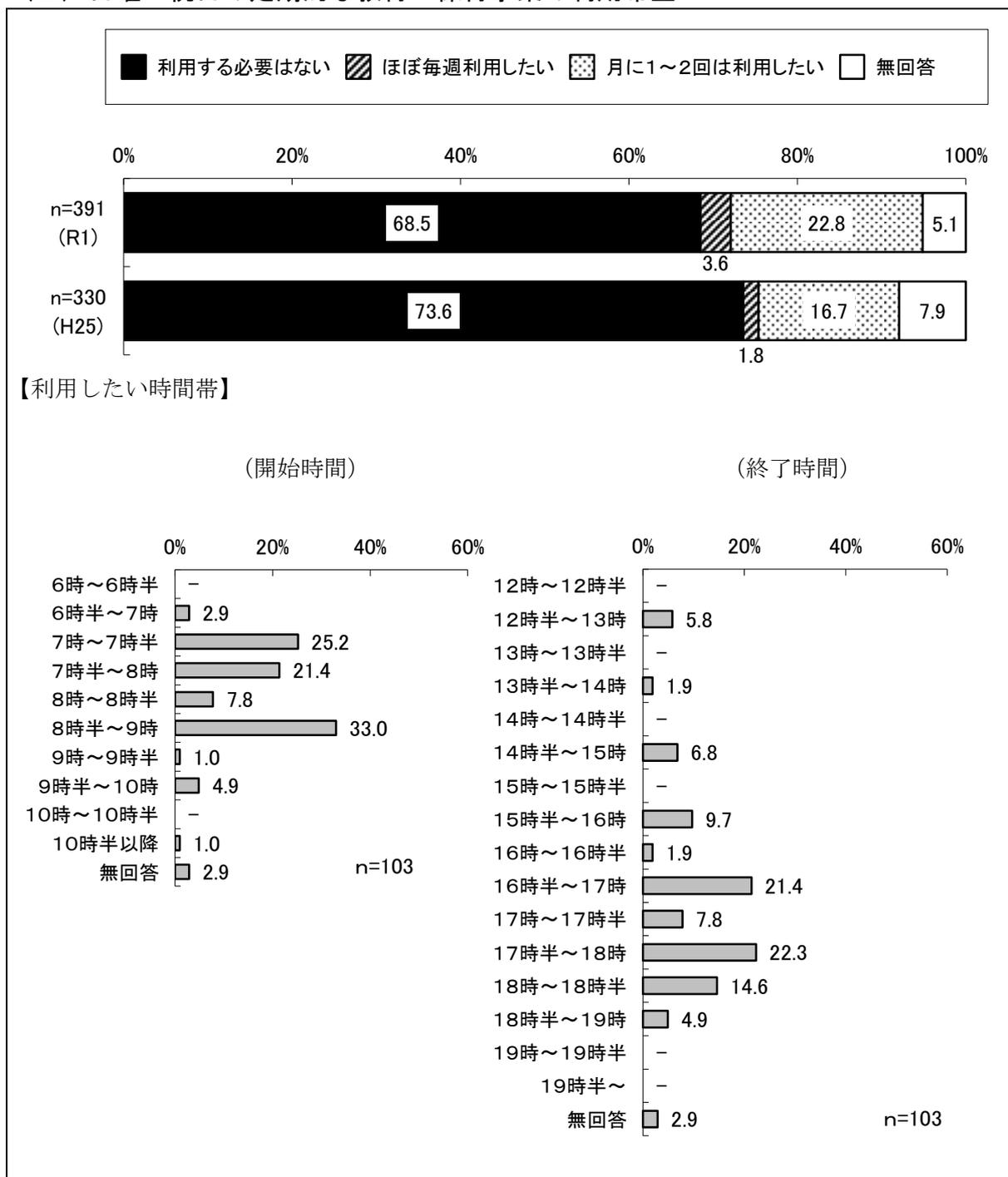
6. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望では「利用する必要はない」が57.3%を占め、「ほぼ毎週利用したい」(22.5%)と「月に1～2回は利用したい」(15.9%)を合わせた『利用希望あり』は38.4%となっています。

「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」と回答した利用希望者に、利用したい時間帯をたずねたところ、開始時間では「8時半～9時」(31.3%)、終了時間では「16時半～17時」(22.0%)が最も多くなっています。

前回調査結果との比較では、今回『利用希望あり』の割合が、前回に比べ高くなっています。

(2) 日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望



日曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望では「利用する必要はない」が68.5%を占め、「ほぼ毎週利用したい」(3.6%)と「月に1~2回は利用したい」(22.8%)を合わせた『利用希望あり』は26.4%となっています。

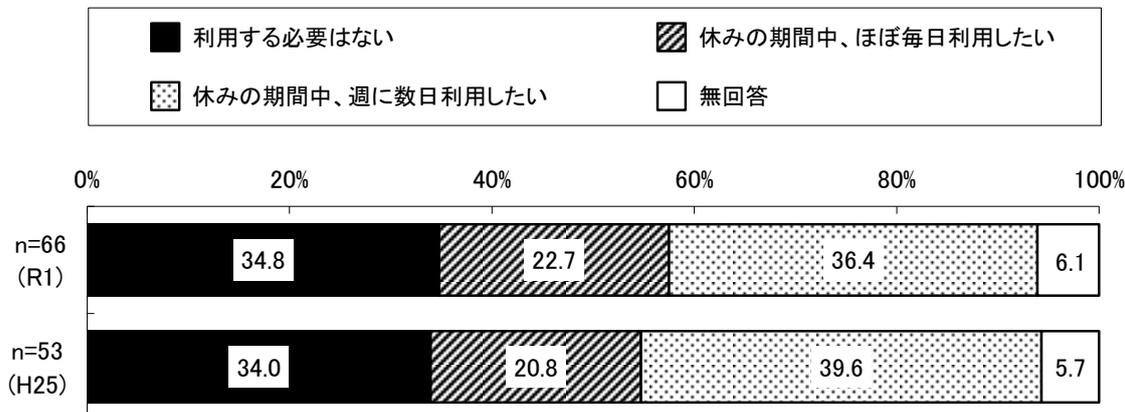
「ほぼ毎週利用したい」「月に1~2回は利用したい」と回答した利用希望者に、利用したい時間帯をたずねたところ、開始時間では「8時半~9時」(33.0%)、終了時間では「17時半~18時」(22.3%)が最も多くなっています。

前回調査結果との比較では、今回『利用希望あり』の割合が高くなっています。

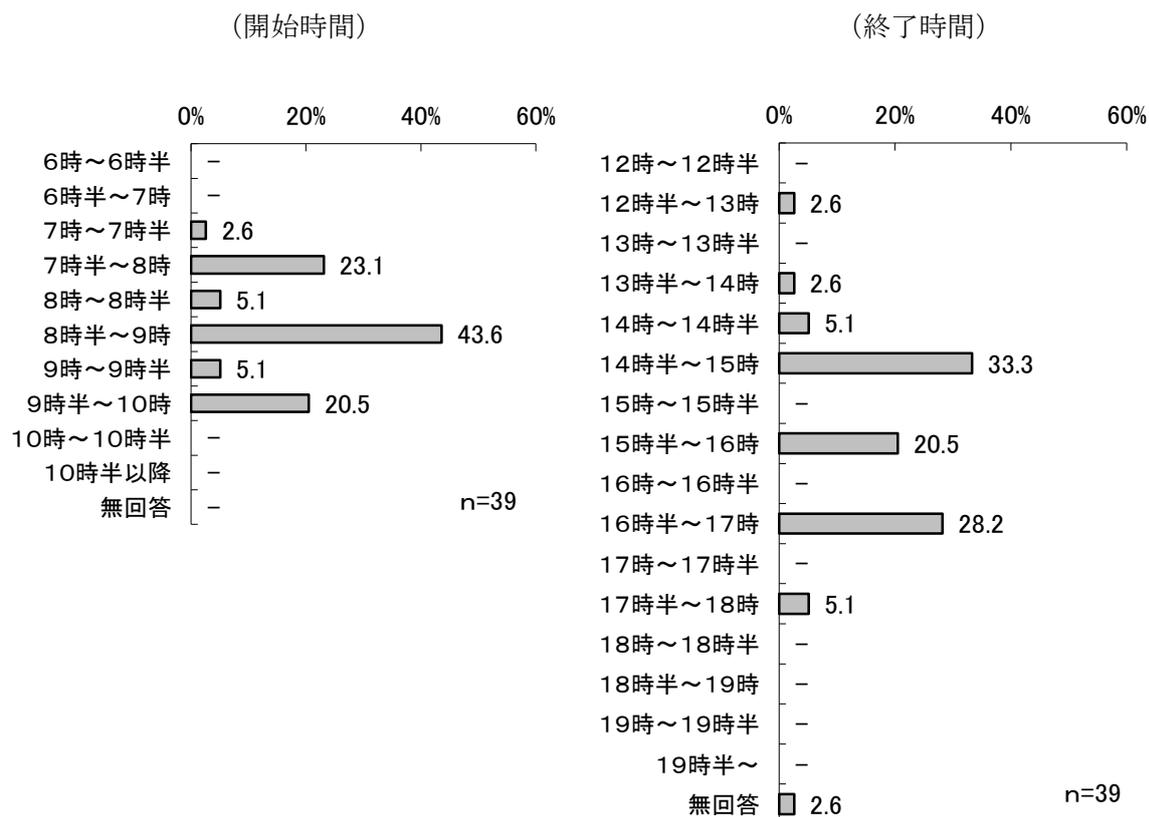
(3) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

《「幼稚園」を利用している方にお伺いします。》

問18 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。【〇は1つだけ】
また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。【数字で記入】



【利用したい時間帯】



長期休暇中の教育・保育事業の利用希望では、「利用する必要はない」が34.8%となっており、「休みの期間中、週に数日利用したい」(36.4%)と「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(22.7%)を合わせた『利用希望あり』は59.1%となっています。

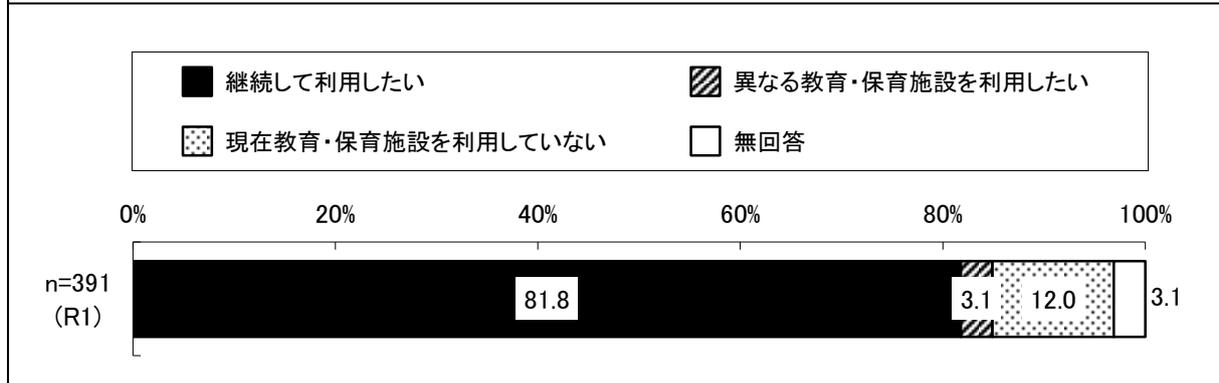
「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した利用希望者に利用したい時間帯をたずねたところ、開始時間では「8時半～9時」(43.6%)、終了時間では「14時半～15時」(33.3%)が最も多くなっています。

前回調査結果との比較では、特に大きな差はみられませんでした。

7. 幼児教育・保育の無償化について

(1) 幼児教育・保育の無償化が実施された場合の事業の利用意向

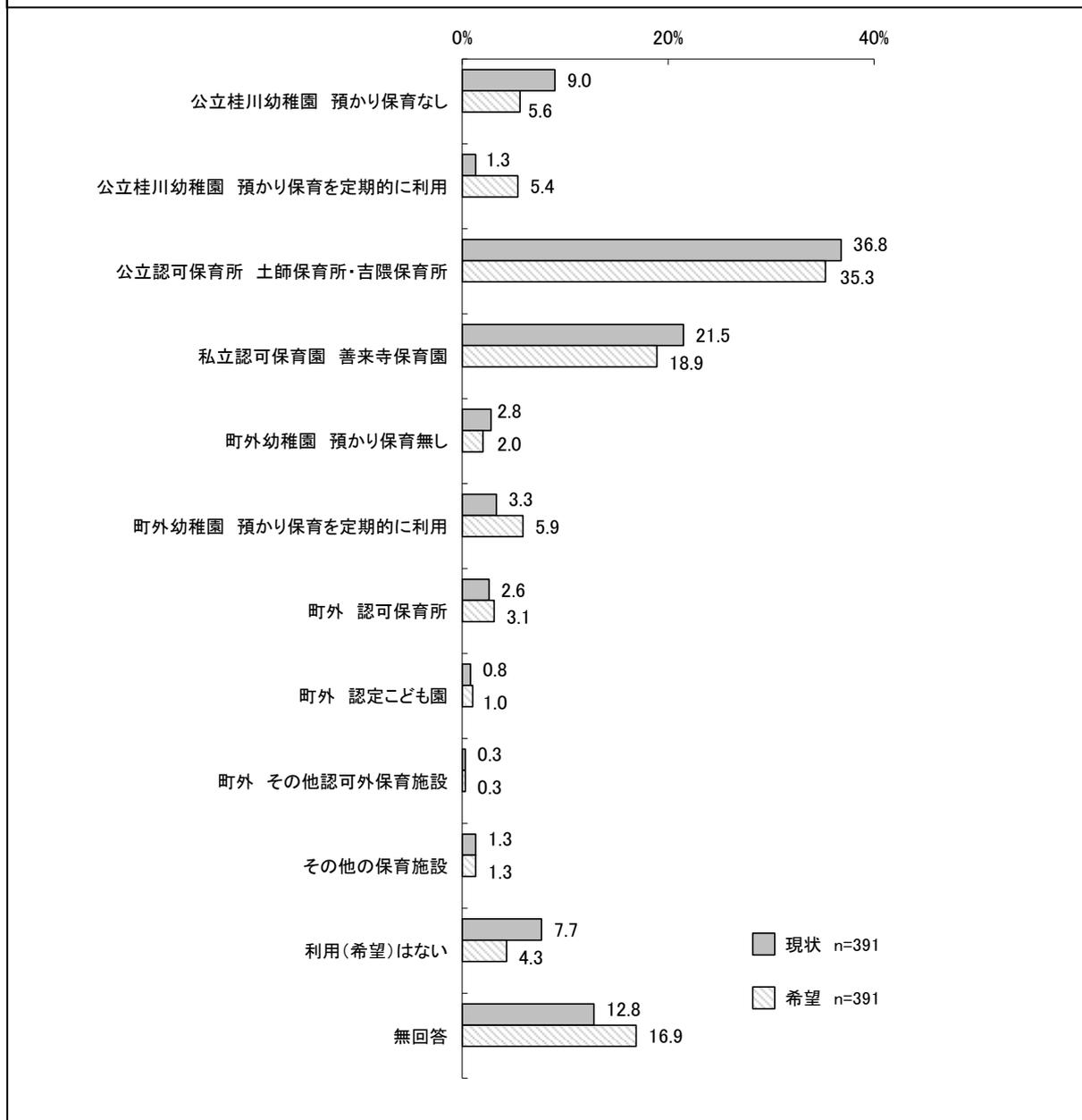
問19 幼児教育・保育無償化が実施された場合、現在利用している教育・保育施設を継続して利用したいですか。それとも、異なる教育・保育施設を利用したいですか。【〇は1つだけ】



幼児教育・保育の無償化が実施された場合の事業の利用意向については「継続して利用したい」(81.8%)が8割を占めています。

(2) 幼児教育・保育の無償化が実施された場合に希望する施設

問20 幼児教育・保育の無償化が実施された場合、新たにサービスを利用したり、利用するサービスを変更したいと思いますか。現状と無償化後に希望するサービスをそれぞれ1つずつ選んでください。【〇はあてはまる番号1つずつ】



現状で希望する施設は、「公立認可保育所 土師保育所・吉隈保育所」(36.8%)が最も多く、次いで「私立認可保育園 善来寺保育園」(21.5%)となっています。

幼児教育・保育の無償化が実施された場合に希望する施設についても「公立認可保育所 土師保育所・吉隈保育所」(35.3%)が最も多く、次いで「私立認可保育園 善来寺保育園」(18.9%)となっています。

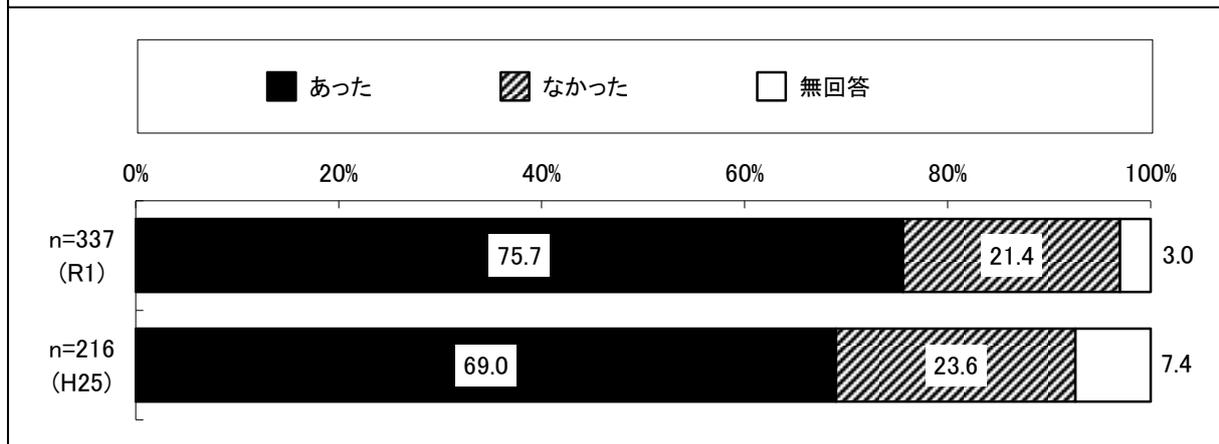
幼児教育・保育の無償化が実施される前と後で特に大きな差はみられませんが、無償化後の「公立桂川幼稚園 預かり保育を定期的に利用」の割合が、実施前に比べやや高くなっています。

8. 病気の際の対応について

(1) 子どもの病気等で教育・保育事業を利用できなかったこと

《問 21 は、平日の定期的な教育・保育事業を利用している保護者の方（問 12 で「1. 利用している」を選ばれた方）におうかがいします。》

問 21 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。【〇は1つだけ】



平日の定期的な教育・保育事業利用者に、子どもの病気等で教育・保育事業を利用できなかったことがあったかたずねたところ、「あった」が75.7%を占め、「なかった」は21.4%でした。

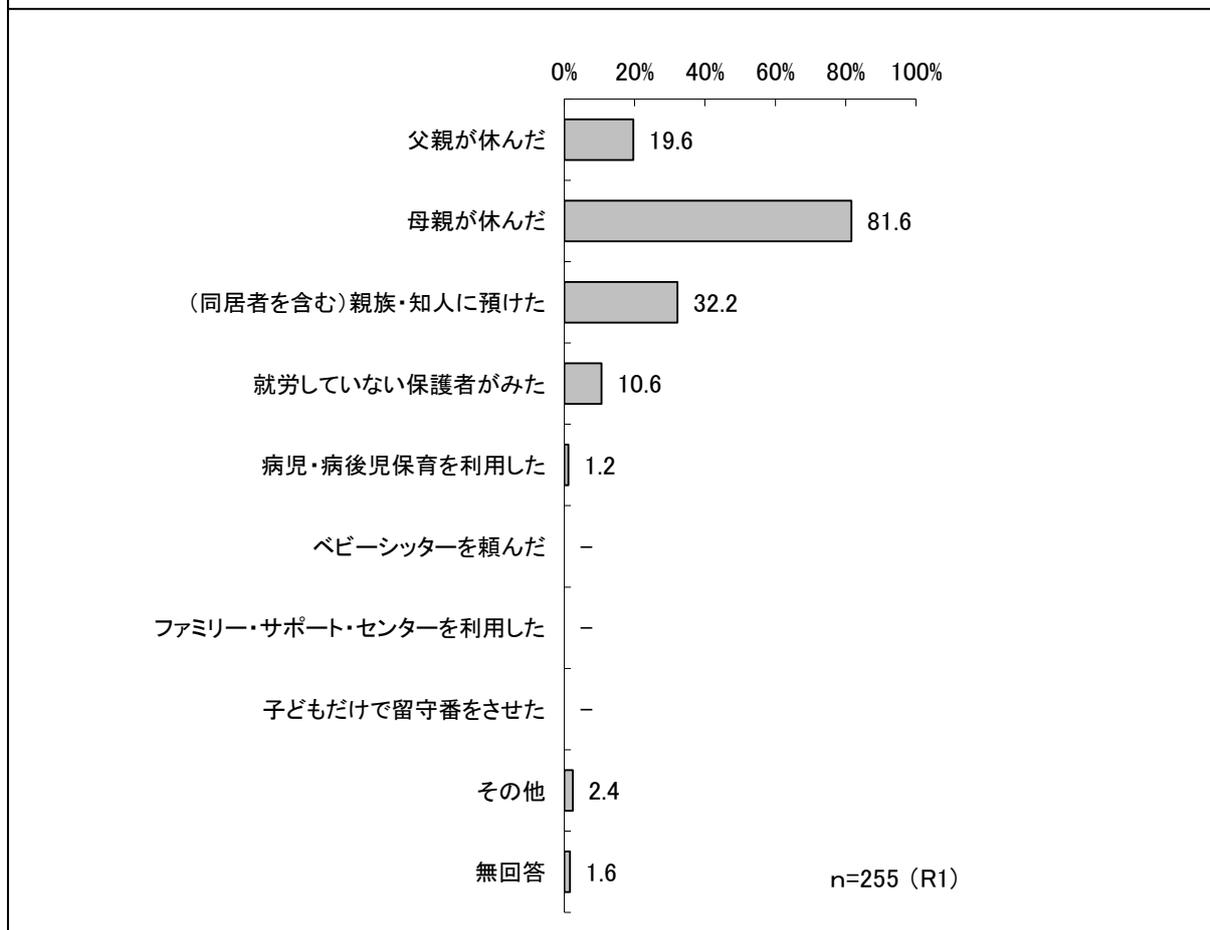
前回調査結果との比較では、今回「あった」の割合がやや高くなっています。

(2) 教育・保育事業を利用できなかった時の対処

《問 21-1 は、問 21 で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。》

問 21-1 どのように対処しましたか。【○はあてはまるものすべて】

また、その日数は概ね何日ですか。(半日程度の場合も1日とカウントしてください)。【数字で記入】



子どもの病気等で教育・保育事業を利用できなかった時の対処では、「母親が休んだ」(81.6%)が最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(32.2%)、「父親が休んだ」(19.6%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(10.6%)となっています。

【対処した日数】

	調査数	年間 5日未 満	年間 5 ～ 10日 未満	年間 10 ～ 15日 未満	年間 15 ～ 20日 未満	年間 20 ～ 25日 未満	年間 25 ～ 30日 未満	年間 30日 以上	無回 答
父親が休んだ	50	56.0	18.0	8.0	-	2.0	-	-	16.0
母親が休んだ	208	22.6	21.2	20.7	2.9	6.3	-	6.3	20.2
(同居者を含む) 親族・知人に預けた	82	34.1	20.7	18.3	1.2	7.3	-	3.7	14.6
就労していない方が子どもをみた	27	11.1	14.8	33.3	-	7.4	-	3.7	29.6
病児・病後児保育を利用した	3	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-
ベビーシッターを頼んだ	0	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センターを利用した	0	-	-	-	-	-	-	-	-
子どもだけで留守番をさせた	0	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	6	16.7	16.7	-	-	-	-	-	66.7

対処方法ごとに年間の日数をみると、父親が休んだ場合、また病時・病後児保育を利用した場合「年間5日未満」の割合が6割前後を占めており、母親が休んだ場合では、「年間5日未満」から「年間10～15日未満」のそれぞれに2割台の回答がありました。

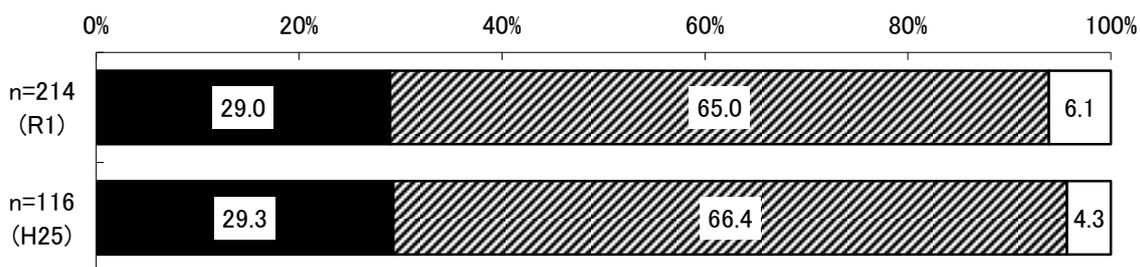
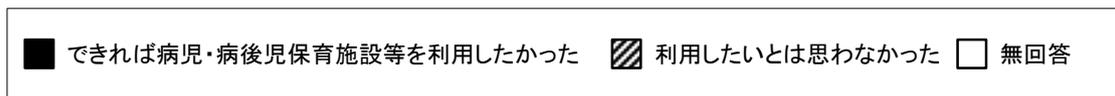
(3) できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思ったこと

《問21-2は、問21-1で「1.」または「2.」を選ばれた方におうかがいします。》

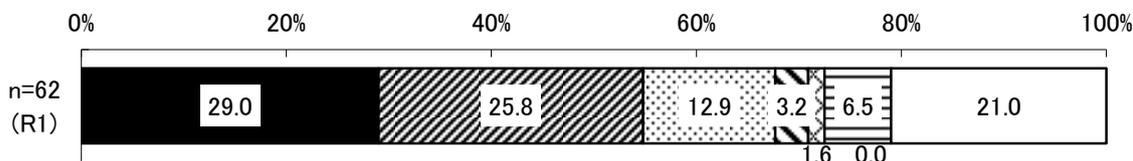
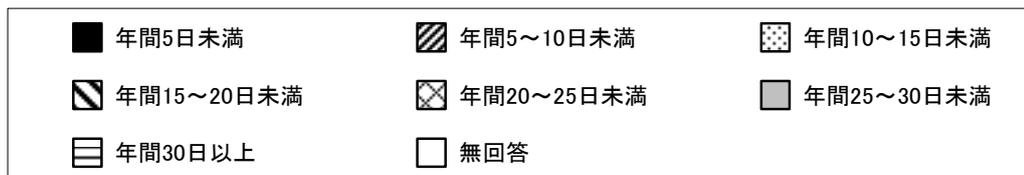
問21-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。

【○は1つだけ】

また、その場合の日数はどれくらいありますか。【数字で記入】



【利用希望日数】



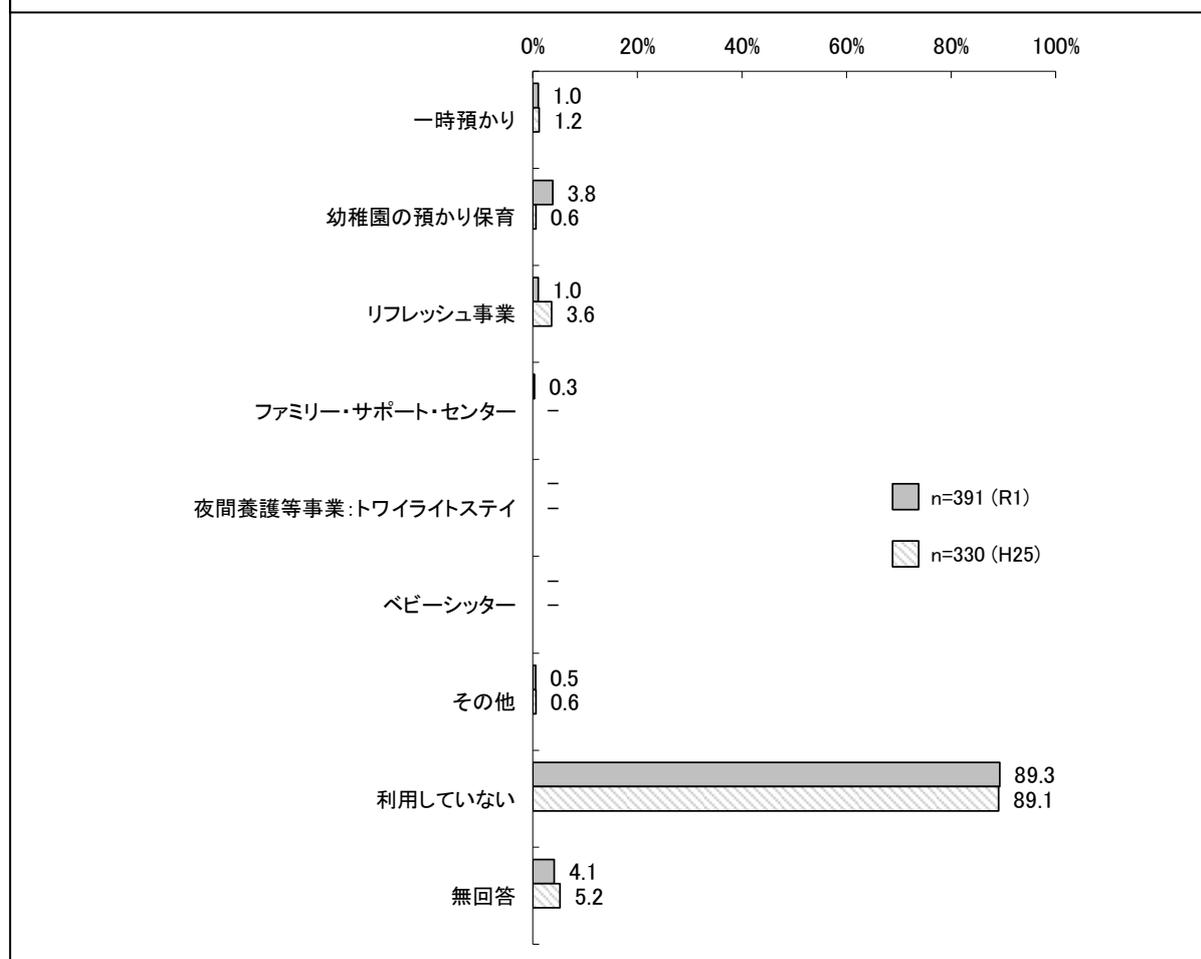
子どもの病気等で教育・保育事業を利用できなかった時の対処として母親・父親が休んだと回答した人に、できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思ったかたずねたところ、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」との回答は29.0%となっています。

また、利用希望者の利用希望日数（年間）では「5日未満」（29.0%）が最も多くなっています。

9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 私用等の理由で不定期的に利用している事業

問 22 この1年間に、あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的（日中の定期的な保育や病気のため以外）で不定期的に利用している事業はありますか。【〇はあてはまるものすべて】
また、その日数は概ね何日ですか（半日程度の場合も1日とカウントしてください）。
【数字で記入】



私用等の理由のために不定期的に利用している事業では「利用していない」（89.3%）が最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」（3.8%）となっています。

前回調査結果との比較では、特に大きな差はみられませんでした。

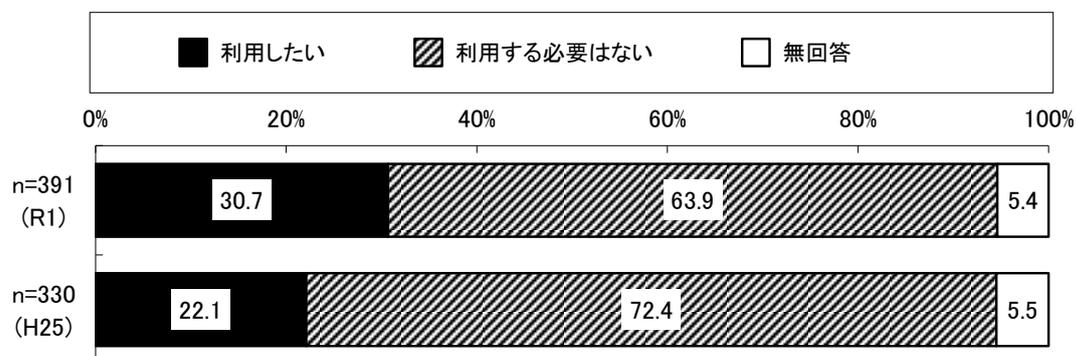
【利用日数】

	調査数	年間5日未満	年間5～10日未満	年間10～15日未満	年間15～20日未満	年間20～25日未満	年間25～30日未満	年間30日以上	無回答
一時預かり	4	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0
幼稚園の預かり保育	15	40.0	-	13.3	-	13.3	-	13.3	20.0
リフレッシュ事業	4	50.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-
ファミリー・サポート・センター	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
夜間養護等事業：トワイライトステイ	0	-	-	-	-	-	-	-	-
ベビーシッター	0	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0

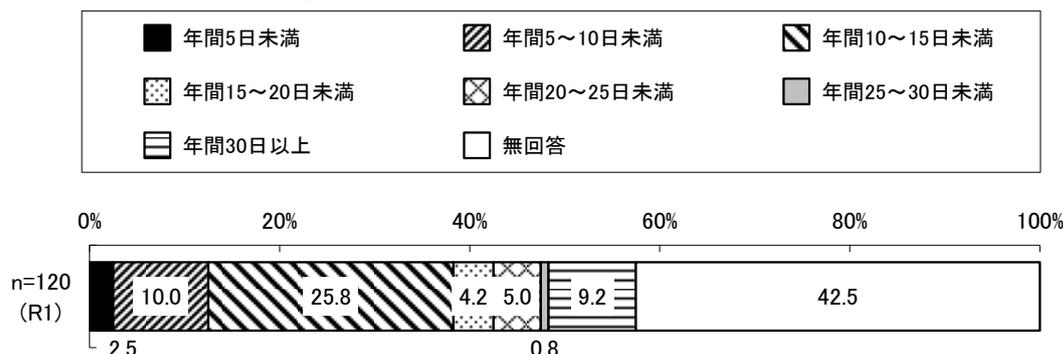
利用している事業の利用日数をみると、幼稚園の預かり保育、リフレッシュ事業、ファミリー・サポート・センターでは、いずれも「年間5日未満」での回答が最も多くなっています。

(2) 私用等の理由で事業を利用する必要があると思うか

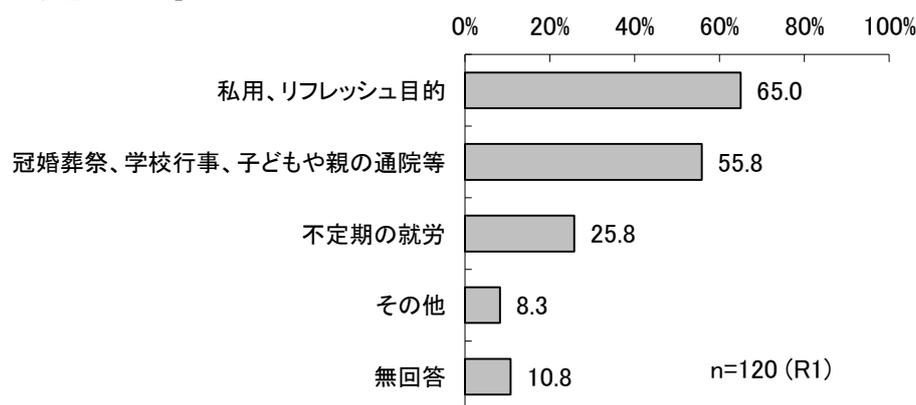
問23 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用する必要があると思いますか。【〇は1つだけ】
 また、その目的は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】
 必要な日数は概ね何日ですか。【数字で記入】



【利用したい場合の希望日数】



【利用したい場合の目的】



私用等の理由で事業を利用する必要があるかたずねたところ、「利用したい」が30.7%、「利用する必要はない」が63.9%となっています。

利用したい場合の希望日数（年間）では「10～15日未満」（25.8%）が最も多く、利用目的では「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」（65.0%）、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（55.8%）が5割を超えています。

前回調査結果との比較では、今回「利用したい」の割合が高くなっています。

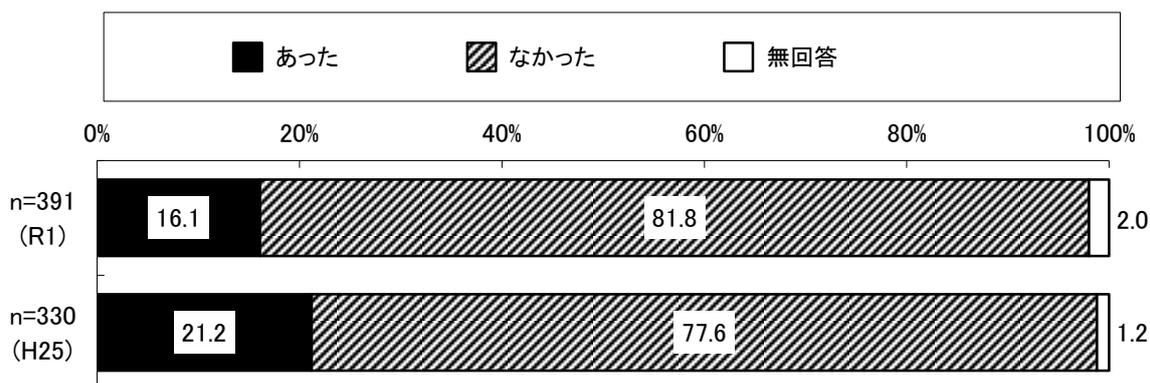
【利用日数】

	調査数	年間 5日未 満	年間 5 ～ 10日未 満	年間 10 ～ 15日未 満	年間 15 ～ 20日未 満	年間 20 ～ 25日未 満	年間 25 ～ 30日未 満	年間 30日以上	無回答
私用、リフレッシュ目的	78	19.2	28.2	28.2	-	5.1	-	10.3	9.0
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	67	23.9	38.8	20.9	-	6.0	-	1.5	9.0
不定期の就労	31	22.6	9.7	22.6	-	12.9	-	6.5	25.8
その他	10	10.0	10.0	-	-	10.0	-	10.0	60.0

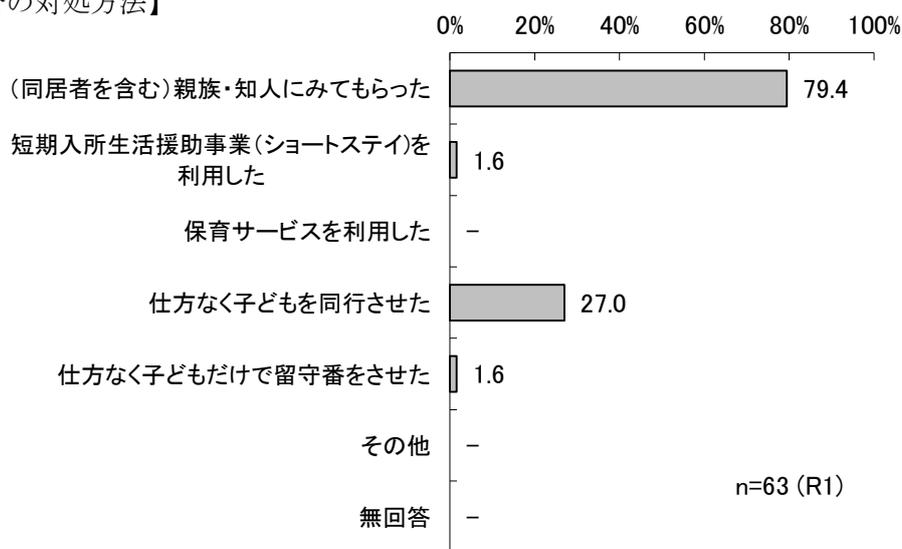
目的別に利用日数をみると、いずれも年間15日未満の範囲内で大半を占めています。

(3) 子どもを泊りがけで預けなければならなかったこと

問24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。【〇は1つだけ】
また、あった場合、その対処方法は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】
その日数は概ね何日ですか。【数字で記入】



【その場合の対処方法】



保護者の用事のために家族以外に子どもを泊りがけで預けなければならなかったことについては、「あった」が16.1%となっています。

その場合の対処方法では「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」（79.4%）が最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」（27.0%）となっています。

前回調査結果との比較では、今回「あった」の割合が低く、「なかった」の割合が高くなっています。

【利用泊数】

	調査数	年間5泊未満	年間5～10泊未満	年間10～15泊未満	年間15～20泊未満	年間20～25泊未満	年間25～30泊未満	年間30泊以上	無回答
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	50	52.0	22.0	12.0	-	6.0	-	-	8.0
短期入所生活援助事業を利用した	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0
保育サービスを利用した	0	-	-	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもを同行させた	17	58.8	5.9	5.9	-	-	-	-	29.4
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0
その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-

利用泊数をみると「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」、「仕方なく子どもを同行させた」では、いずれも「年間5泊未満」が最も多くなっています。

10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

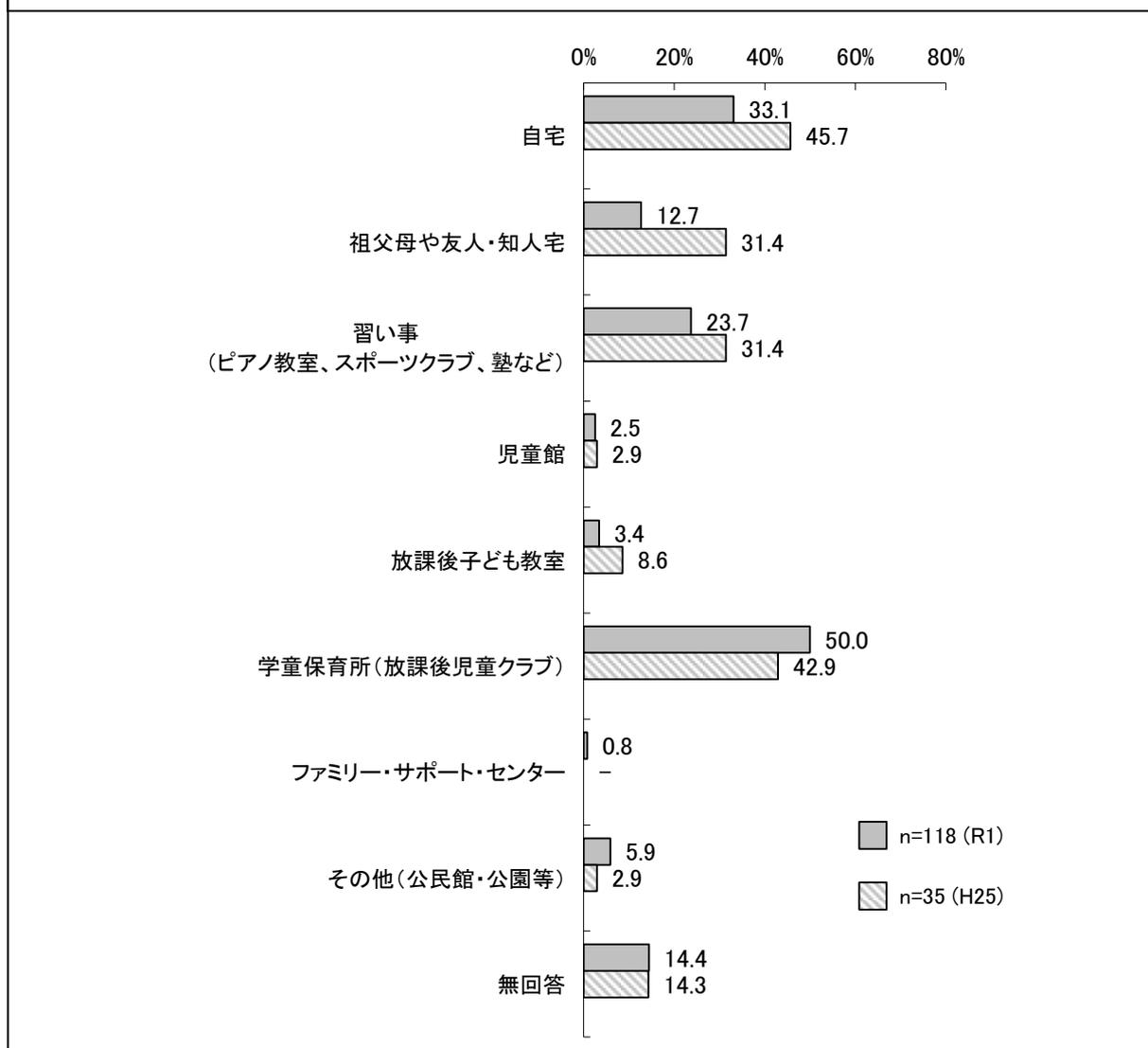
(1) 小学校低学年の放課後の過ごさせ方の希望場所

《問 25・26 は、あて名のお子さんが5歳以上の方におうかがいします。》

問 25 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

【○はあてはまるものすべて】

また、希望する週あたり日数は何日ですか。【数字で記入】



子どもが5歳以上の保護者に、小学校低学年になった際に放課後どのような場所で過ごさせたいかたずねたところ、「学童保育所（放課後児童クラブ）」（50.0%）が最も多く、次いで「自宅」（33.1%）となっています。

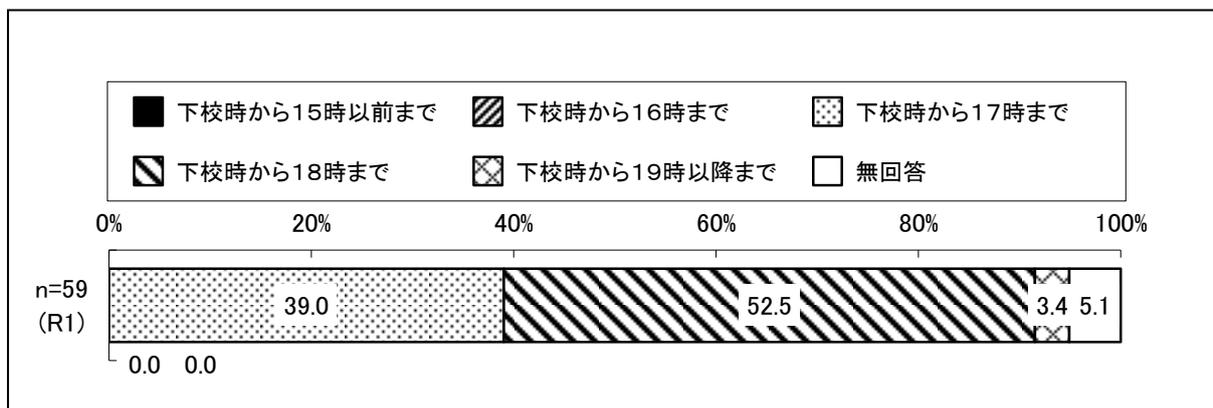
前回調査結果との比較では、今回「自宅」「祖父母や友人・知人宅」「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、塾など）」「放課後子ども教室」などの割合が低く、「学童保育所（放課後児童クラブ）」の割合が高くなっています。

【希望日数】

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	39	2.6	12.8	17.9	12.8	28.2	10.3	5.1	10.3
祖父母や友人・知人宅	15	20.0	13.3	33.3	-	6.7	6.7	-	20.0
習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	28	50.0	35.7	10.7	3.6	-	-	-	-
児童館	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-
放課後子ども教室	4	-	-	100.0	-	-	-	-	-
学童保育所（放課後児童クラブ）	59	-	3.4	8.5	8.5	50.8	27.1	-	1.7
ファミリー・サポート・センター	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-
その他（公民館・公園等）	7	42.9	28.6	-	-	28.6	-	-	-

場所別に利用希望日数をみると、「自宅」「学童保育所（放課後児童クラブ）」では、週あたり「5日」と、日数の多い回答で割合が高くなっています。

【学童保育所（放課後児童クラブ）について下校時から何時まで希望するか】



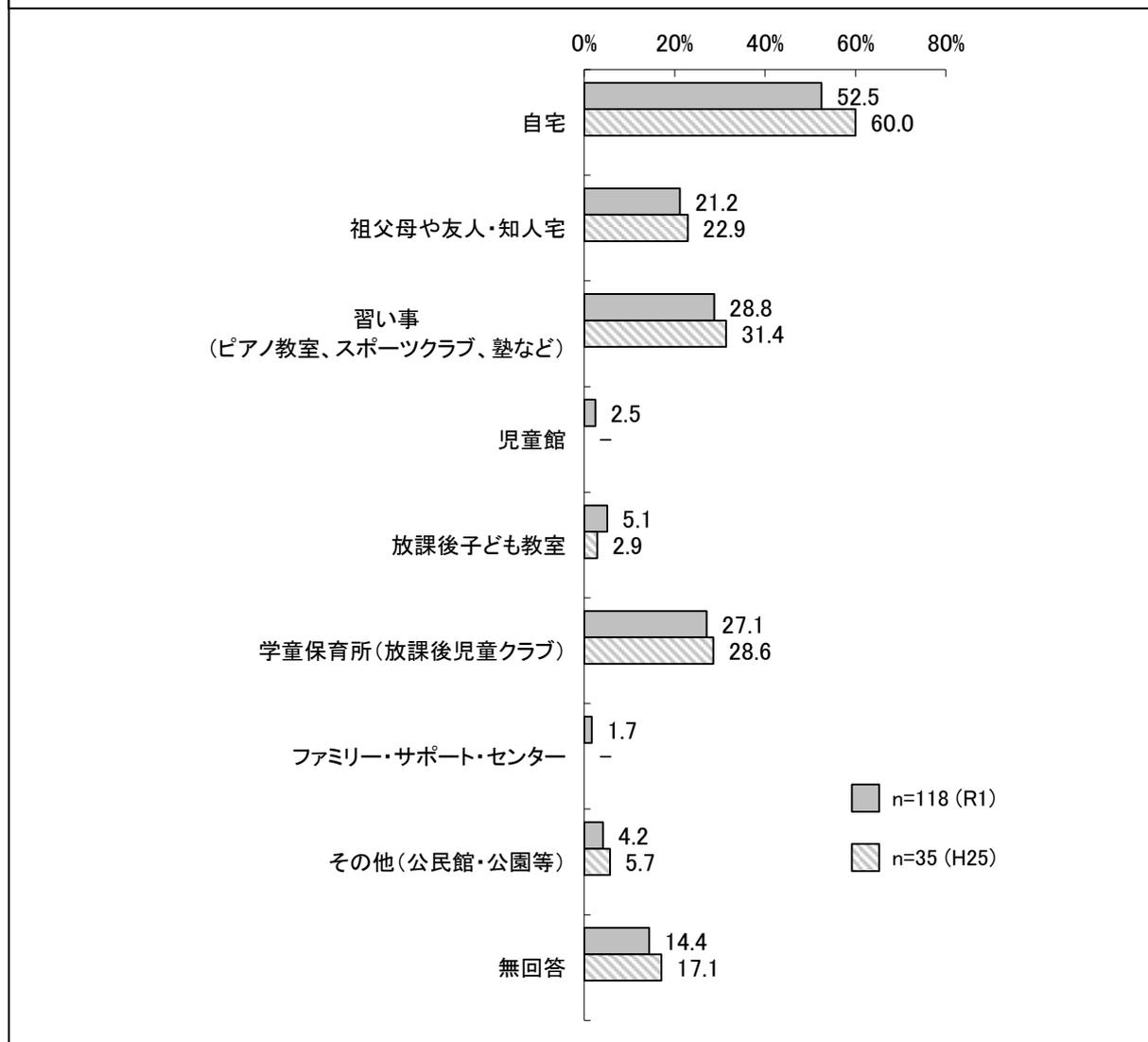
小学校低学年時の放課後の居場所として学童保育所（放課後児童クラブ）を選んだ人に希望する利用時間等の希望条件をたずねたところ、利用時間では「下校時から18時まで」(52.5%)が最も多く、次いで「下校時から17時まで」(39.0%)となっています。

(2) 小学校高学年の放課後の過ごし方の希望場所

問 26 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

【〇はあてはまるものすべて】

また、希望する週あたり日数は何日ですか。【数字で記入】



子どもが5歳以上の保護者に、小学校高学年になった際に放課後どのような場所で過ごさせたいかたずねたところ、「自宅」(52.5%)が最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、塾など)」(28.8%)、「学童保育所(放課後児童クラブ)」(27.1%)となっています。

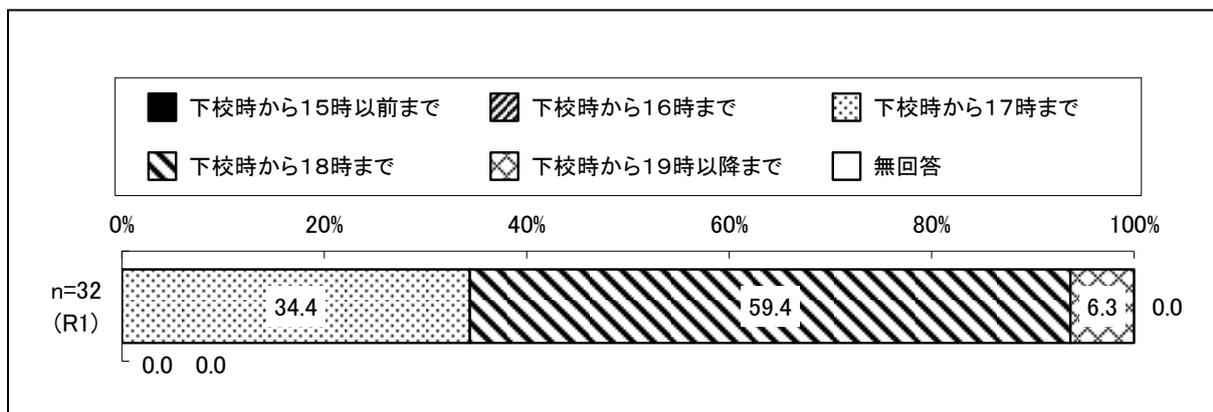
前回調査結果との比較では、今回「自宅」の割合が低くなっている。

【希望日数】

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	62	3.2	12.9	21.0	4.8	27.4	6.5	4.8	19.4
祖父母宅や友人・知人宅	25	12.0	16.0	20.0	4.0	20.0	8.0	-	20.0
習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	34	32.4	26.5	32.4	8.8	-	-	-	-
児童館	3	-	66.7	-	-	-	-	-	33.3
放課後子ども教室	6	-	33.3	33.3	-	16.7	-	-	16.7
学童保育所（放課後児童クラブ）	32	-	-	-	-	-	-	-	100.0
ファミリー・サポート・センター	2	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0
その他（公民館・公園等）	5	20.0	40.0	-	20.0	20.0	-	-	-

場所別に利用希望日数をみると、「自宅」「祖父母や友人・知人宅」では週あたり「3日」「5日」の割合が高く、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」では、1日から3日の範囲内で9割を占めています

【学童保育所（放課後児童クラブ）について下校時から何時まで希望するか】



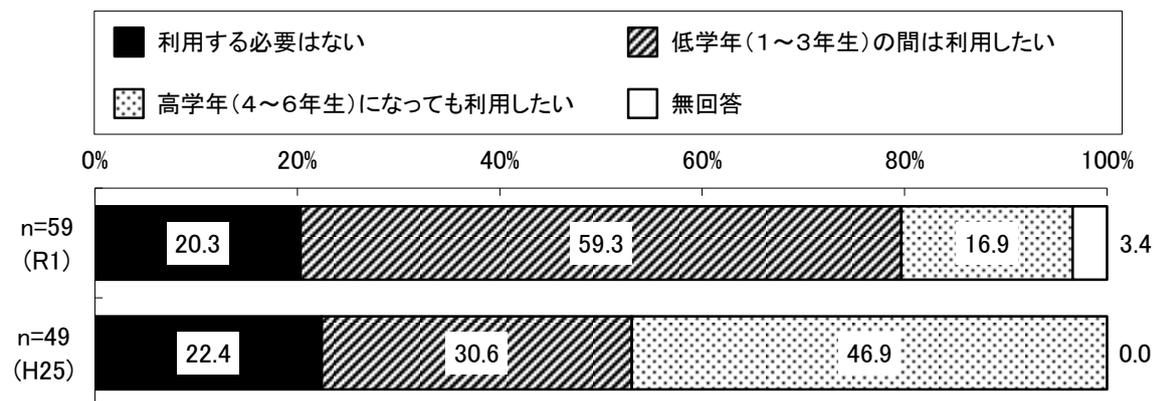
小学校高学年時の放課後の居場所として学童保育所（放課後児童クラブ）を選んだ人に希望する利用時間をたずねたところ、「下校時から18時まで」（59.4%）が最も多く、次いで「下校時から17時まで」（34.4%）となっています。

(3) 学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望

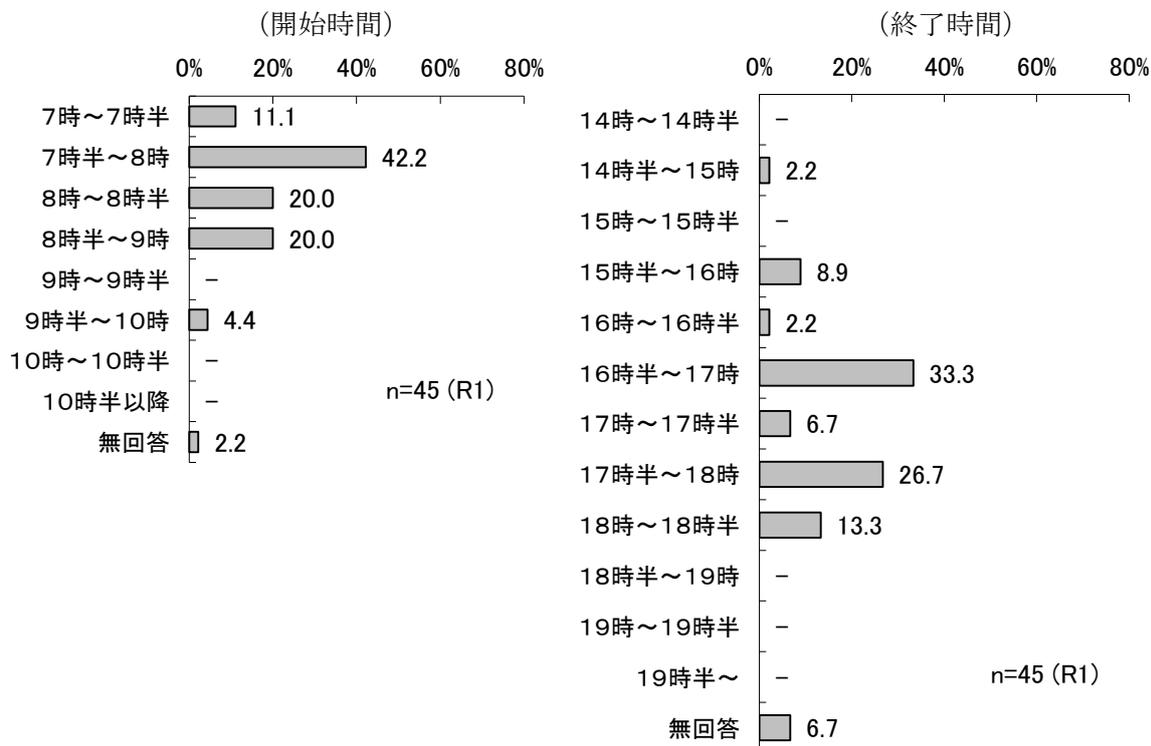
《問27は、問25または26で「6. 学童保育所（放課後児童クラブ）」に○をつけた方におうかがいたします。》

問27 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休み等長期の休暇期間中、学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望はありますか。【○は1つだけ】
また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。【数字で記入】

①土曜日



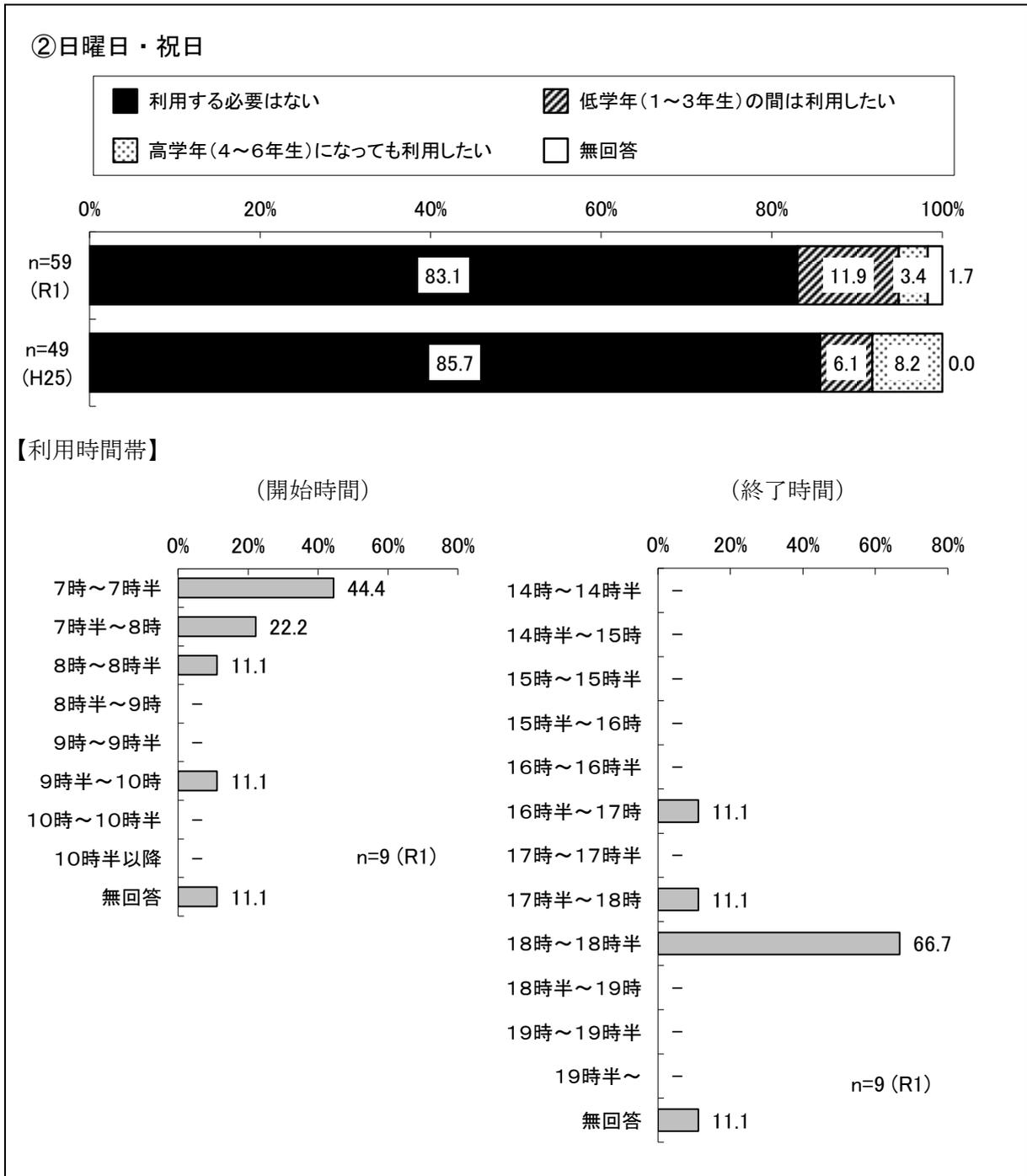
【利用希望時間帯】



土曜日の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望については、「低学年（1～3年生）」の間は利用したい」（59.3%）が最も多く、次いで「利用する必要はない」（20.3%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（16.9%）となっています。

また、利用希望者に希望する利用時間帯についてたずねたところ、開始時間では「7時半～8時」（42.2%）、終了時間では「16時半～17時」（33.3%）が最も多くなっています。

前回調査結果との比較では、今回「低学年（1～3年生）」の間は利用したい」の割合が大きく伸びています。

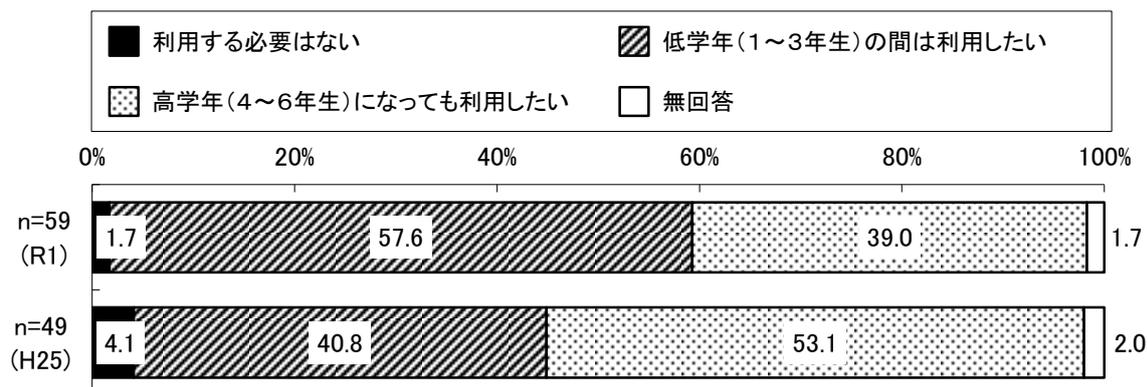


日曜日・祝日の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望については、「利用する必要はない」（83.1%）が最も多く、次いで「低学年（1～3年生）」の間は利用したい」（11.9%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（3.4%）となっています。

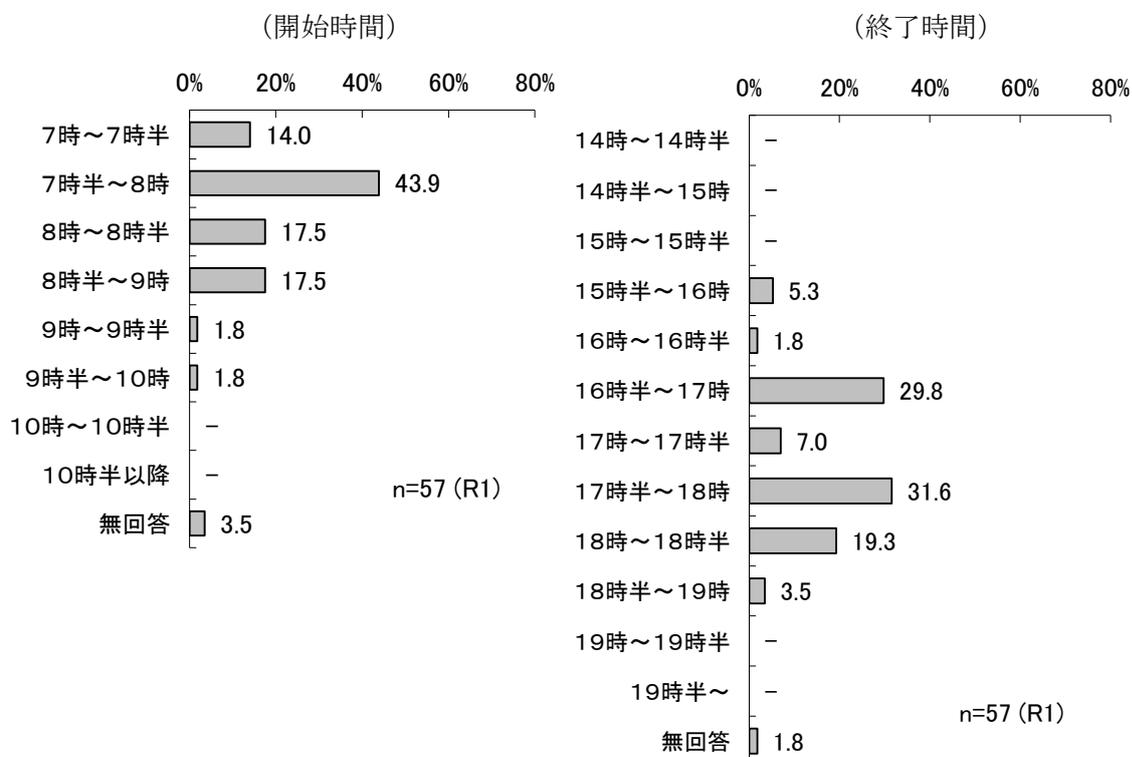
また、利用希望者に利用希望時間帯についてたずねたところ、開始時間では「7時～7時半」（44.4%）、終了時間では「18時～18時半」（66.7%）が最も多くなっています。

前回調査結果との比較では、今回「低学年（1～3年生）」の間は利用したい」の割合がやや高く、一方で「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合は低くなっています。

③夏休み・冬休み等長期の休暇期間中



【利用時間帯】



夏休み・冬休み等長期の休暇期間中の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望について、「低学年（1～3年生）」の間は利用したい（57.6%）が最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（39.0%）、「利用する必要はない」（1.7%）となっています。

また、利用希望者に希望する利用時間帯についてたずねたところ、開始時間では「7時半～8時」（43.9%）、終了時間では「17時半～18時」（31.6%）が最も多くなっています。

前回調査結果との比較では、今回「低学年（1～3年生）」の間は利用したいの割合が高く、一方で「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合は低くなっています。

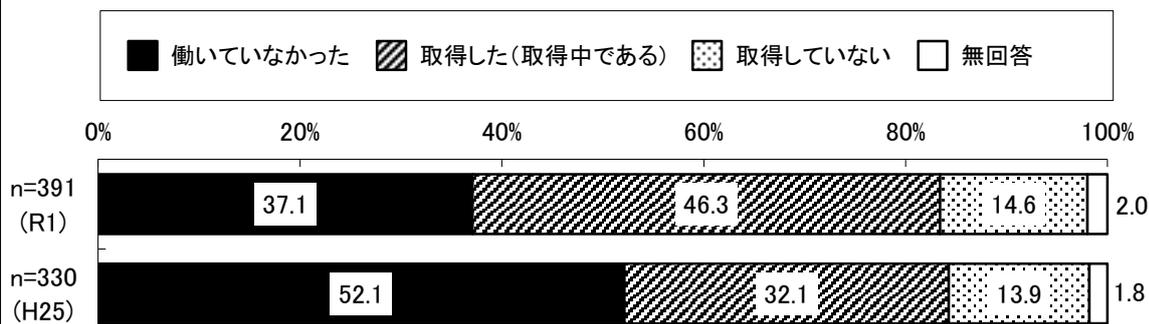
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 育児休業の取得の有無

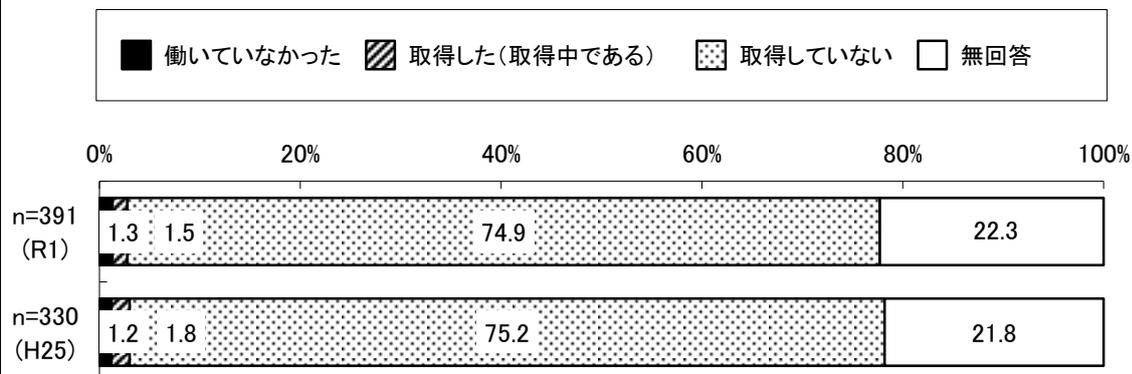
問28 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかまたは双方が育児休業を取得しましたか。【〇は母親、父親のそれぞれについて当てはまる番号1つ、また取得した場合〔 〕内に数字で記入】

①育児休業を取得したか

【母親】



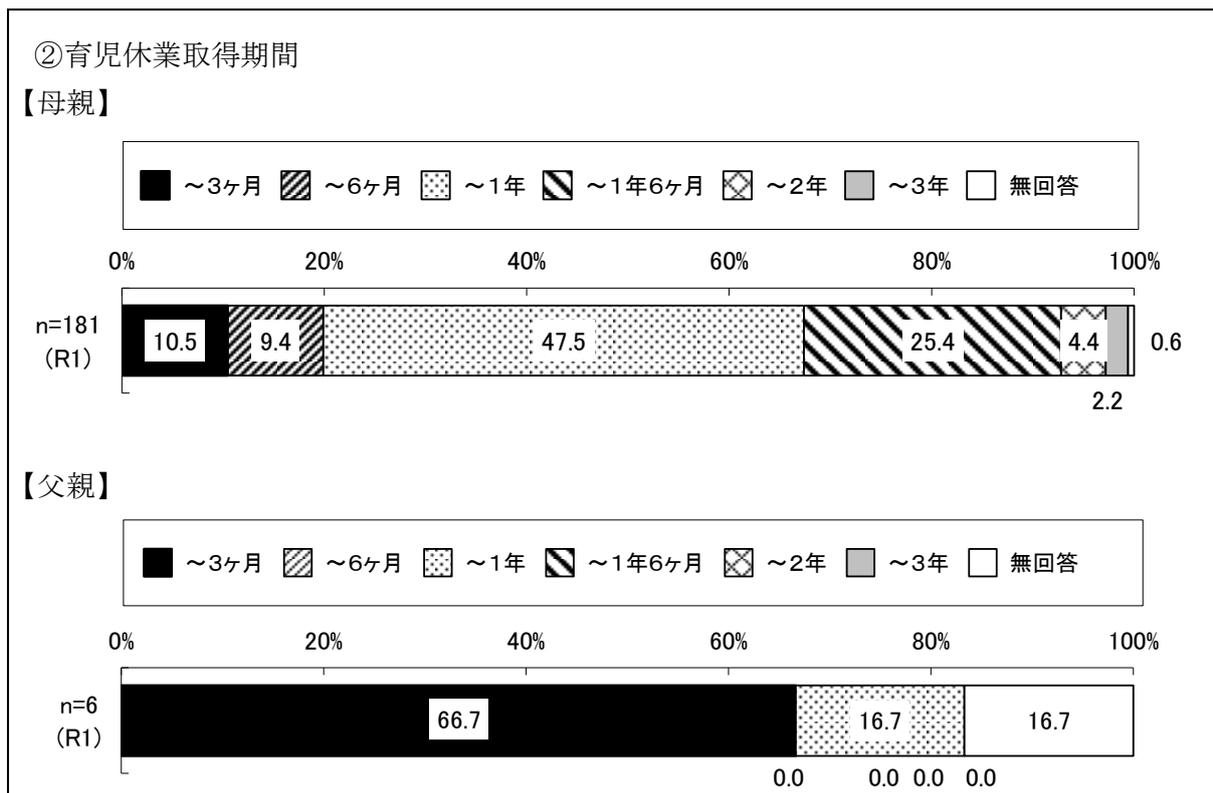
【父親】



子どもが生まれたときの父母の育児休業の取得状況を見ると、母親では「取得した（取得中である）」（46.3%）が最も多く、次いで「働いていなかった」（37.1%）となっています。

父親では「取得していない」（74.9%）が最も多く、「取得した（取得中である）」は1.5%となっています。

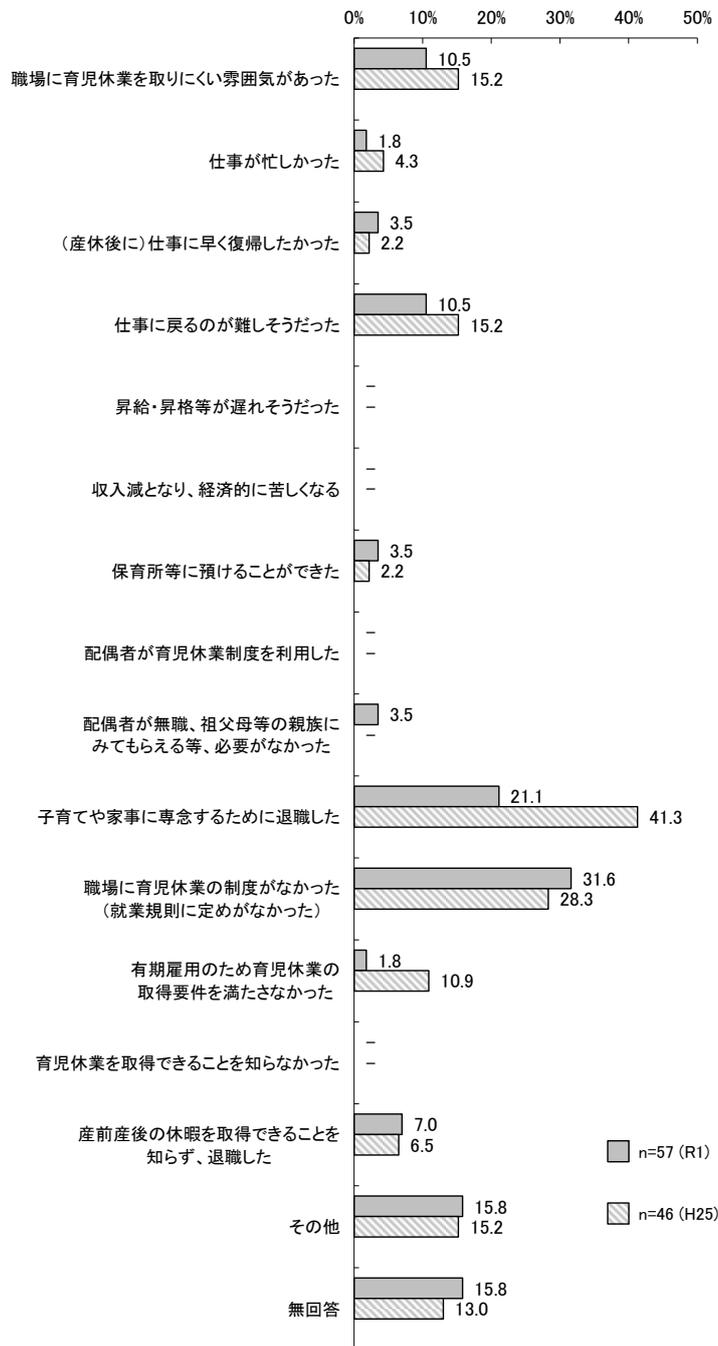
前回調査結果との比較では、今回、母親の「取得した（取得中である）」の割合が高くなっています。

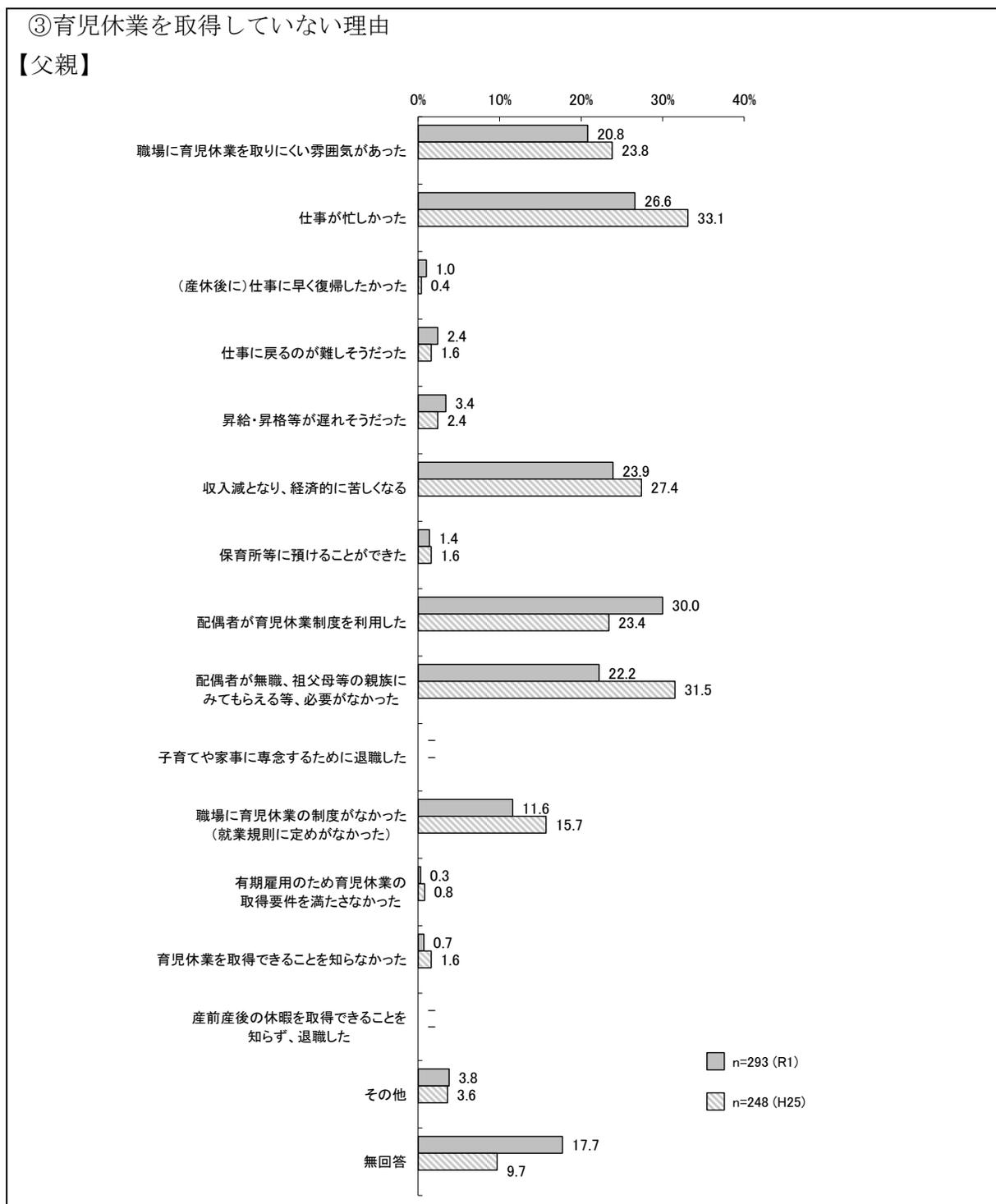


育児休業取得期間について、母親では「～1年」(47.5%)、父親では「～3ヶ月」(66.7%)が最も多くなっています。

③育児休業を取得していない理由

【母親】





育児休業を取得していない理由では、母親では「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（31.6%）が最も多く、父親では「配偶者が育児休業制度を利用した」（30.0%）が最も多くなっています。

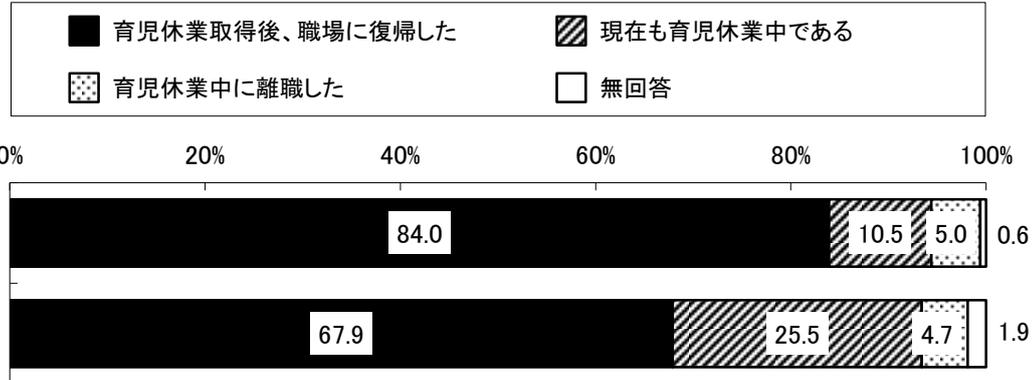
前回調査結果と比較すると、母親では今回、「子育てや家事に専念するために退職した」の割合が大きく減少しています。また父親では、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、必要がなかった」「仕事が忙しかった」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」などで割合が低くなっており、「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が高くなっています。

(2) 育児休業取得後の職場への復帰状況

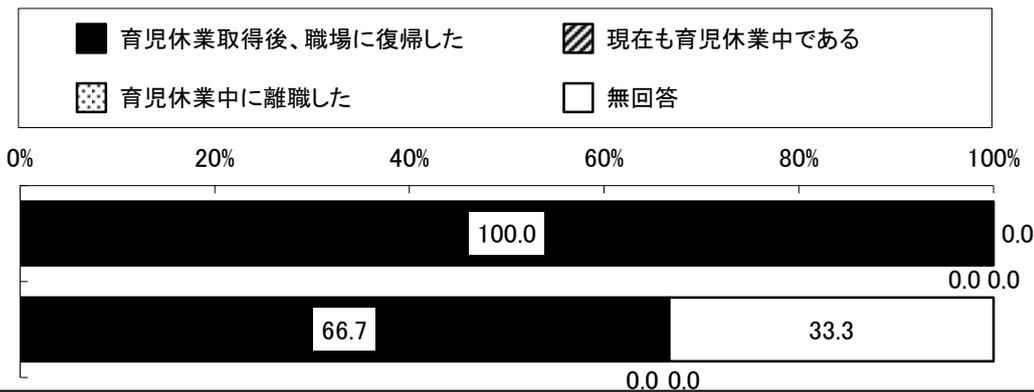
《問 29 は、問 28 で父親または母親が「2. 取得した（取得中である）」を選ばれた方におうかがいします。》

問 29 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。【○は1つだけ】

【母親】



【父親】



育児休業を取得したことがある（取得中である）人に、取得後の職場復帰状況をたずねたところ、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」（84.0%）が最も多く、次いで「現在も育児休業中である」（10.5%）、「育児休業中に離職した」（5.0%）となっています。

父親では該当者6人全員「育児休業取得後、職場に復帰した」との回答がありました。

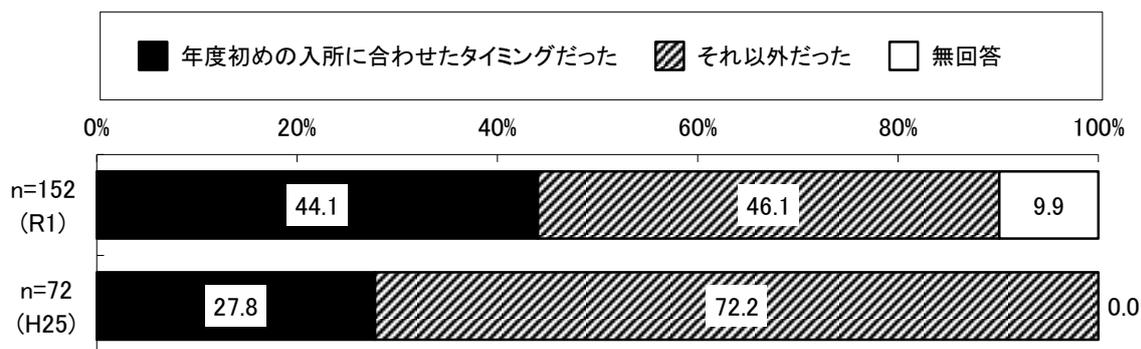
前回調査結果との比較では、母親は今回「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が高く、「現在も育児休業中である」の割合が低くなっています。

(3) 職場復帰のタイミング

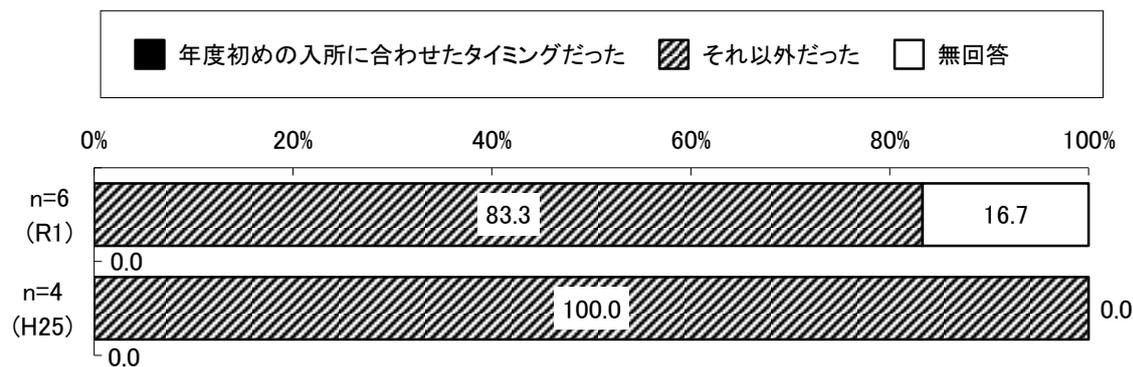
《問 29-1~2、問 29 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方におうかがいします。》

問 29-1 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。【〇は1つだけ】

【母親】



【父親】



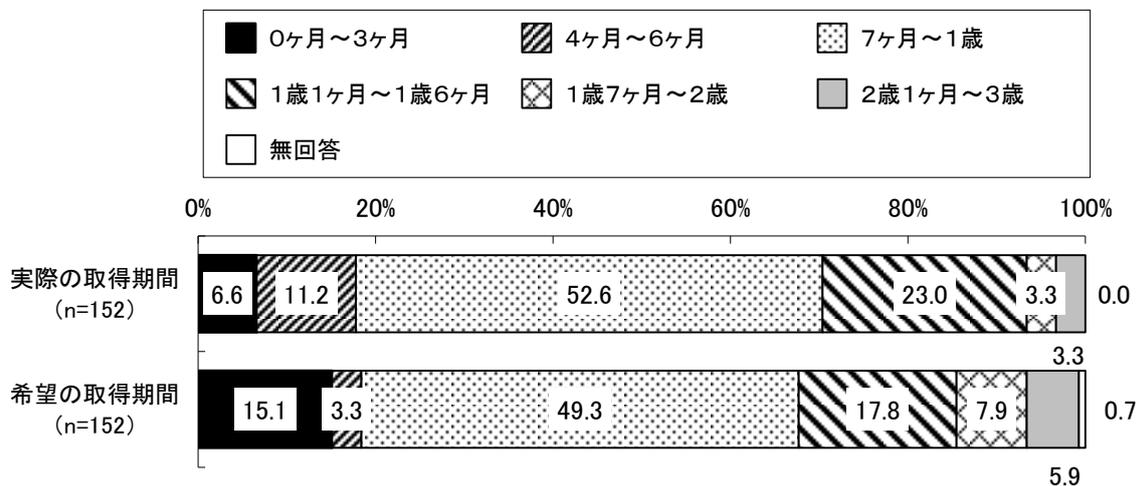
育児休業取得後に職場に復帰した人に職場復帰のタイミングをたずねたところ、母親では「それ以外だった」(46.1%)、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」(44.1%)と なっています。父親では「それ以外だった」(83.3%)が8割強を占めています。

前回調査結果との比較では、母親は今回「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が高く、「それ以外だった」の割合が低くなっています。

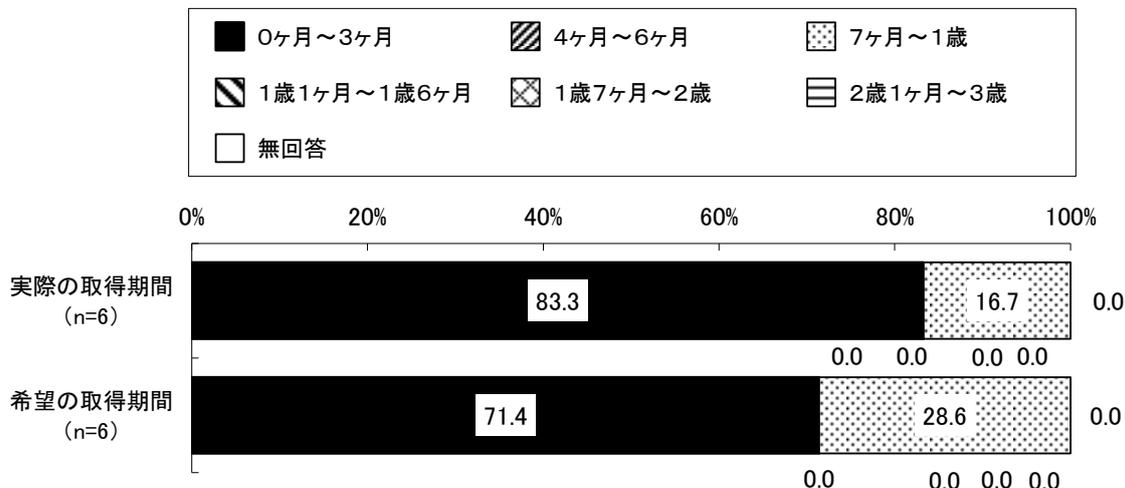
(4) 育児休業からの職場復帰時の子どもの年齢

問 29-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。【数字を記入】

【母親】



【父親】



育児休業取得後に職場に復帰した人に職場復帰時の子どもの年齢について、実際の取得期間と希望をたずねたところ、母親では実際には「7ヶ月～1歳」(52.6%)、希望でも「7ヶ月～1歳」(49.3%)が最も多くなっています。

父親では、実際には「0ヶ月～3ヶ月」(83.3%)、希望でも「0ヶ月～3ヶ月」(71.4%)が最も多くなっています。

(5) 希望の時期に育児休暇から職場復帰しなかった理由

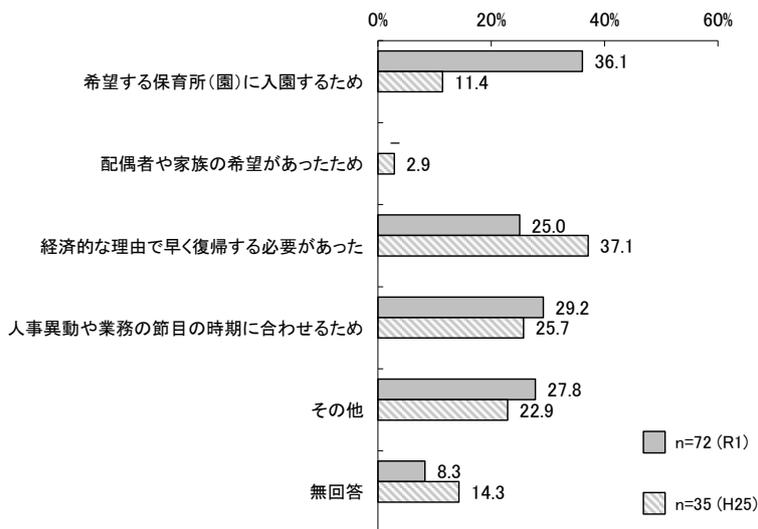
①「希望」より早く復帰した方

《問 29-3 は、問 29-2 で実際の復帰と希望が異なる方におうかがいします。》

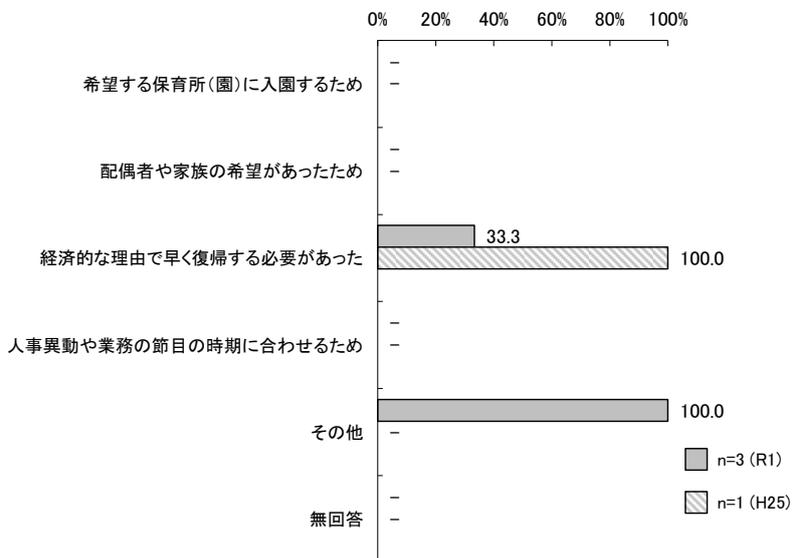
問 29-3 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

【○はあてはまるものすべて】

【母親】



【父親】



育児休業取得後に職場に復帰した人のうち、実際の復帰と希望が異なる人にその理由をたずねたところ、希望より早く復帰した理由としては、母親では「希望する保育所（園）に入園するため」（36.1%）が最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」（29.2%）となっています。父親では、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」（33.3%）となっています。

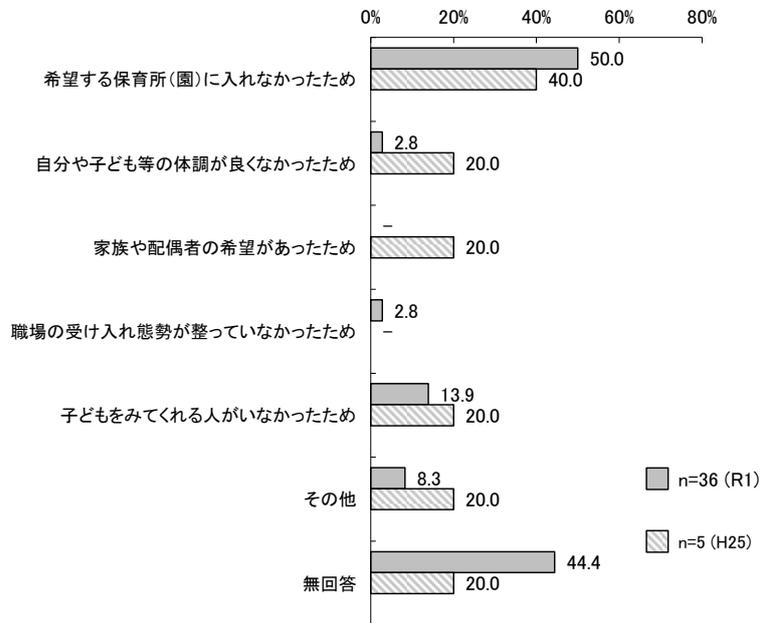
前回調査結果との比較では、母親で、今回「希望する保育所（園）に入園するため」の割合が高く、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」の割合が低くなっています。

②「希望」より遅く復帰した方

問 29-3 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

【〇はあてはまるものすべて】

【母親】



【父親】

(該当なし)

希望より遅く復帰した理由については、「希望する保育所(園)に入れなかったため」(50.0%)が最も多く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」(13.9%)となっています。

父親では、該当者はありませんでした。

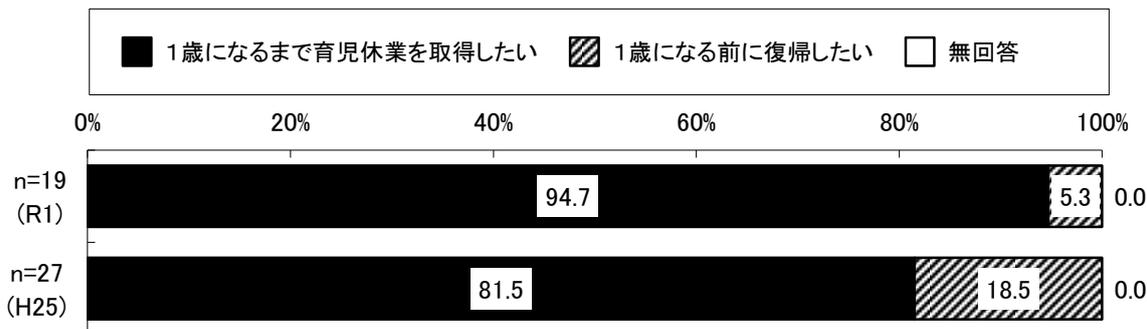
前回調査結果と比較すると、今回「希望する保育所(園)に入れなかったため」の割合が前回に比べ高く、「自分や子ども等の体調が良くなかったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」では、割合が低くなっています。

(6) 1歳まで育児休業を利用するか

《問 29-4 は、問 29 で「2. 現在も育児休業中である」を選ばれた方におうかがいします。》

問 29-4 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。【〇は1つだけ】

【母親】



【父親】

(該当なし)

現在育児休業中の人に、必ず利用できる保育事業があれば1歳になるまで育児休業を取得するかたずねたところ、母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」(94.7%)、「1歳になる前に復帰したい」(5.3%)となっています。

父親では、該当者はありませんでした。

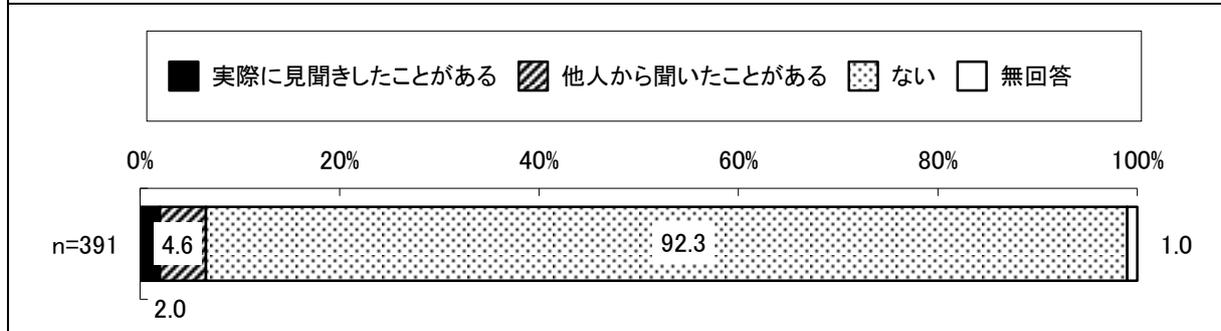
前回調査結果との比較では、母親で「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が高く、「1歳になる前に復帰したい」の割合が低くなっています。

12. 児童虐待について

(1) 「子どもへの虐待」を見聞きしたことがあるか

問30 お住まいの地域で「子どもへの虐待」を見聞きしたことはありますか。

【〇は1つだけ】



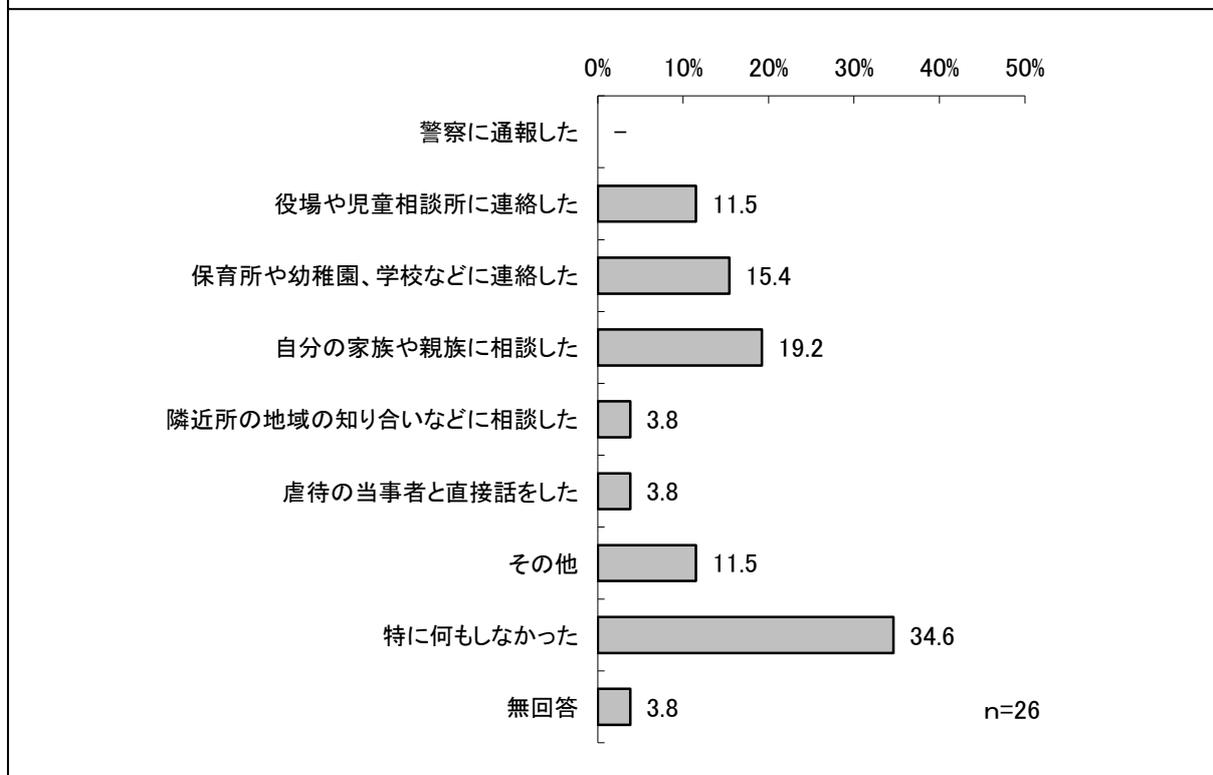
子どもの虐待についてたずねたところ、見聞きしたことは「ない」(92.3%)が最も多く、次いで「他人から聞いたことがある」(4.6%)、「実際に見聞きしたことがある」(2.0%)となっています。

(2) 見聞きしたときの対処法

《問30-1は、問30で「1」または「2」を選ばれた方におうかがいします。》

問30-1 虐待を見聞きしたとき、あなたはどのような対応をしましたか。

【〇は1つだけ】

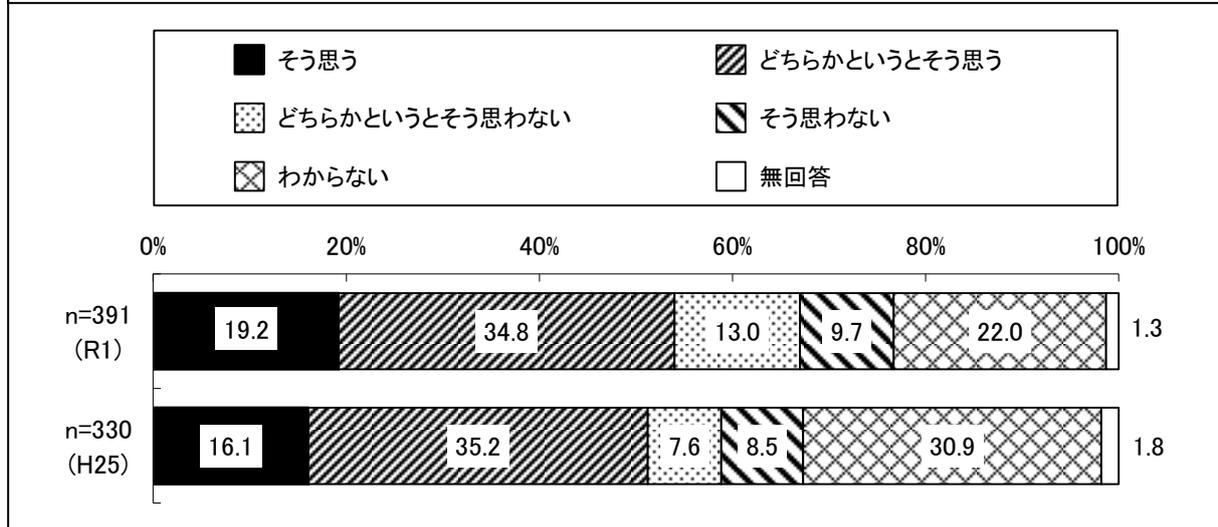


虐待を見聞きしたときの対処法については、「特に何もなかった」(34.6%)が最も多く、次いで「自分の家族や親族に相談した」(19.2%)、「保育所や幼稚園、学校などに連絡した」(15.4%)、「役場や児童相談所に連絡した」「その他」(いずれも11.5%)となっています。

13. 子育て全般について

(1) 桂川町は子育てしやすいまちだと思うか

問31 桂川町は子育てしやすいまちだと思いますか。【あてはまるもの1つに○】

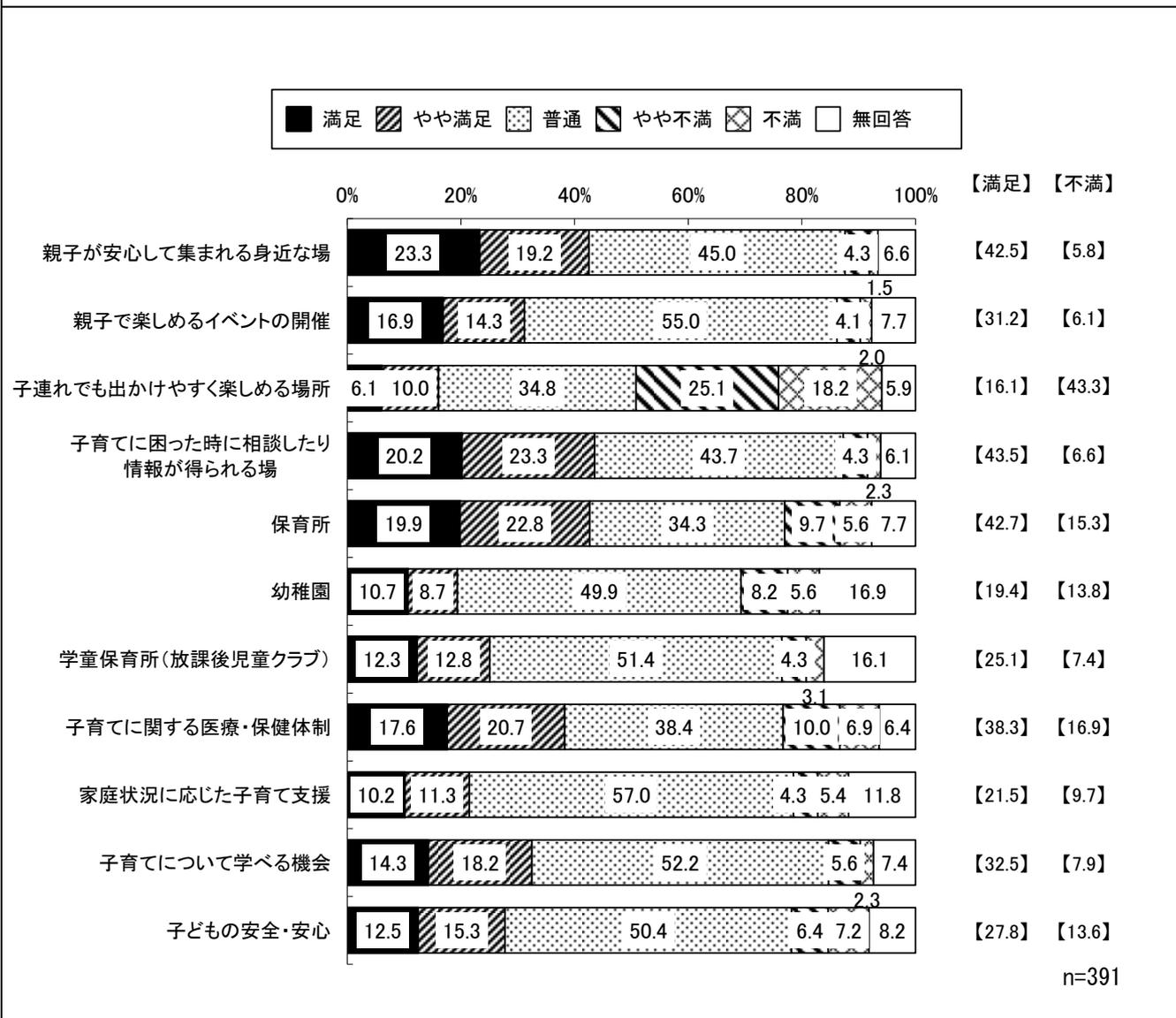


桂川町は子育てしやすいまちだと思うかたずねたところ、「どちらかというと思う」(34.8%)が最も多く、次いで「わからない」(22.0%)、「そう思う」(19.2%)となっており、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は54.0%、『そう思わない』(「そう思わない」+「どちらかというと思わない」)は22.7%を占めています。

前回調査結果との比較では、今回『そう思う』(前回 51.3%→今回 54.0%)、『そう思わない』(前回 16.1%→今回 22.7%)のいずれも、前回に比べ割合が高くなっています。

(2) 桂川町の子育て環境や支援の満足度と重要度

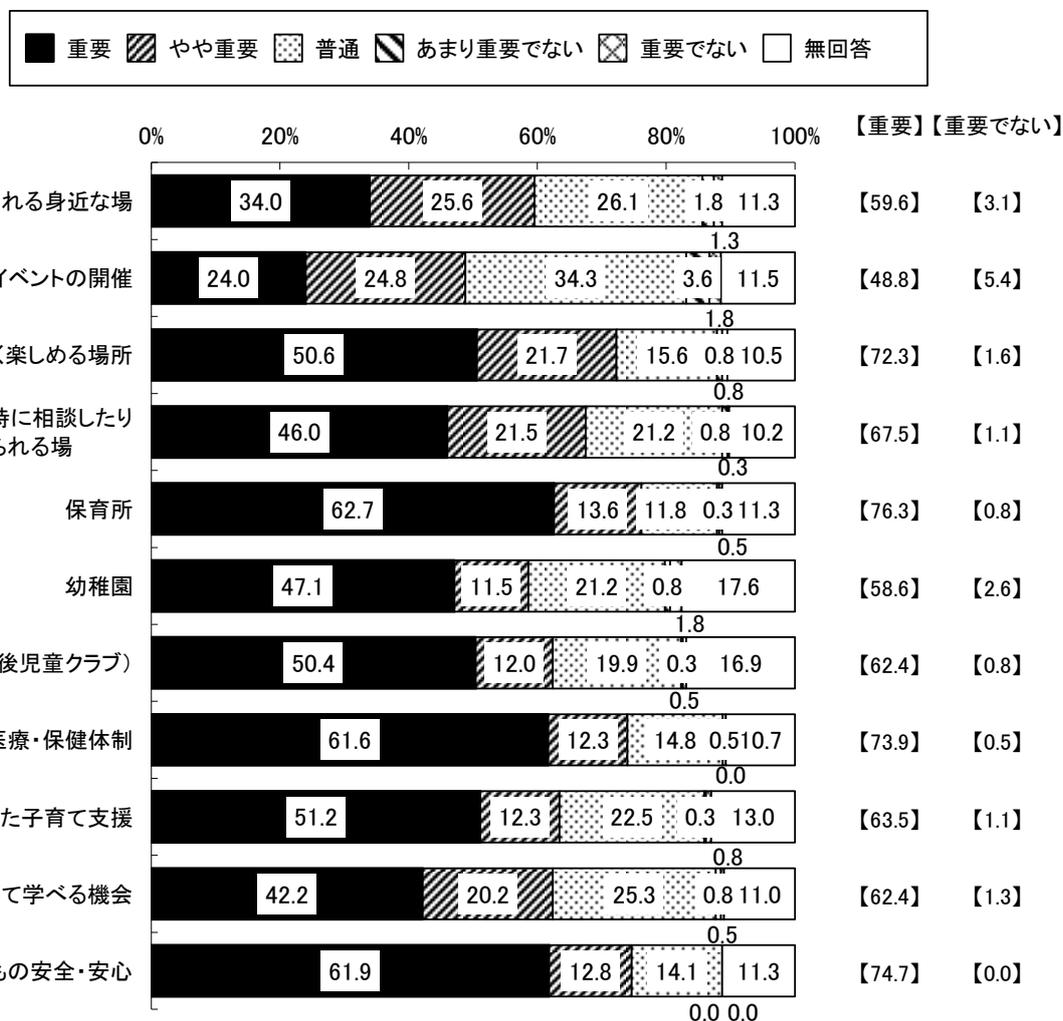
問32 桂川町の子育て環境や支援の満足度について、1～5の5段階評価でお答えください。【1～5のうち、あてはまる番号1つに○】



桂川町の子育て支援策の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』の割合でみると、「子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場」(43.5%)、「保育所」(42.7%)、「親子が安心して集まれる身近な場」(42.5%)などがいずれも4割台を占め、他の項目に比べて高くなっています。

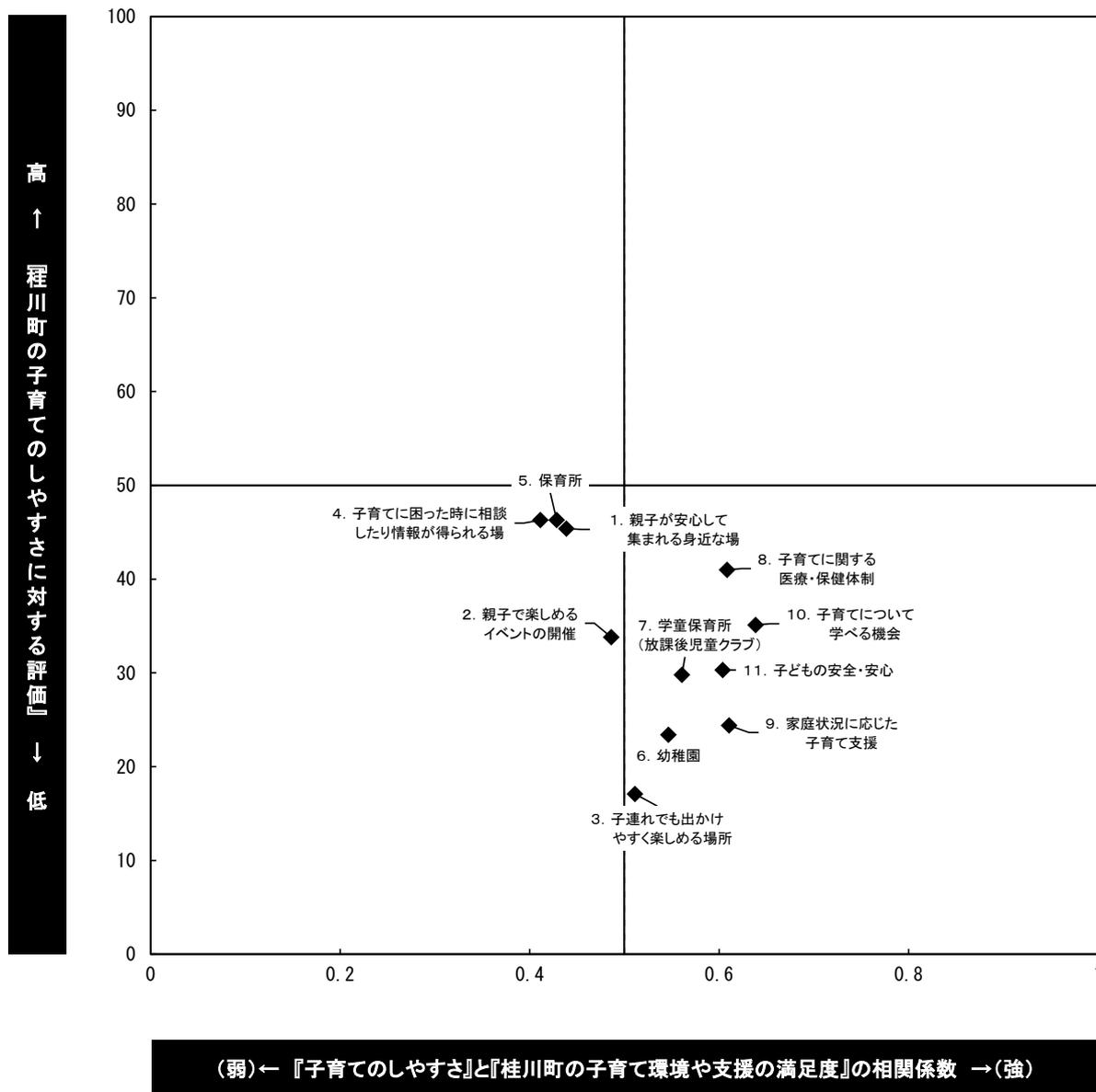
一方、「やや不満」と「不満」を足した『不満』の割合は、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所」(43.3%)が他の項目に比べて高くなっています。

問32 桂川町の子育て環境や支援の重要度について、1～5の5段階評価でお答えください。【1～5のうち、あてはまる番号1つに○】



n=391

桂川町の子育て環境や支援策の重要度について、「重要」と「やや重要」を足した『重要』の割合でみると「保育所」(76.3%)が最も高く、次いで「子どもの安全・安心」(74.7%)、「子育てに関する医療・保健体制」(73.9%)、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所」(72.3%)などが高い割合を占めています。



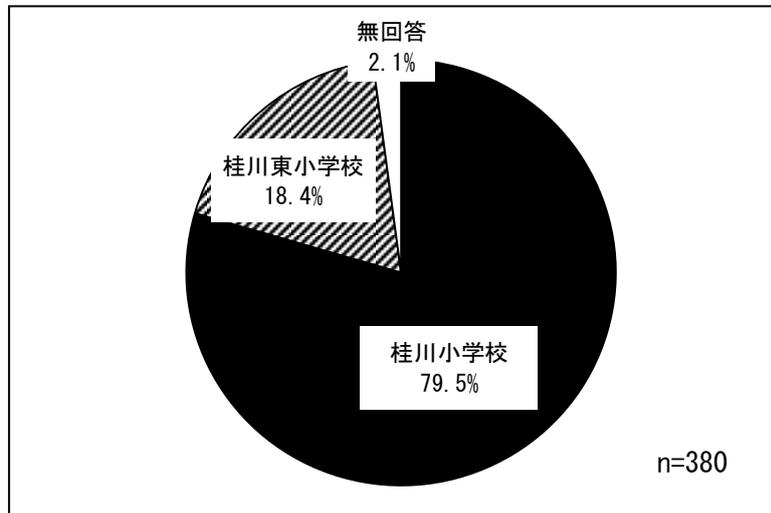
桂川町の子育て環境や支援策 11 項目それぞれの満足度と、問 31「桂川町は子育てしやすいまちだと思うか」との相関係数の関係を見ると、子育て支援策のいずれも子育てしやすさとの間に 0.4 以上のやや相関がみられる関係にあります。

特に、相関係数が 0.6 以上の「9. 家庭状況に応じた子育て支援」「11. 子どもの安全・安心」「10. 子育てについて学べる機会」「子育てに関する医療・保健体制」などについて、今後桂川町が子育てしやすいまちとなるために、より満足度を高めていくよう取り組みを進めていく必要があると考えられます。

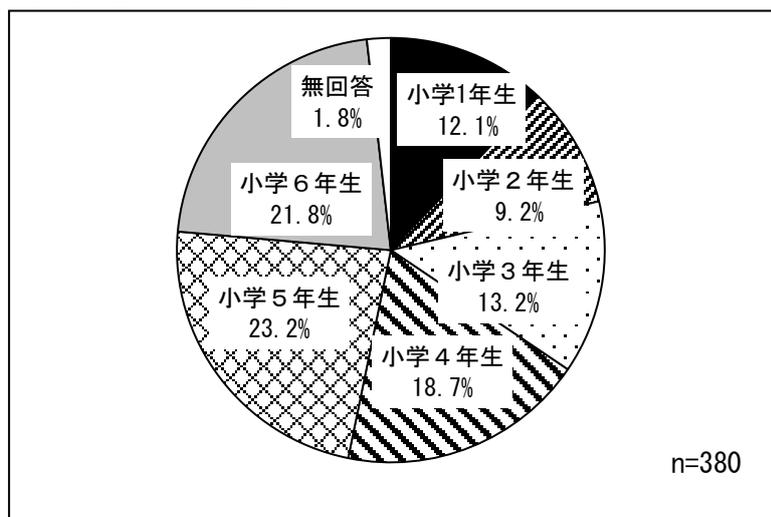
第2章 小学生児童

1. 回答者の属性

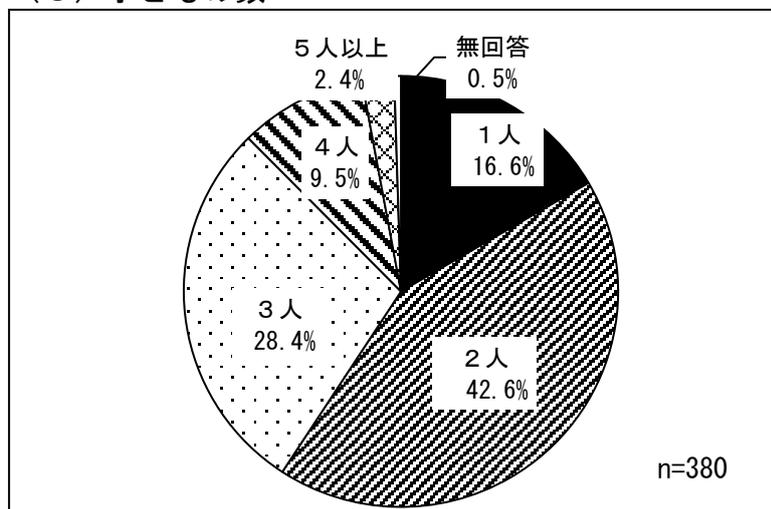
(1) 居住地区



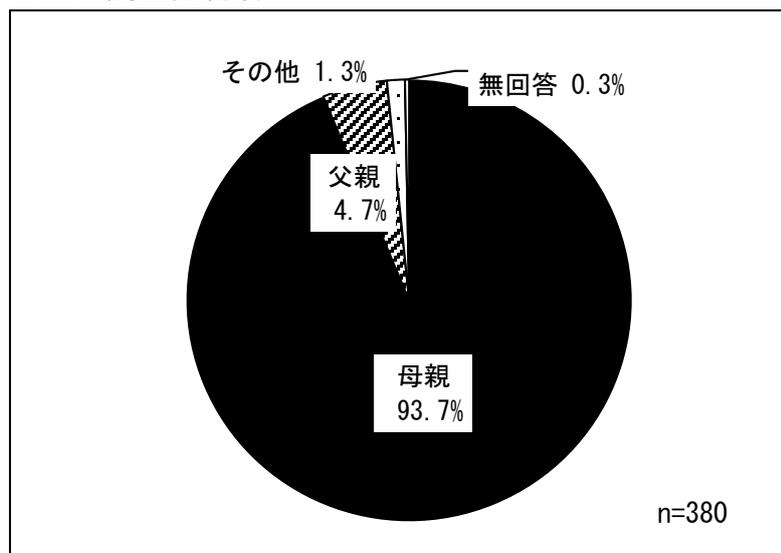
(2) 子どもの学年



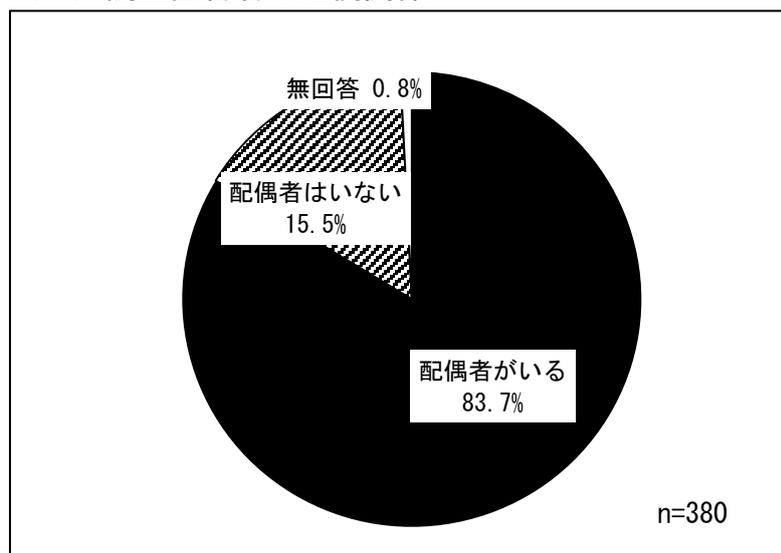
(3) 子どもの数



(4) 調査回答者



(5) 調査回答者の配偶関係

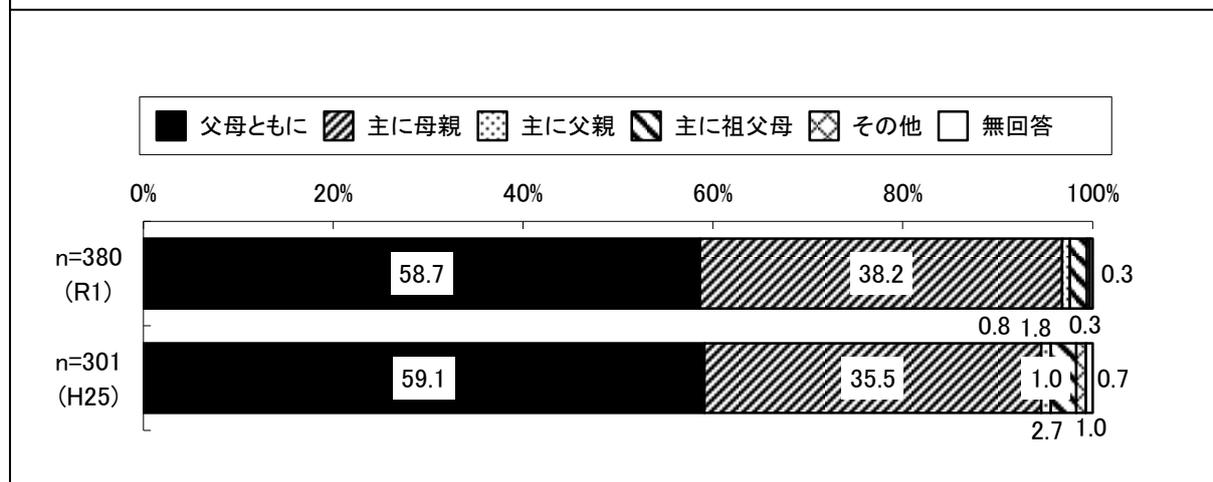


2. 子どもの身近な預け先

(1) 子どもの預け先の状況

① 主な保育者

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方はどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。【〇は1つだけ】

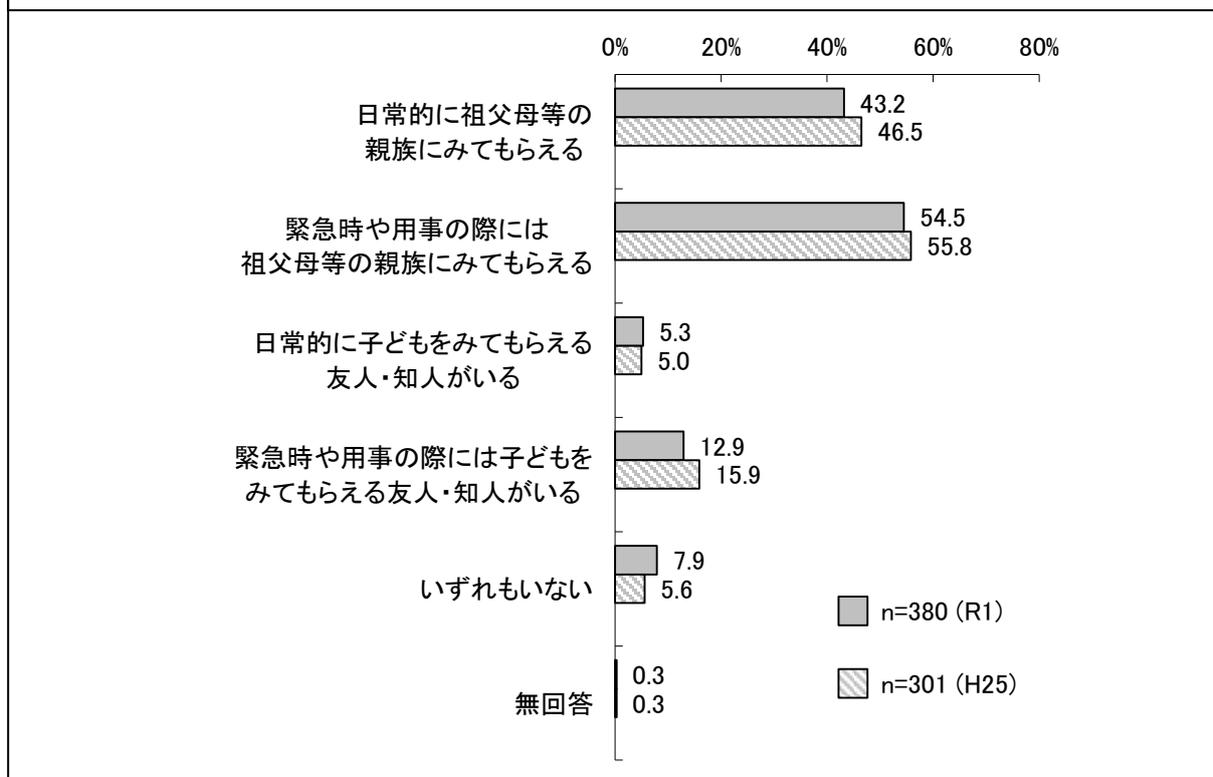


子どもの身の回りの世話を主にしている人(主な保育者)については、「父母ともに」(58.7%)が最も多く、次いで「主に母親」(38.2%)となっています。

前回調査結果との比較では、特に大きな差はみられませんでした。

②子どもを預かってもらえる人の有無

問7 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。【〇はあてはまるものすべて】

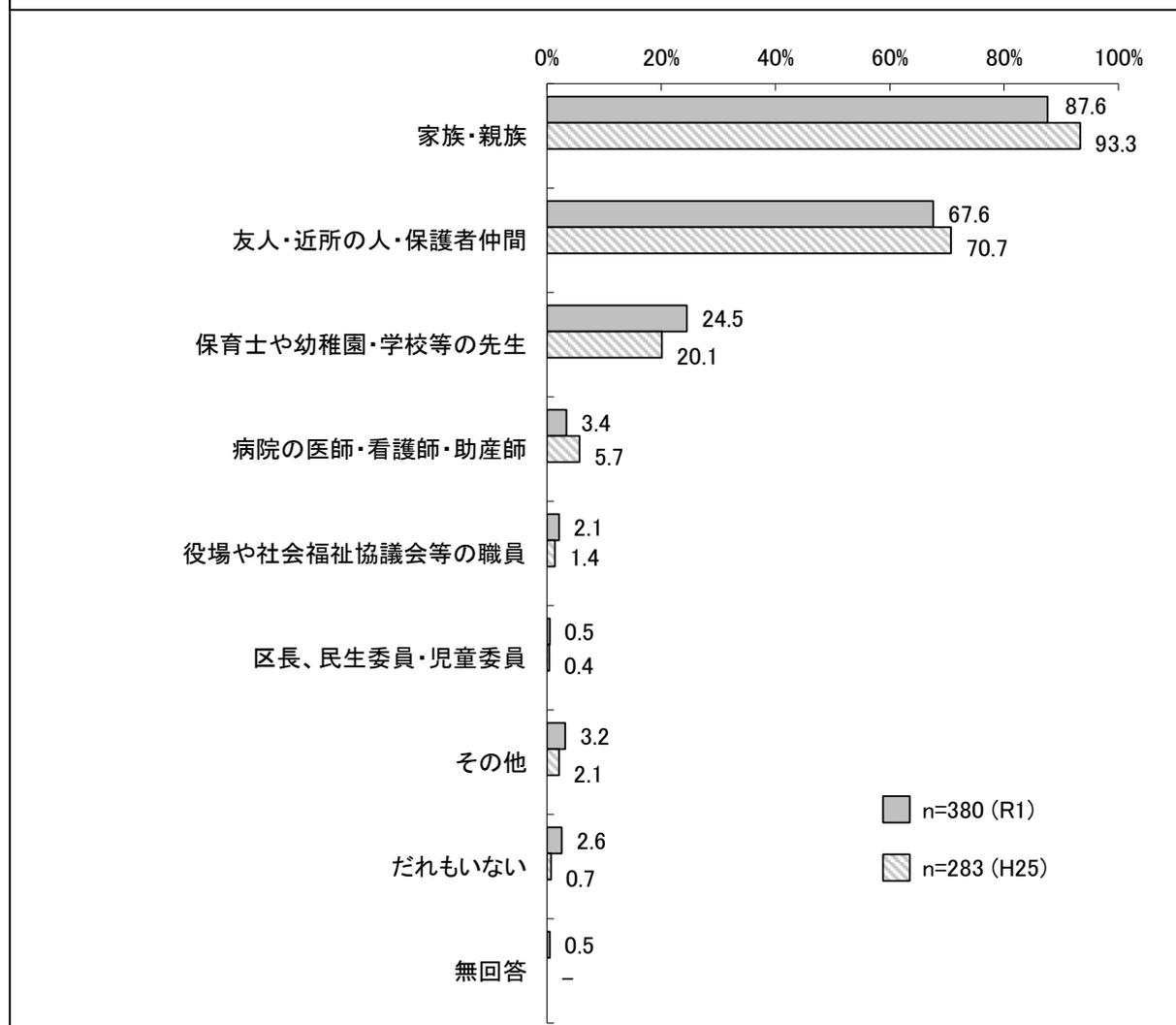


日頃、子どもを預かってもらえる人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(54.5%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(43.2%)となっています。また、「いずれもない」の割合は7.9%でした。

前回調査結果との比較では、特に大きな差はみられませんでした。

③子育てについて気軽に相談できる人

問8 子育てについて、気軽に相談できる人はだれですか。【〇はあてはまるものすべて】



子育てをする上での相談者については、「家族・親族」(87.6%)が最も多く、次いで「友人・近所の人・保護者仲間」(67.6%)、「保育士や幼稚園・学校等の先生」(24.5%)となっています。

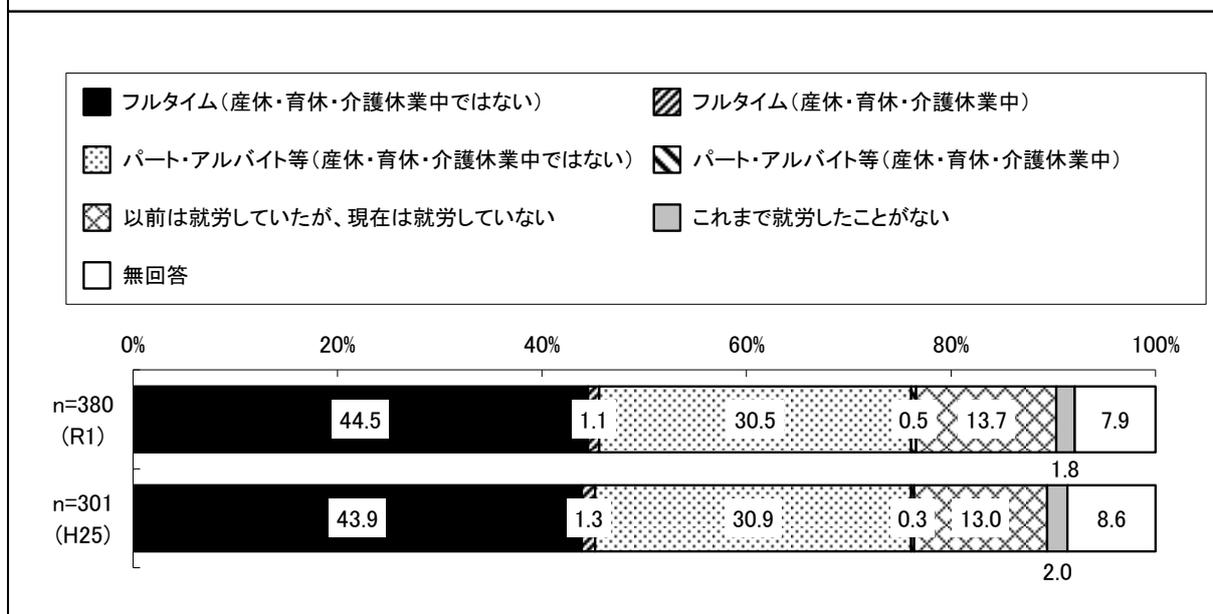
前回調査結果との比較では、今回「家族・親族」「友人・近所の人・保護者仲間」の割合が前回に比べやや低く、「保育士や幼稚園・学校等の先生」では割合がやや高くなっています。

3. 保護者の就労状況

(1) 母親の就労状況

① 就労状況

問9 保護者の方の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。



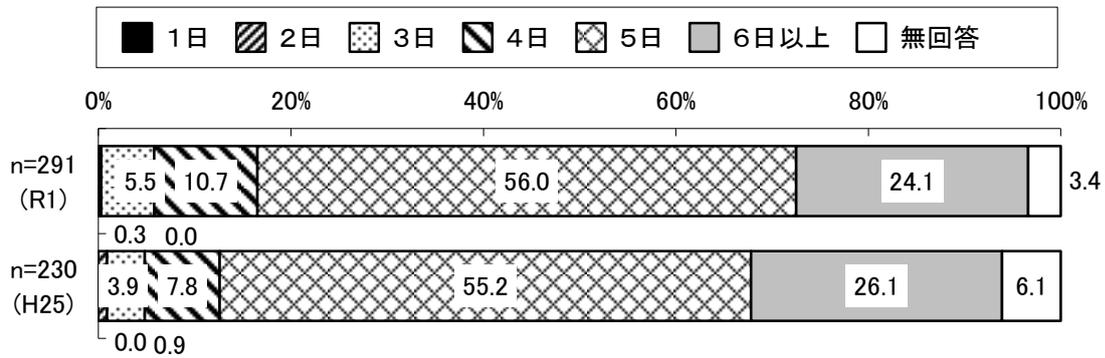
母親の就労状況を見ると、「フルタイムで就労中、産休・育休・介護休業中ではない」(44.5%)が最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労中、産休・育休・介護休業中ではない」(30.5%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(13.7%)となっています。

この結果「フルタイムで就労中、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労中、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労中、産休・育休・介護休業中である」「就労している（パートタイム、アルバイト等）」を合わせた、仕事に就いている母親の割合は76.6%となっています。

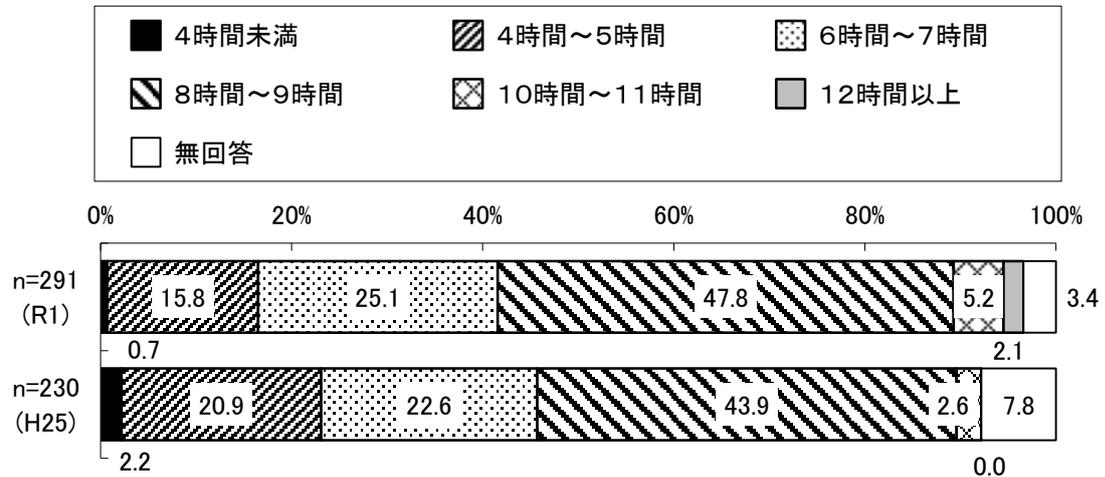
前回調査結果との比較では、特に大きな差はみられませんでした。

②就労日数・就労時間

【1週あたりの就労日数】



【1日あたりの就労時間】

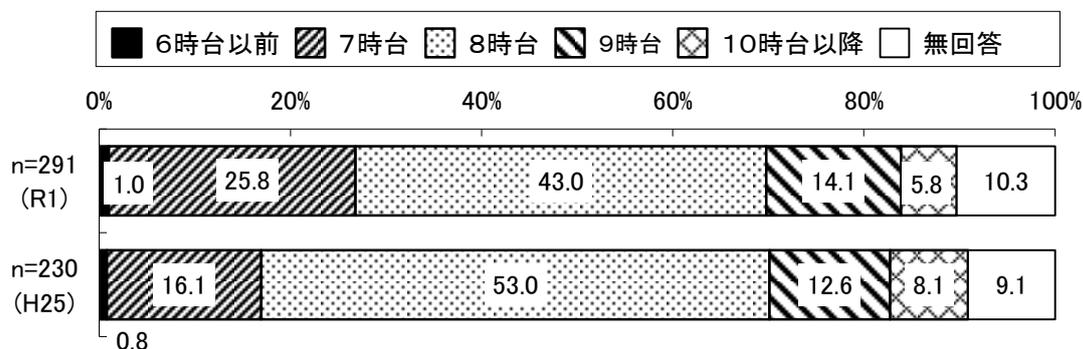


就労している母親の1週あたりの就労日数は「5日」(56.0%)が最も多く、1日あたりの就労時間は、「8～9時間」(47.8%)が最も多くなっています。

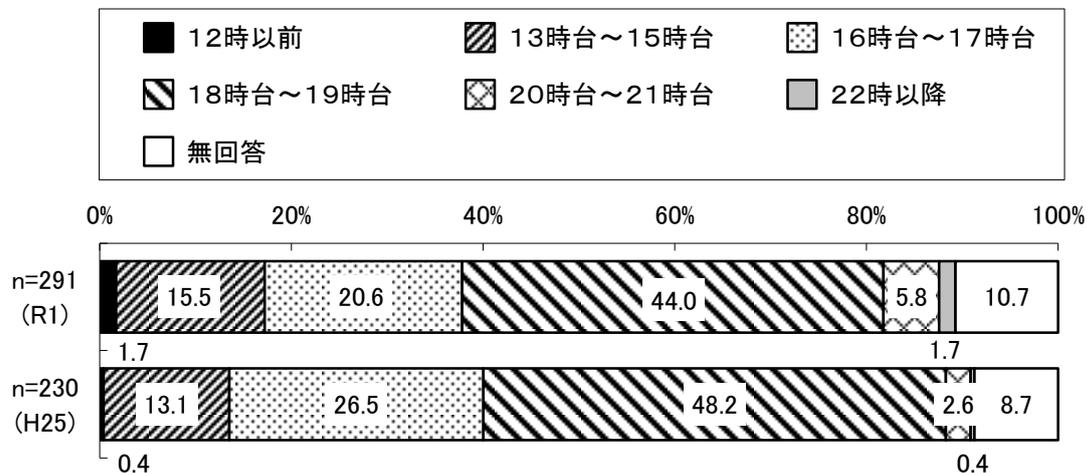
前回調査結果との比較では、1週あたりの就労時間に大きな差はみられませんが、1日あたりの就労時間では、6時間以上の比較的長い時間の割合が高くなっています。

③出勤時刻・帰宅時刻

【出勤時刻】



【帰宅時刻】



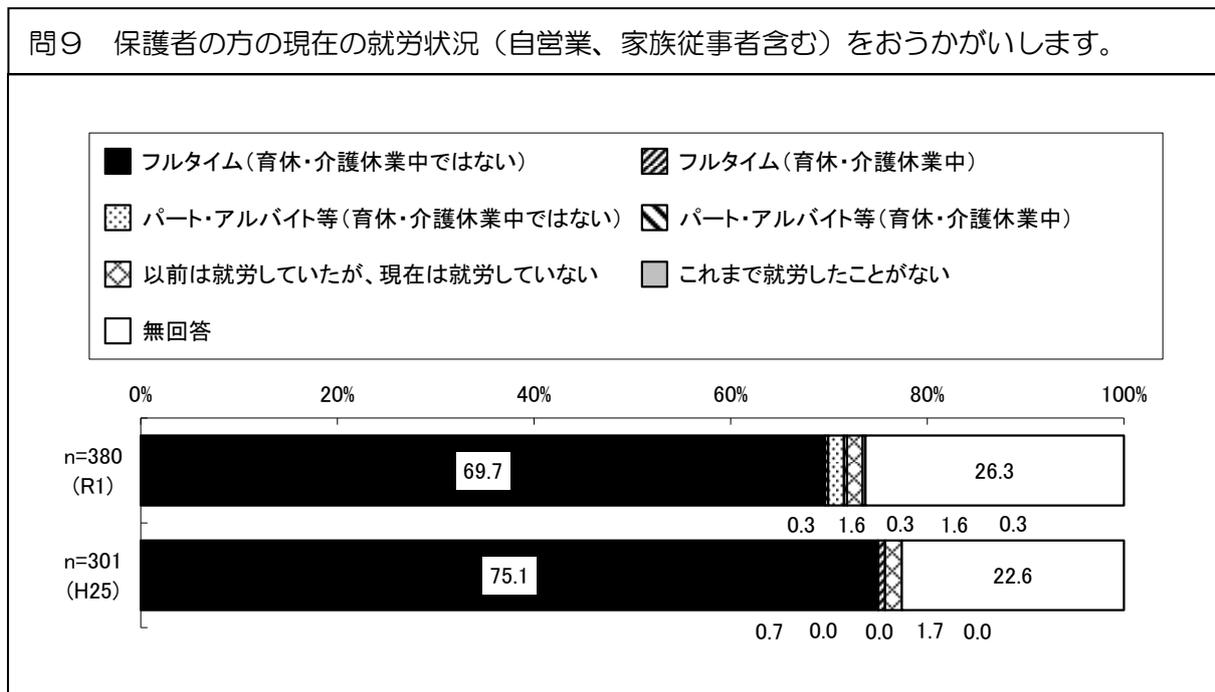
家を出る時間では「8時台」(43.0%)、帰宅時間では「18時台～19時台」(44.0%)が最も多くなっています。

前回調査結果との比較では、今回「7時台」の比較的早い時間での出勤の割合が高くなっており、「8時台」の割合が低くなっています。帰宅時間では「18時台～19時台」の割合が低く、「13時台～15時台」「20時台～21時台」の割合がやや高くなっています。

(2) 父親の就労状況

① 就労状況

問9 保護者の方の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。



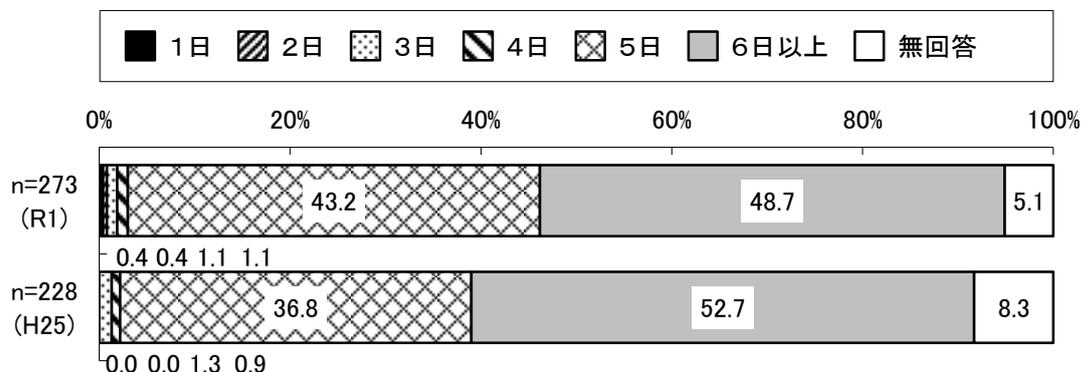
父親の就労状況を見ると、「フルタイムで就労中、産休・育休・介護休業中ではない」(69.7%)が最も多くなっています。

「フルタイム」と「パート・アルバイト等」を合わせた、仕事に就いている父親の割合は71.9%でした。

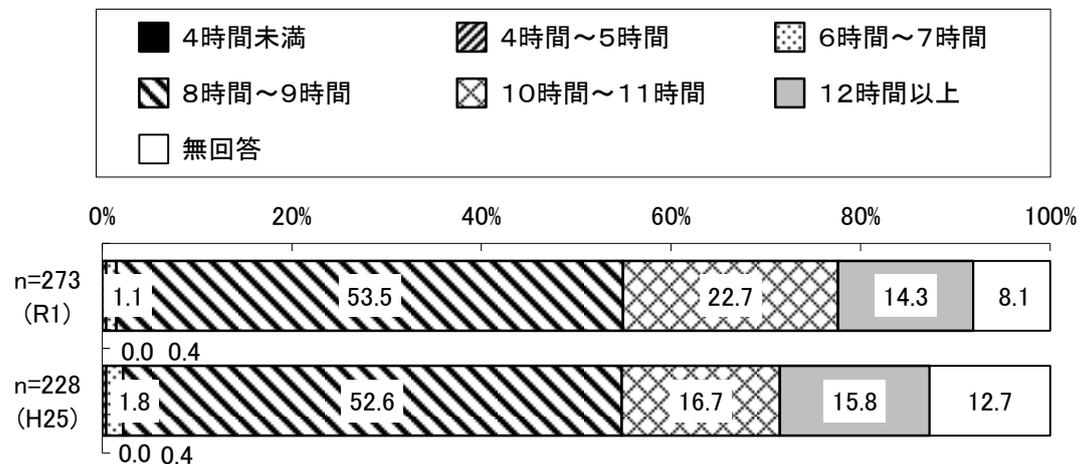
前回調査結果との比較では、今回無回答の割合が高く、「フルタイムで就労中、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が低くなっています。

②就労日数・就労時間

【1週あたりの就労日数】



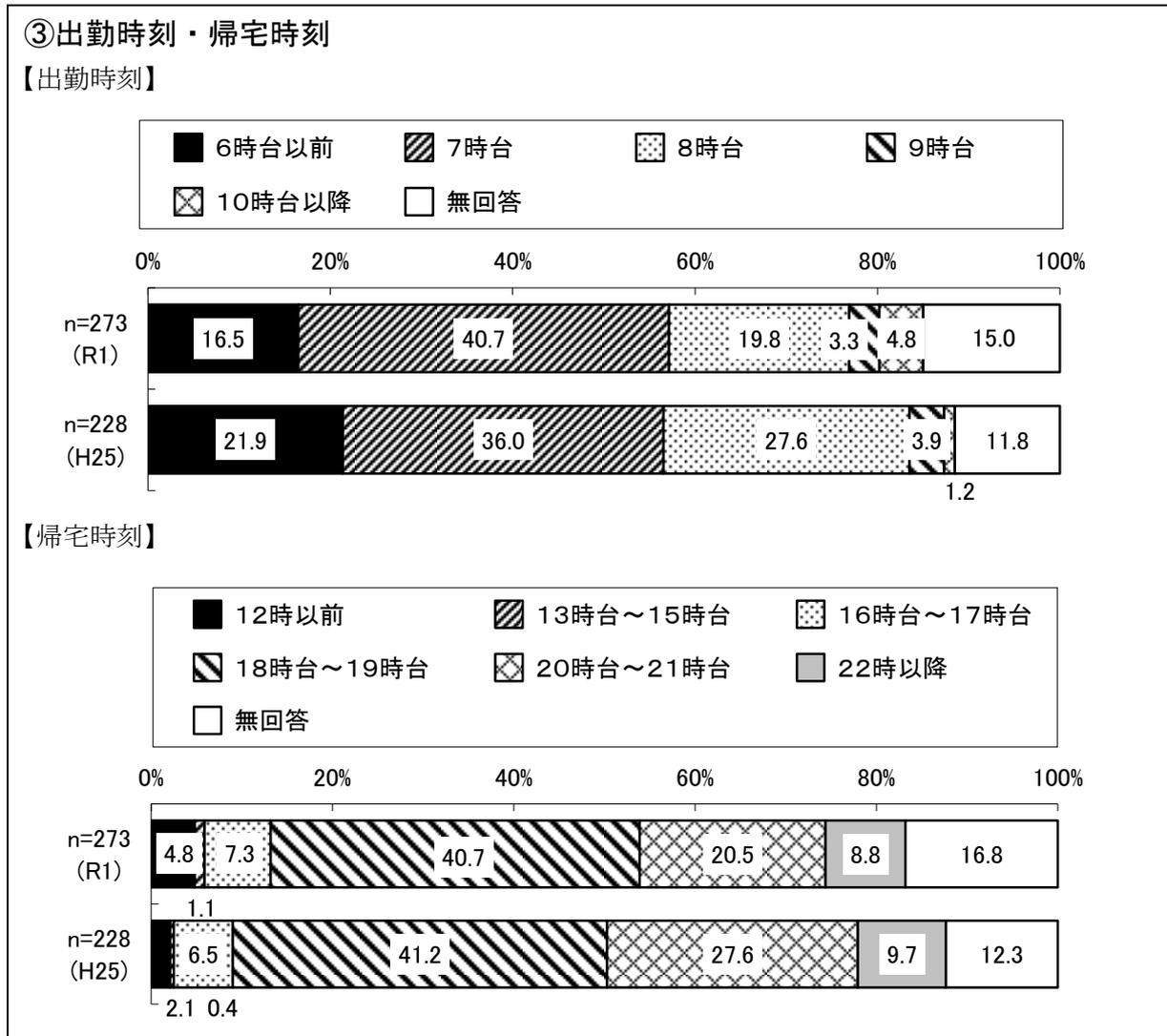
【1週あたりの就労時間】



就労している父親の1週あたりの就労日数は「6日以上」(48.7%)、1日あたりの就労時間は、「8～9時間」(53.5%)が最も多くなっています。

前回調査結果との比較では、今回1週あたりの就労日数で「5日」の割合が高く、「6日以上」の割合がやや低くなっています。

また、1週あたりの就労時間では、今回「10時間～11時間」の比較的長い時間の割合が高くなっています。



就労している父親の家を出る時間では「7時台」(40.7%)、帰宅時間では「18時台～19時台」(40.7%)が最も多くなっています。

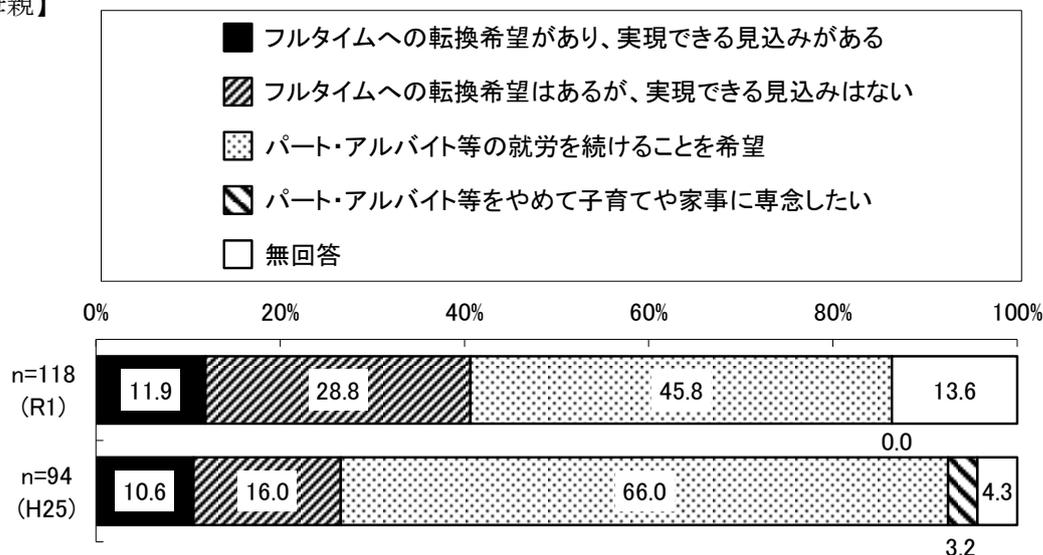
前回調査結果との比較では、今回出勤時間で「7時台」「10時台以降」の割合が前回に比べやや高くなっており、帰宅時間で「20時台～21時台」の割合が低くなっています。

(3) フルタイムへの転換希望

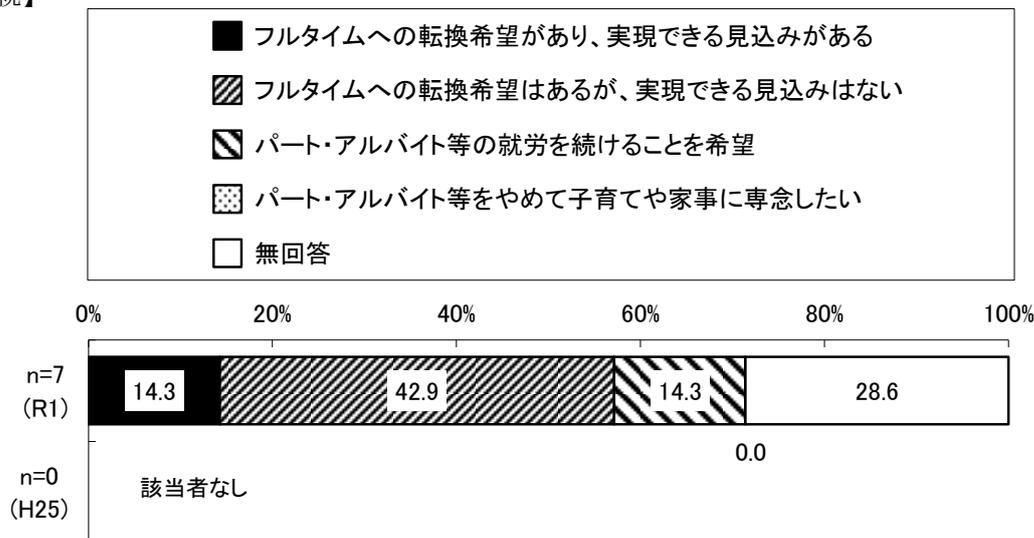
《問10は、問9 母親または父親で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労)を選ばれた方におうかがいします。》

問10 フルタイムへの転換希望はありますか。【〇は母親、父親それぞれ1つだけ】

【母親】



【父親】



母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」(45.8%)が最も多く、次いで「フルタイムでの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(28.8%)となっています。

父親のフルタイムへの転換希望については、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みがない」(42.9%)が最も多くなっています。

前回調査結果との比較では、今回母親で「フルタイムでの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が高く、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が低くなっています。

(4) 就労希望（未就労者）

①母親

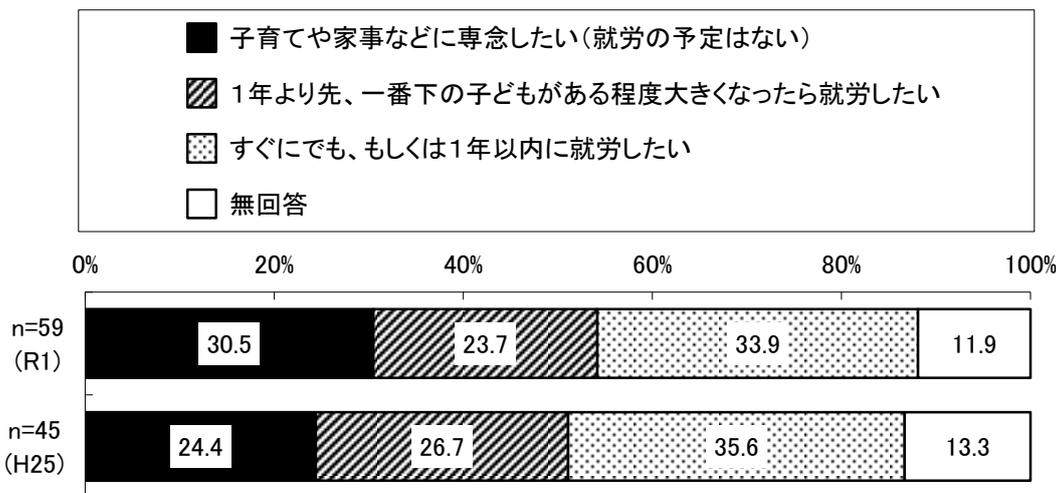
《問 11 は、問 9 母親または父親で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」を選ばれた方におうかがいします。》

問 1 1 就労したいという希望はありますか。【○は母親、父親それぞれ 1 つだけ】

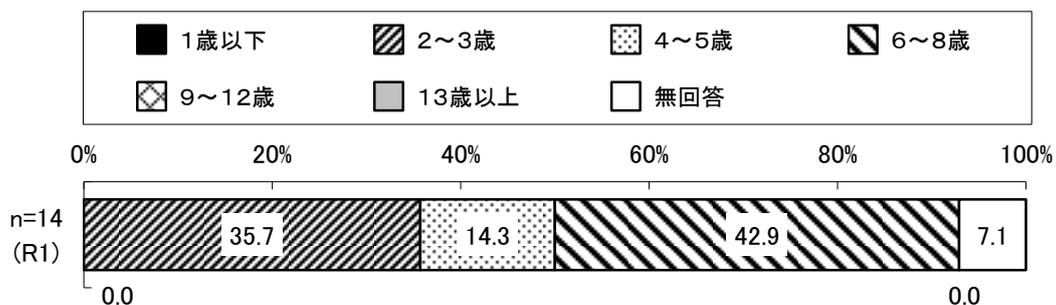
「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」場合には、希望する就労形態についてもお答えください。

また、該当する箇所に数字をご記入ください。【数字で記入】

【就労希望】



【子どもの年齢】

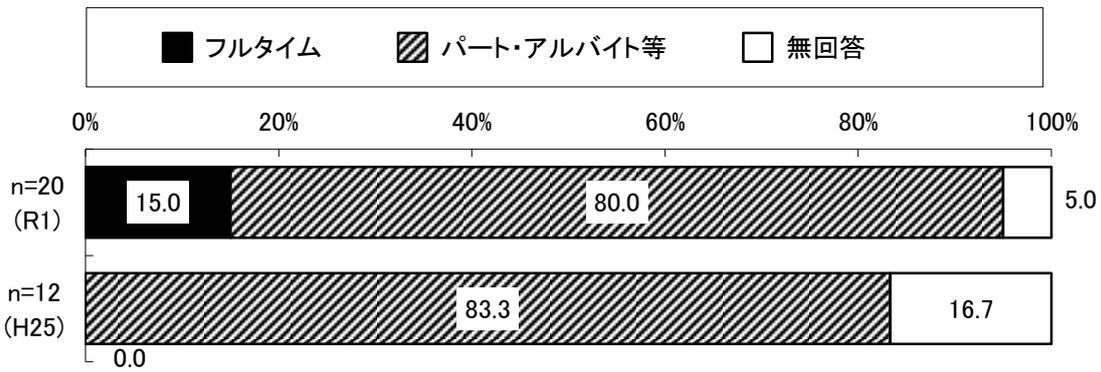


就労していない母親の就労希望の有無については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(33.9%)が最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(30.5%)、「1年より先、子どもがある程度大きくなったら就労したい」(23.7%)となっており、就労希望者の割合は57.6%となっています。

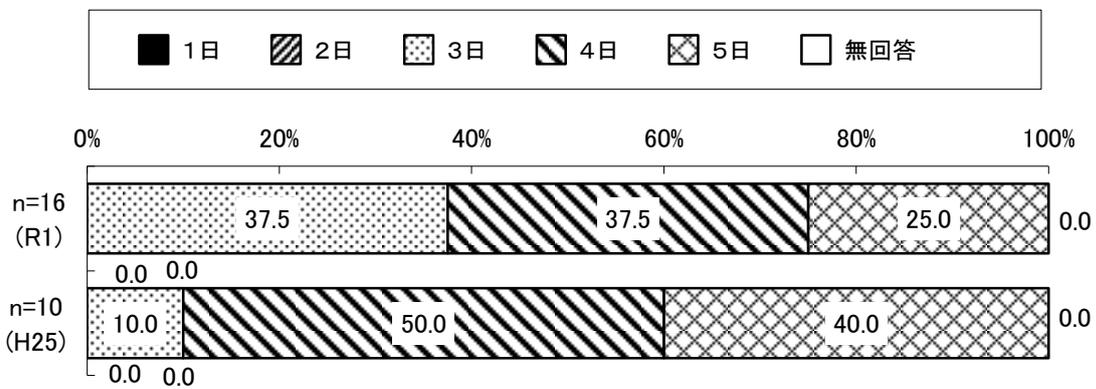
「1年より先、一番下の子どもがある程度大きくなったら就労したい」と回答した人に、子どもが何歳になったら就労したいかたずねたところ、「6~8歳」(42.9%)が最も多く、次いで「2~3歳」(35.7%)となっています。

前回調査結果との比較では、今回「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が高く、就労希望者の割合がやや低くなっています。

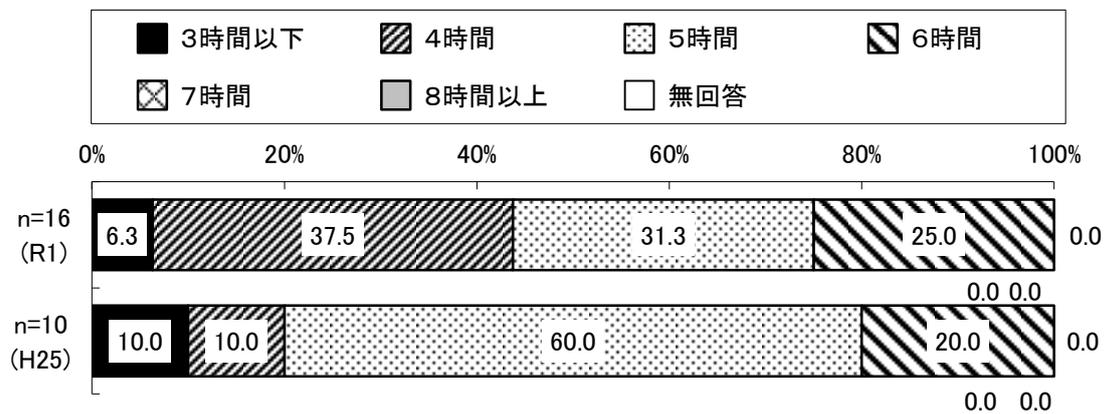
【就労希望形態】



【1週あたり就労日数】



【1日あたり就労時間】



「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人に、希望する就労形態をたずねた結果では、「パート・アルバイト等」(80.0%)、「フルタイム」(15.0%)となっています。

パートタイム、アルバイト等を希望する場合の1週あたりの就労希望日数は「3日」「4日」(いずれも37.5%)が最も多く、1日あたりの就労時間は、「4時間」(37.5%)が最も多くなっています。

前回調査結果との比較では、今回就労希望形態で「フルタイム」の割合が高くなっており、1週あたりの就労日数では「3日」、1日あたり就労時間では「4時間」の割合が高くなっています。

②父親

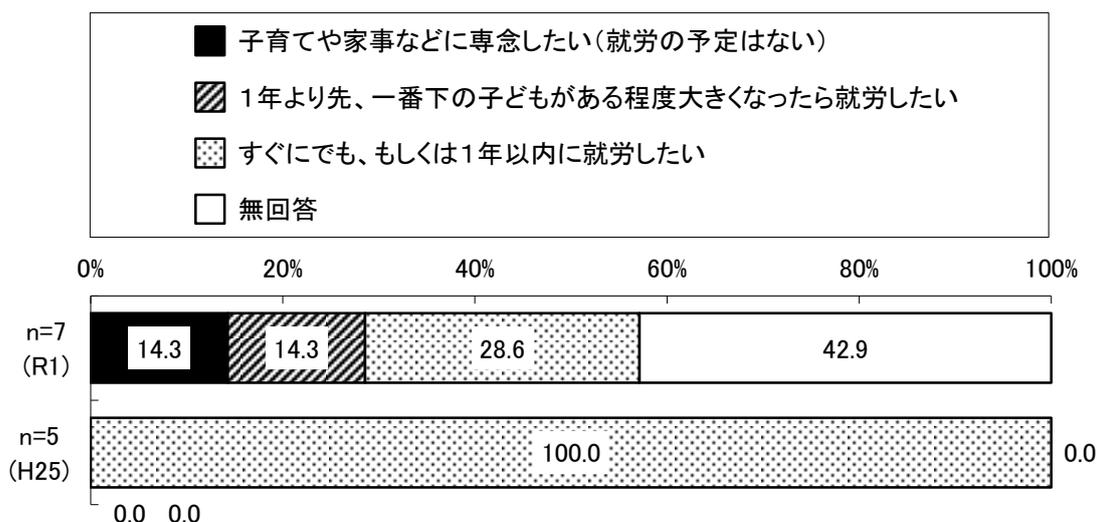
《問 11 は、問 9①または②で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」を選ばれた方におうかがいします。》

問 1 1 就労したいという希望はありますか。【〇は①、②それぞれ 1 つだけ】

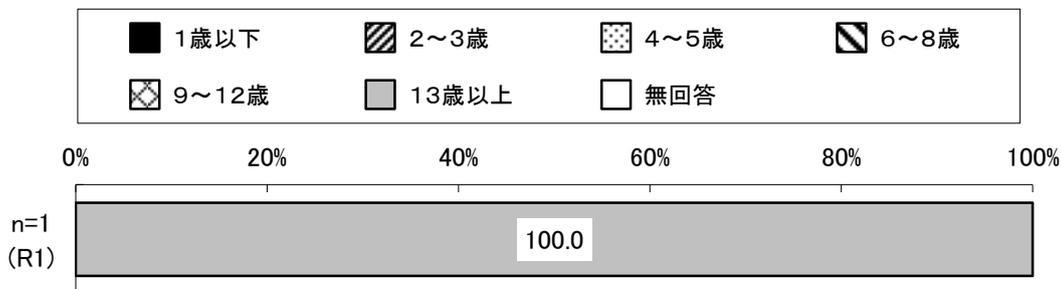
「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」場合には、希望する就労形態についてもお答えください。

また、該当する箇所に数字をご記入ください。【数字で記入】

【就労希望】

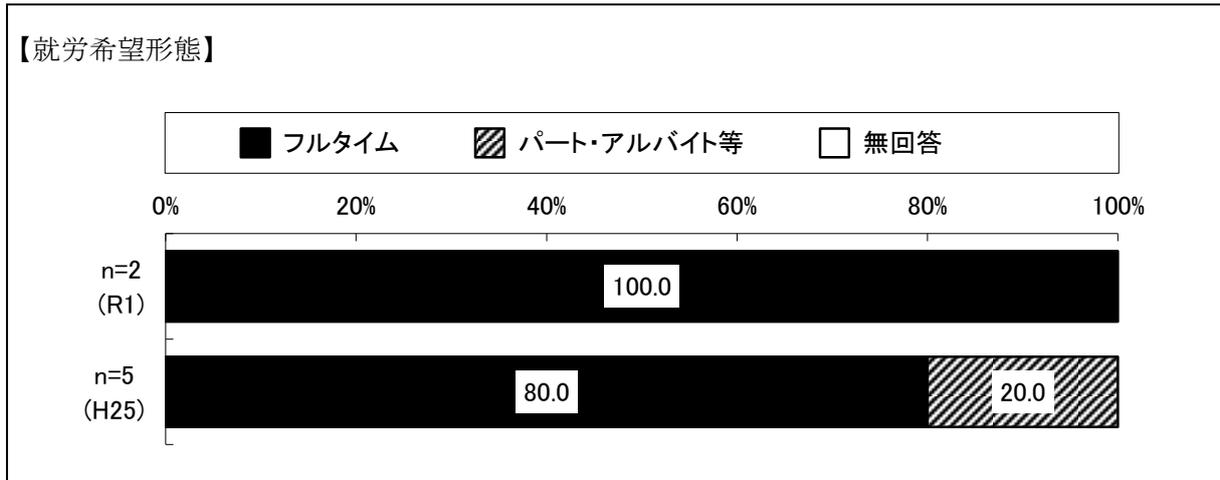


【子どもの年齢】



就労していない父親の就労希望の有無については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(28.6%)が最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」 「1年より先、子どもがある程度大きくなったら就労したい」(いずれも14.3%)となっており、就労希望者の割合は42.9%を占めています。

「1年より先、子どもがある程度大きくなったら就労したい」と回答した人(該当者1人)に、一番下の子どもが何歳になったら就労したいかたずねたところ、「13歳以上」との回答がありました。



父親が希望する就労形態は、該当者2人ともに「フルタイム」と回答しています。

4. 放課後の過ごし方について

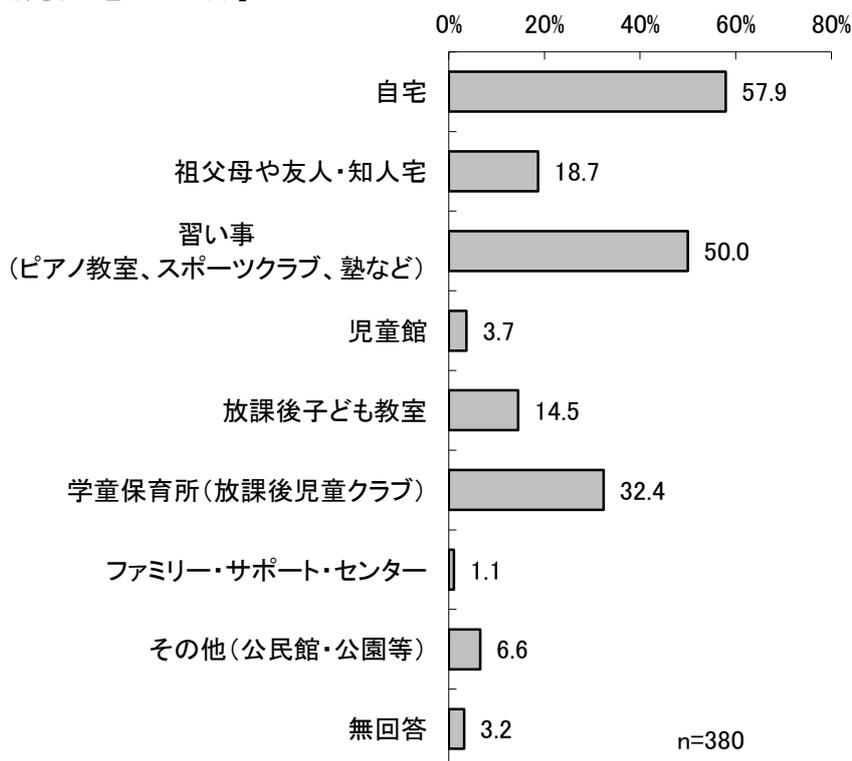
(1) 小学生の放課後の過ごしさせ方の希望場所

問12 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

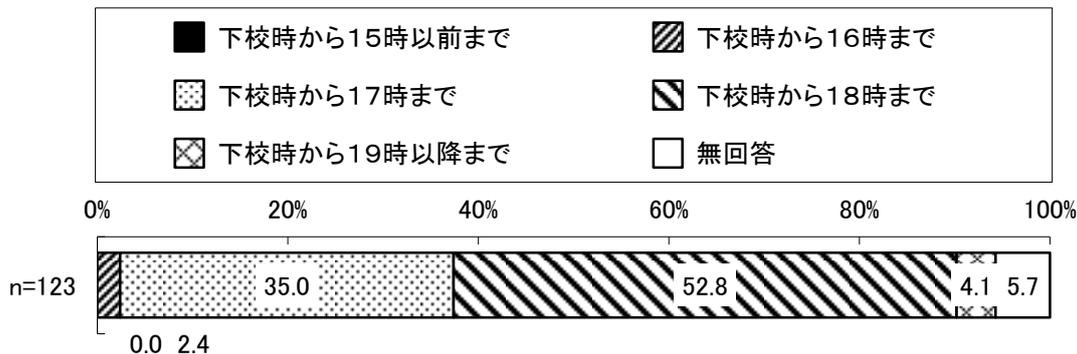
【○はあてはまるものすべて】

また、希望する週あたり日数は何日ですか。【数字で記入】

【希望する放課後の過ごしさせ方】



【学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望時間】



小学生の放課後の過ごしさせ方の希望では、「自宅」(57.9%)が最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、塾など)」(50.0%)、「学童保育所(放課後児童クラブ)」(32.4%)となっています。

また、学童保育所(放課後児童クラブ)の利用希望時間では、「下校時から18時まで」(52.8%)が最も多く、次いで「下校時から17時まで」(35.0%)となっています。

【利用日数】

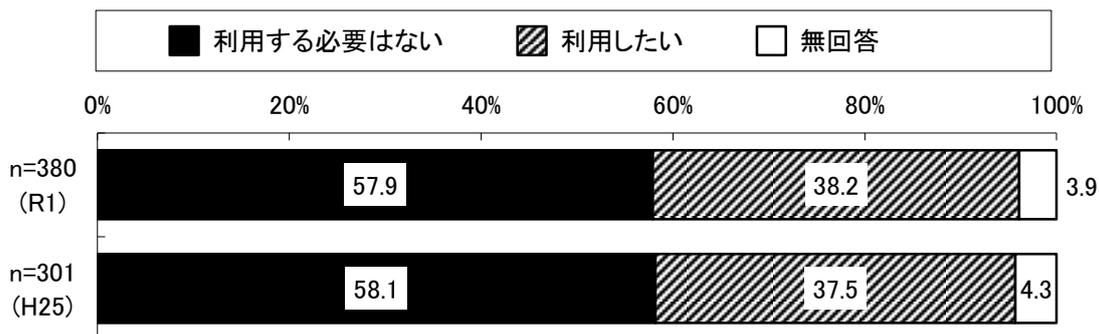
	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
自宅	220	9.1	18.6	20.0	10.0	24.5	17.7
祖父母宅や友人・知人宅	71	28.2	25.4	11.3	5.6	15.5	14.1
習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	190	26.8	32.1	22.1	11.1	3.2	4.7
児童館	14	-	-	-	-	-	100.0
放課後子ども教室	55	-	-	-	-	-	100.0
学童保育所（放課後児童クラブ）	123	-	6.5	6.5	8.9	57.7	20.3
ファミリー・サポート・センター	4	-	25.0	25.0	-	-	50.0
その他（公民館・公園等）	25	28.0	36.0	16.0	4.0	8.0	8.0

利用日数の希望をみると、「自宅」「学童保育所（放課後児童クラブ）」では「5日」の割合が最も高く、他に比べて多い日数での希望が多くなっています。

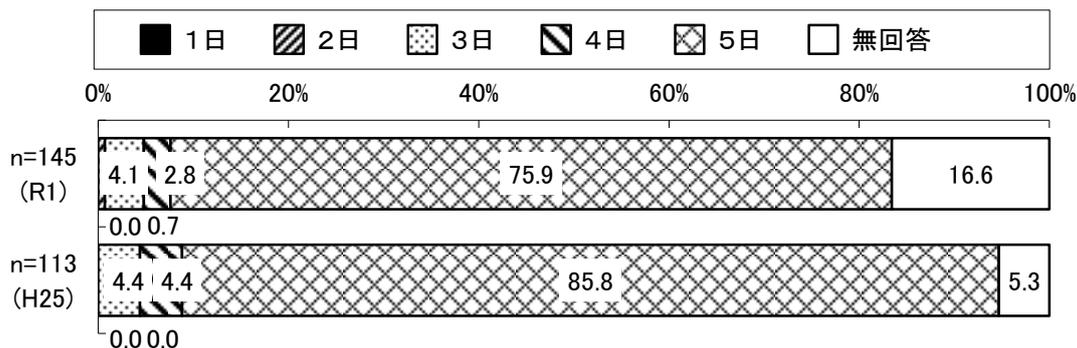
5. 学童保育所（放課後児童クラブ）について

(1) 平日の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望

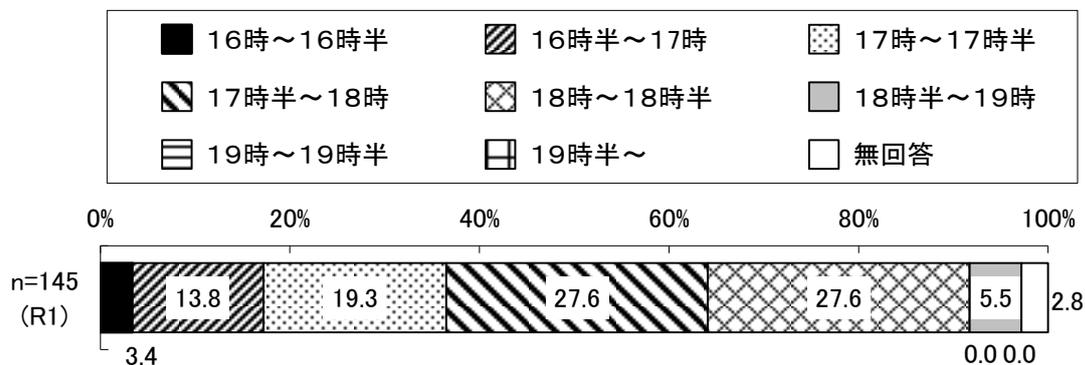
問13 平日において今後の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用意向はありますか。
 現在利用中の方もお答えください。利用を希望する場合は、週あたりの利用希望日数
 と平均的な利用時間帯もお答えください。
 利用時間帯は24時間制でお答えください。【数字で記入】



【週あたり利用希望日数】



【下校時から何時まで利用したいか】



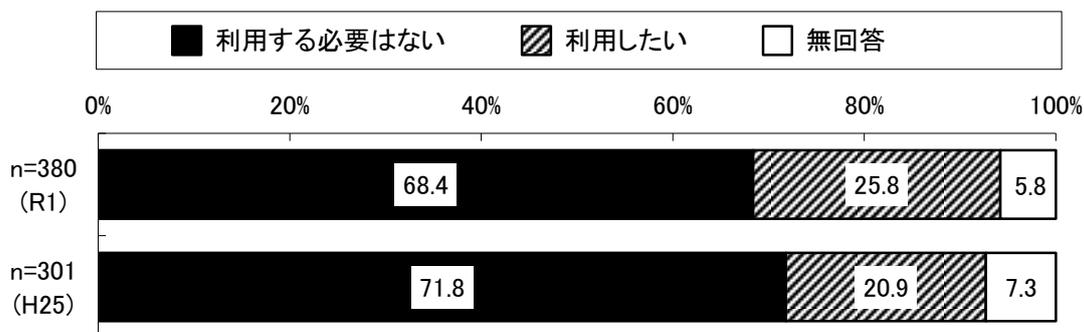
平日の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望については、「利用する必要はない」（57.9%）、「利用したい」（38.2%）となっています。

また、希望者に利用日数と時間帯についてたずねたところ、週あたり日数では「5日」（75.9%）、時間帯では「17時半～18時」「18時～18時半」（いずれも27.6%）が最も多くなっています。

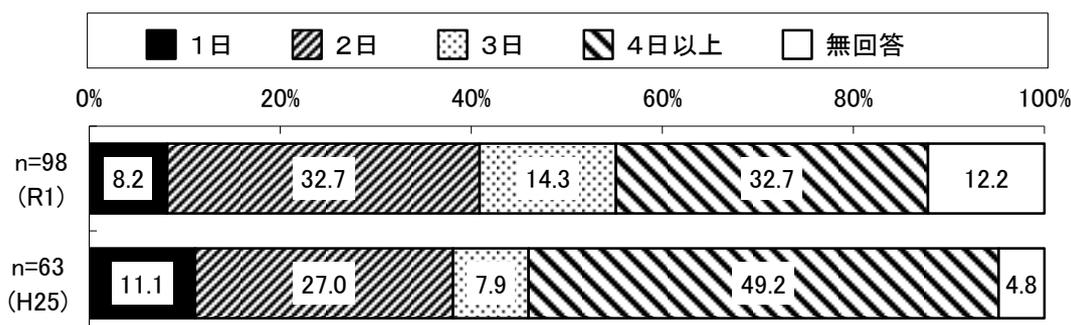
前回調査結果との比較では、利用意向に大きな差はみられません。週あたり利用希望日数について、今回「無回答」の割合が高く、「5日」の割合が低くなっています。

(2) 土曜日の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望

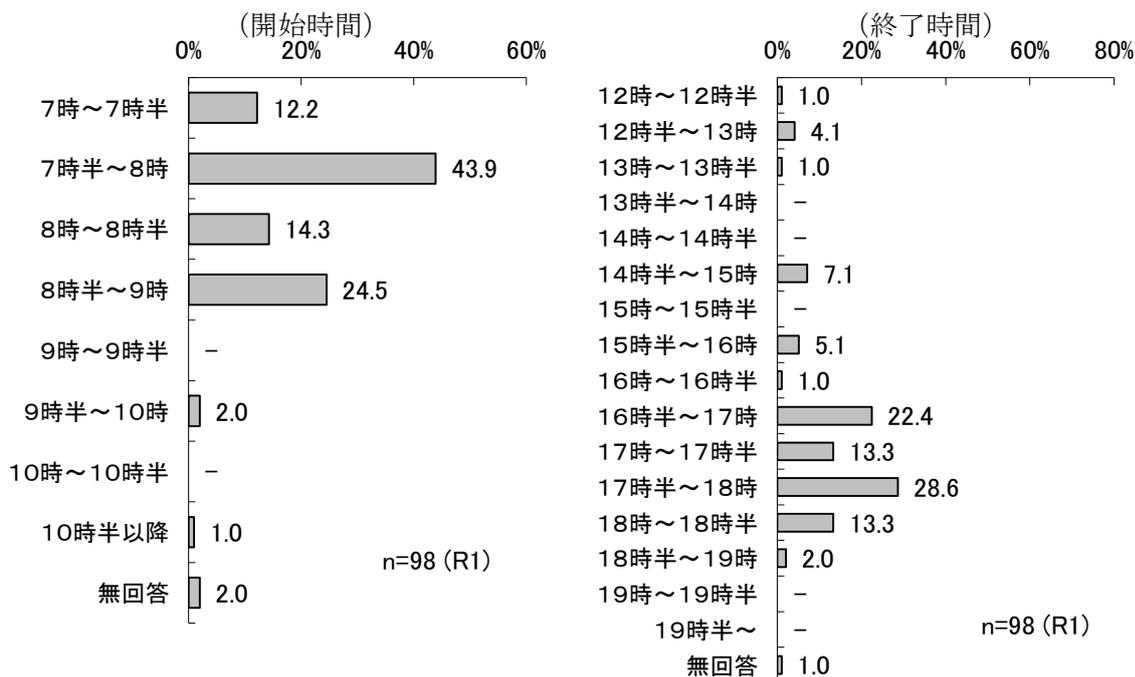
問13 土曜日において今後の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用意向はありますか。現在利用中の方もお答えください。利用を希望する場合は、週あたりの利用希望日数と平均的な利用時間帯もお答えください。
 利用時間帯は24時間制でお答えください。【数字で記入】



【週あたり利用希望日数】



【利用したい時間帯】



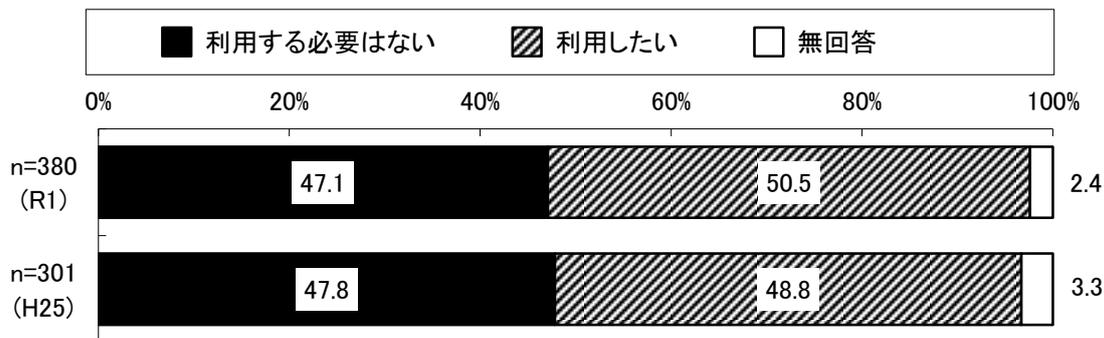
土曜日の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望については、「利用する必要はない」が68.4%、「利用したい」は25.8%となっています。

また、希望者に利用日数と時間帯についてたずねたところ、月あたり日数では「2日」「4日以上」（いずれも32.7%）、開始時間では「7時半～8時」（43.9%）、終了時間では「17時半～18時」（28.6%）が最も多くなっています。

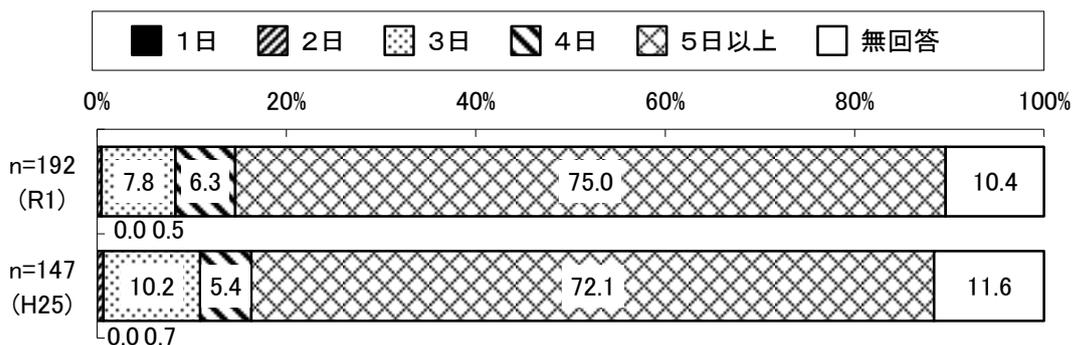
前回調査結果との比較では、今回利用意向で「利用したい」の割合がやや高くなっており、月あたり利用希望日数では「2日」「4日」の割合が高くなっています。

(3) 長期休暇中の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望

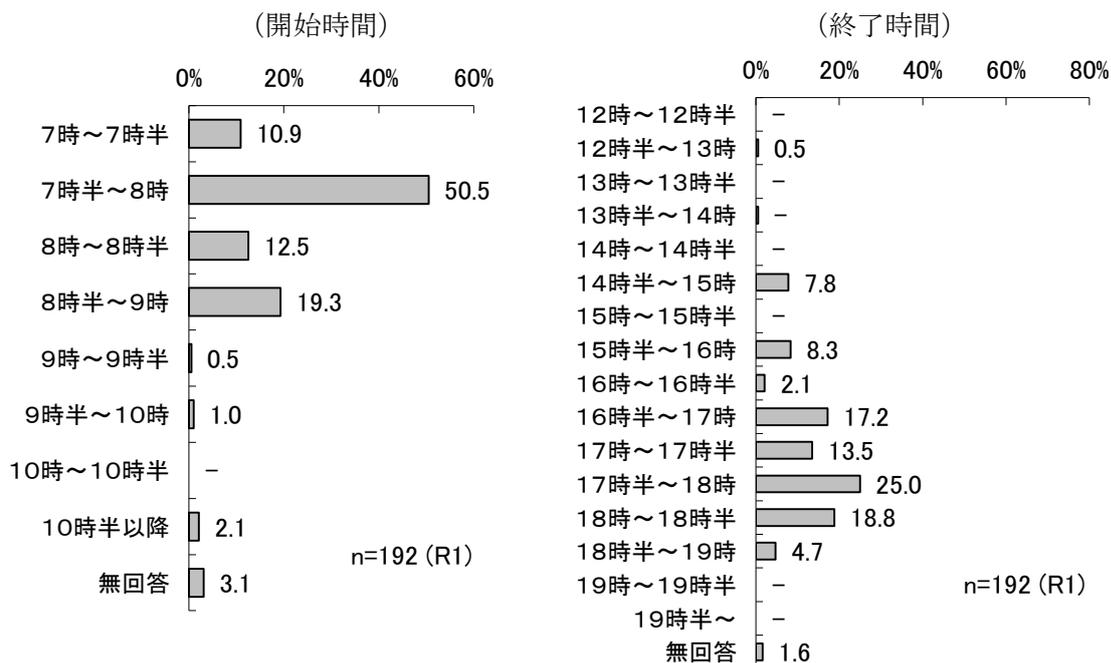
問13 長期休暇中において今後の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用意向はありますか。現在利用中の方もお答えください。利用を希望する場合は、週あたりの利用希望日数と平均的な利用時間帯もお答えください。
利用時間帯は24時間制でお答えください。【数字で記入】



【週あたり利用希望日数】



【利用したい時間帯】



長期休暇中の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望については、「利用したい」が50.5%、「利用する必要はない」は47.1%となっています。

また、利用希望者に日数と時間帯についてたずねたところ、月あたり日数では「5日以上」（75.0%）、開始時間では「7時半～8時」（50.5%）、終了時間では「17時半～18時」（25.0%）が最も多くなっています。

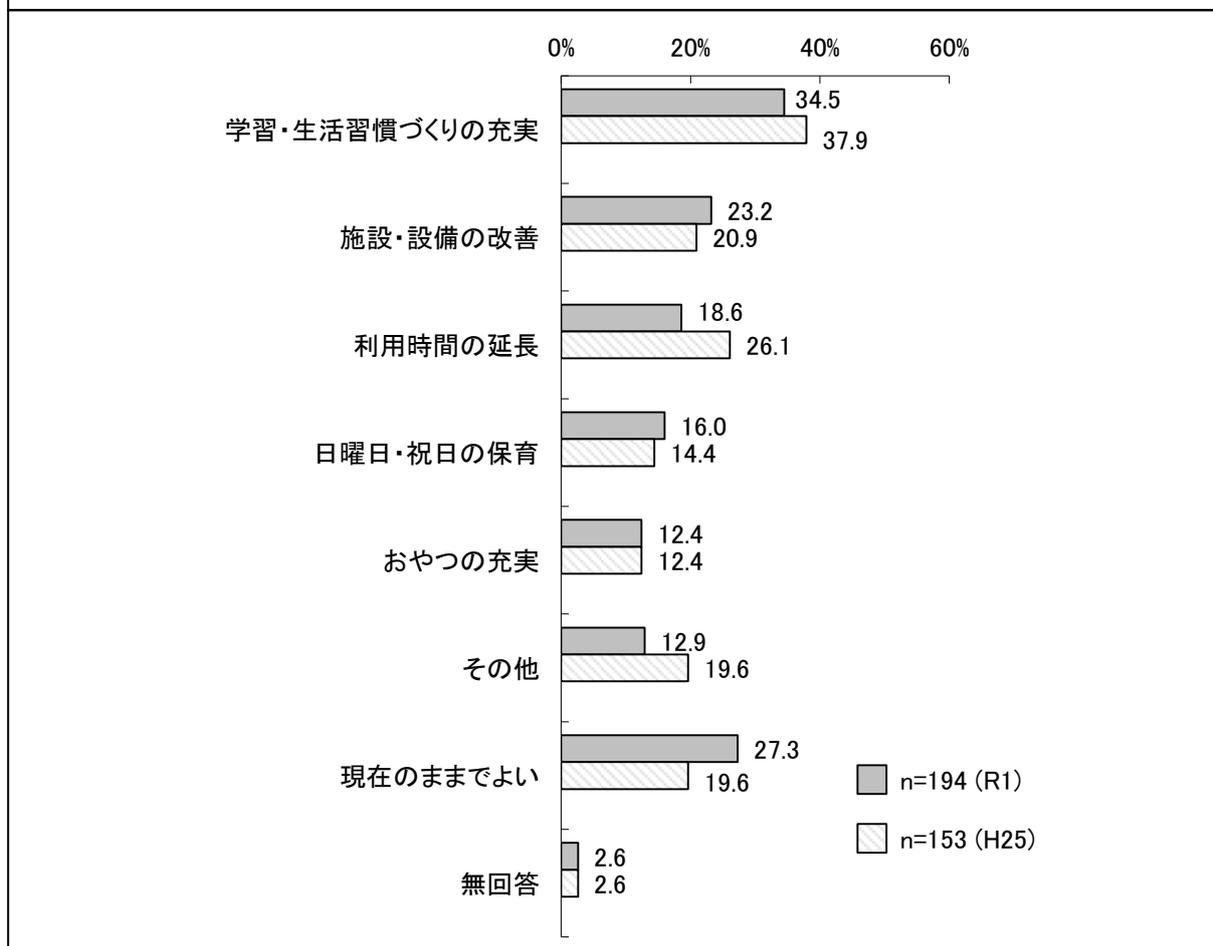
前回調査結果との比較では、利用意向と週あたり利用希望日数ともに、特に大きな差はみられませんでした。

(4) 学童保育所（放課後児童クラブ）に対して希望すること

《問13-1は、問13の(1)～(3)のいずれかで「2. 利用したい」を選ばれた方におうかがいします。》

問13-1 学童保育所（放課後児童クラブ）に対して、どのようなことを希望しますか。

【〇はあてはまるものすべて】



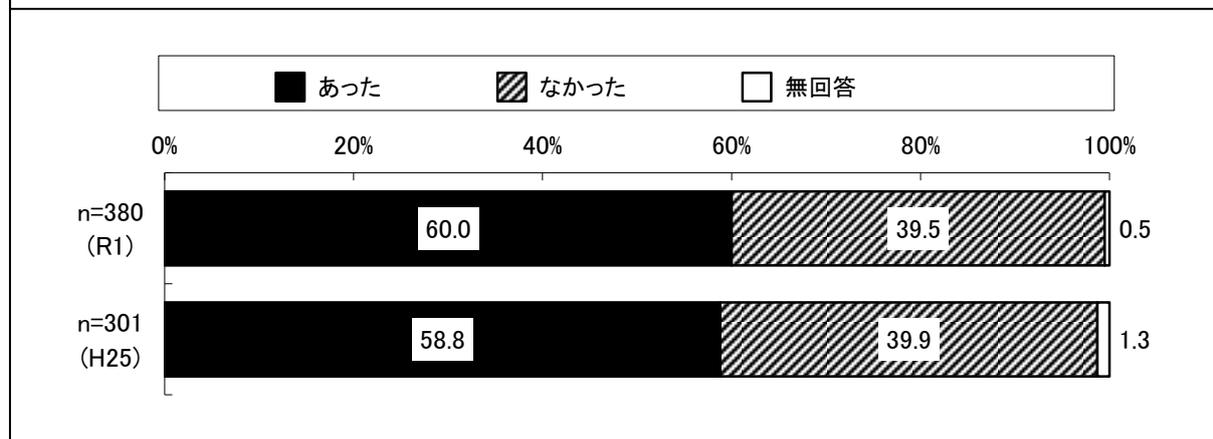
学童保育所（放課後児童クラブ）に対して希望することをたずねたところ、「学習・生活習慣づくりの充実」（34.5%）が最も多く、次いで「現在のままでよい」（27.3%）、「施設・設備の改善」（23.2%）となっています。

前回調査結果との比較では、今回「現在のままでよい」の割合が高く、「利用時間の延長」の割合が低くなっています。

6. 病気の際の対応について

(1) 子どもの病気等で教育・保育事業を利用できなかったこと

問14 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。【〇は1つだけ】



子どもの病気等で教育・保育事業を利用できなかったことについては「あった」が60.0%、「なかった」が39.5%となっている。

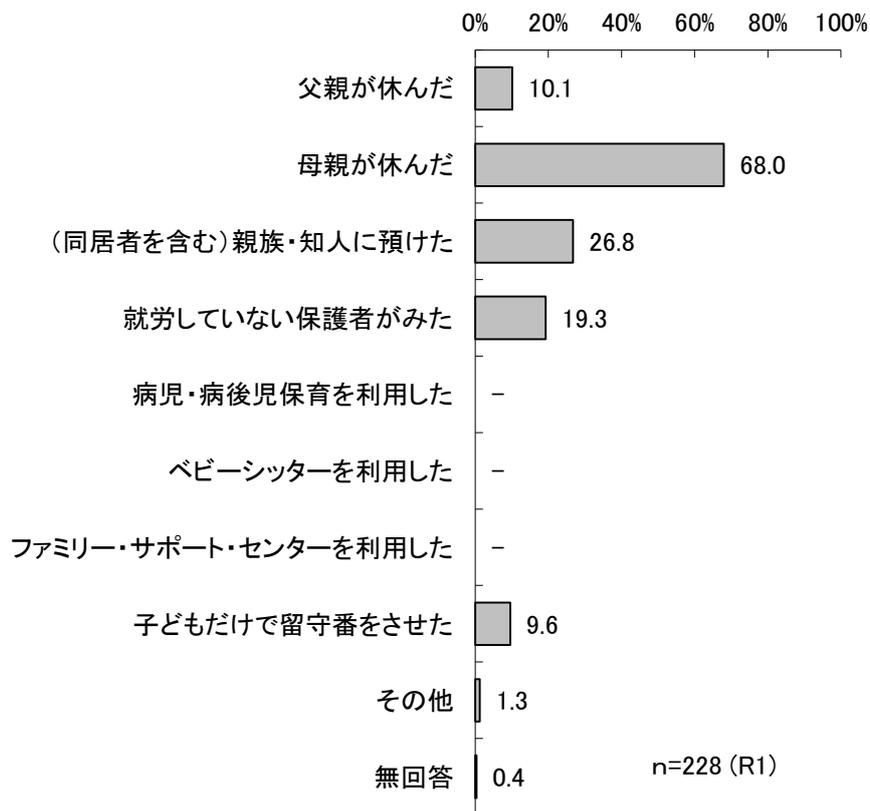
前回調査結果との比較では、特に大きな差はみられませんでした。

(2) 病気等で教育・保育事業を利用できなかったときの対処

《問 14-1 は、問 14 で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。》

問 14-1 この1年間の対処方法は何か。【〇はあてはまるものすべて】

また、その日数は概ね何日ですか（半日程度についても1日としてカウントして下さい）。【数字で記入】



病気等で教育・保育事業を利用できなかったときの対処では「母親が休んだ」(68.0%)が最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に預けた」(26.8%)、「就労していない保護者がみた」(19.3%)となっています。

【対処した日数】

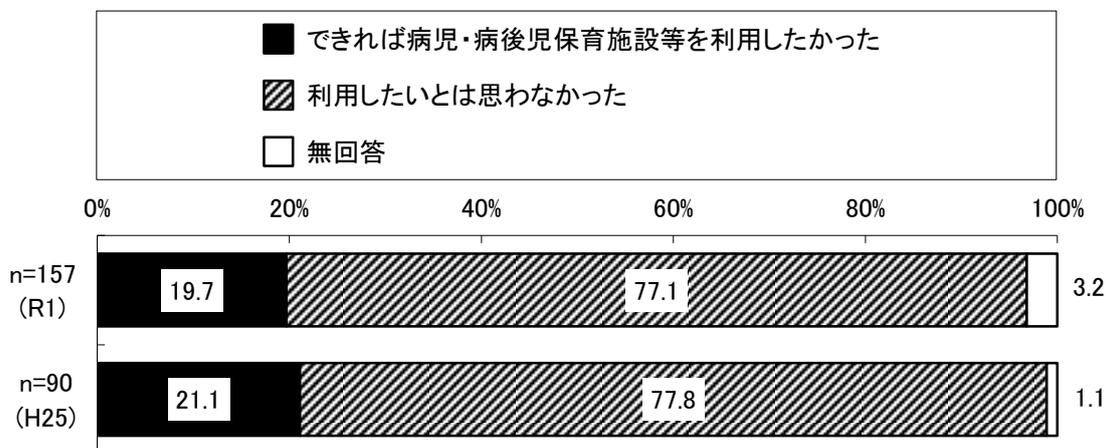
	調査数	1日 ～ 2日	3日 ～ 5日	6日 ～ 10日	11日 以上	無回答
父親が休んだ	23	69.6	17.4	-	-	13.0
母親が休んだ	155	32.9	30.3	16.1	2.6	18.1
(同居者を含む) 親族・知人に預けた	61	37.7	34.4	9.8	4.9	13.1
就労していない方が子どもをみた	44	29.5	25.0	25.0	4.5	15.9
病児・病後児保育を利用した	-	-	-	-	-	-
ベビーシッターを頼んだ	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センターを利用した	-	-	-	-	-	-
子どもだけで留守番をさせた	22	45.5	22.7	-	-	31.8
その他	3	33.3	-	33.3	-	33.3

対処した日数をみると、いずれの方法別でも「1日～2日」の割合が最も高くなっています。

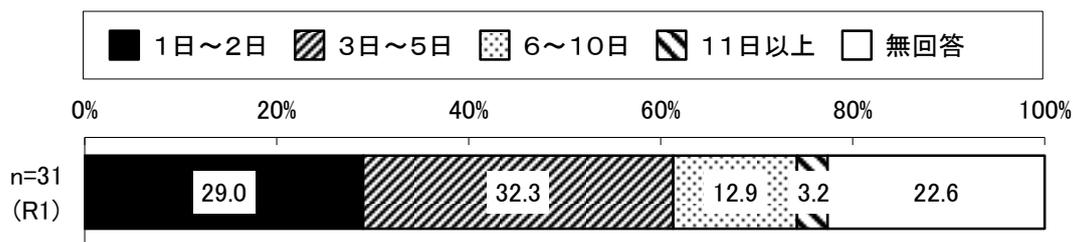
(3) できれば施設に預けたいと思ったか

《問 14-2 は、問 14-1 で「1.」～「2.」を選ばれた方におうかがいします。》

問 14-2 できれば施設に預けたいと思われたことはありますか。また、「あった」場合、預けたい日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。



【利用したい日数】



父親もしくは母親が休んで対処した人に、できれば施設に預けたいと思ったかをたずねたところ、「あった」は19.7%、「なかった」は77.1%を占めています。

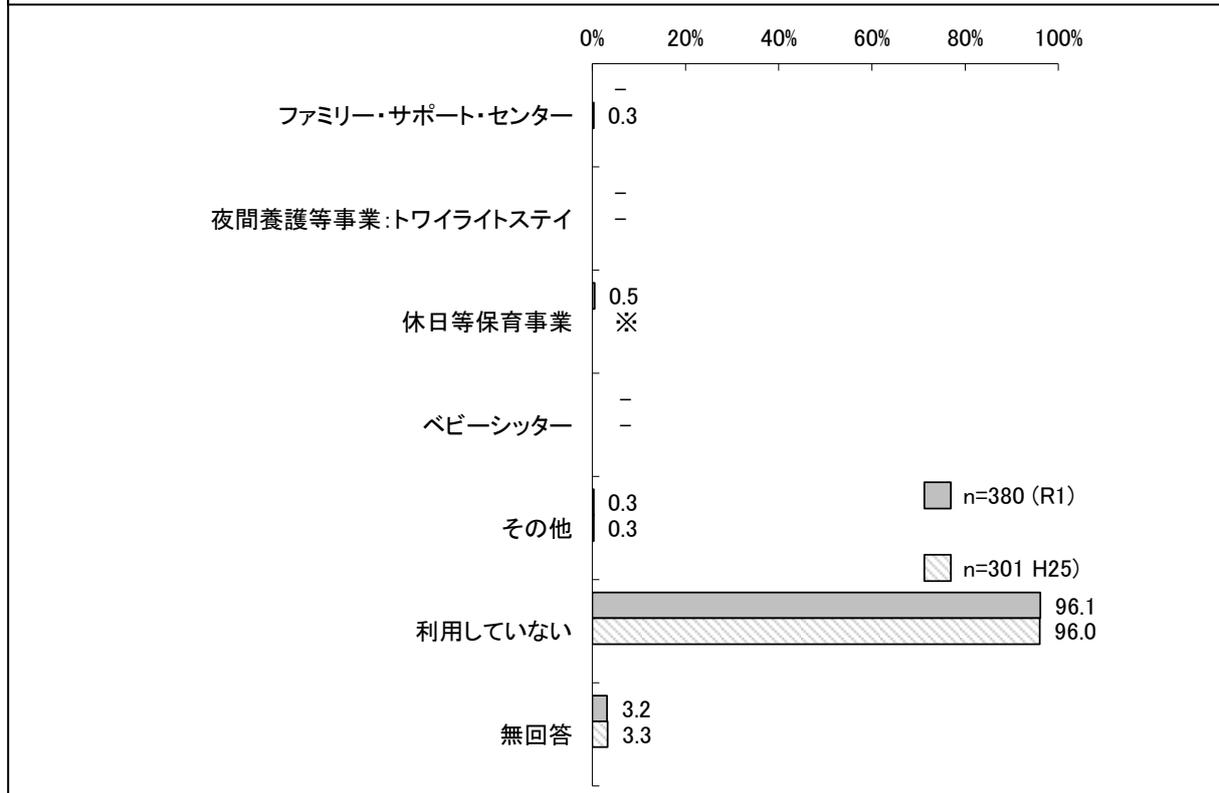
また、「あった」場合の預けたい日数では、「3日～5日」(32.3%)が最も多く、次いで「1日～2日」(29.0%)となっています。

前回調査結果との比較では、特に大きな差はみられませんでした。

7. 一時預かりについて

(1) 私用等の理由で不定期に利用している事業

問15 この1年間に、調査票をお渡ししたお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的（日中の定期的な保育・教育や病気のため以外）で不定期に利用している事業はありますか。【〇はあてはまるものすべて】
また、その日数は概ね年間何日ですか（半日程度の場合も1日とカウントしてください）。【数字を記入】



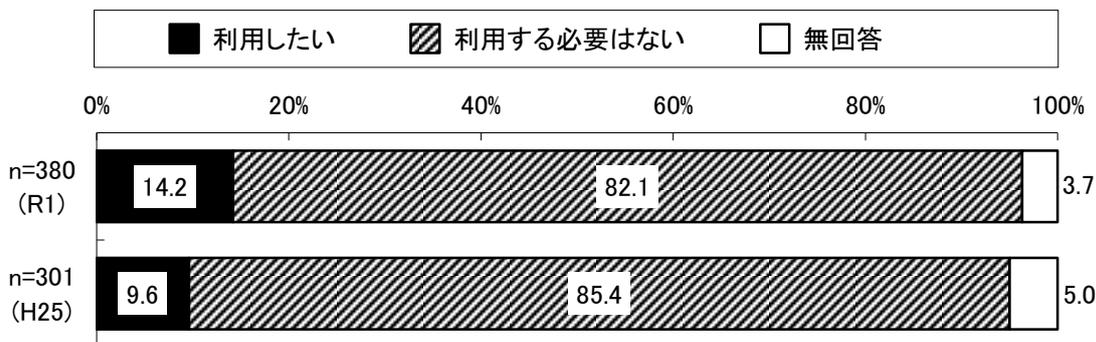
※前回、項目なし

私用等の理由で不定期に利用している事業をたずねた結果、「利用していない」（96.1%）が9割と大半を占めています。

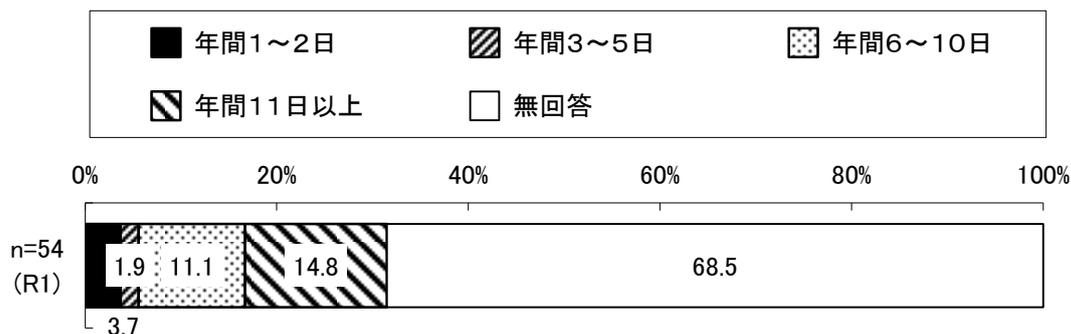
前回調査結果との比較でも、ほとんど差はみられませんでした。

(2) 私用等の理由で事業を利用する必要があると思うか

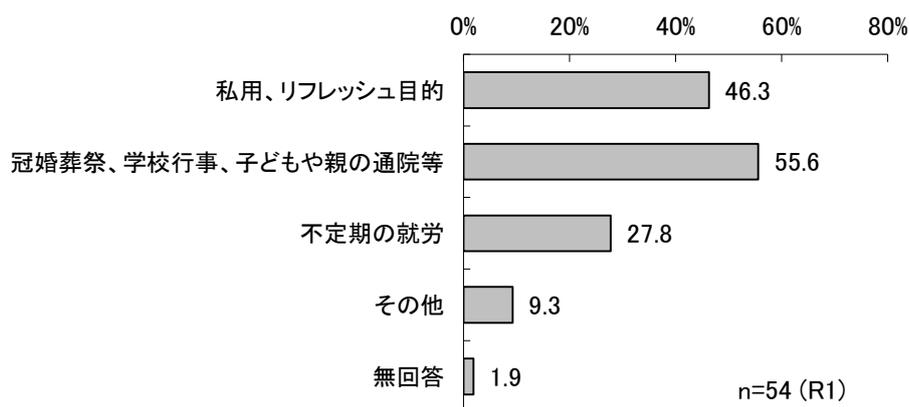
問16 あて名のお子さんについて、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用しようと思いますか【〇は1つだけ】。また、「利用したい」場合、その目的は何ですか【〇はあてはまるものすべて】。目的ごとに、必要な日数もご記入ください【数字を記入】。



【利用したい場合の希望日数】



【利用したい場合の目的】



私用等の理由で事業を利用する必要があると思うかでは、「利用する必要はない」(82.1%)が8割と大半を占めています。

利用したい場合の、希望する日数では「年間11日以上」(14.8%)、利用目的では「冠婚葬祭、学校行事、子供や親の通院等」(55.6%)が最も多くなっています。

前回調査結果との比較では、利用意向に大きな差はみられませんでした。

【利用希望日数】

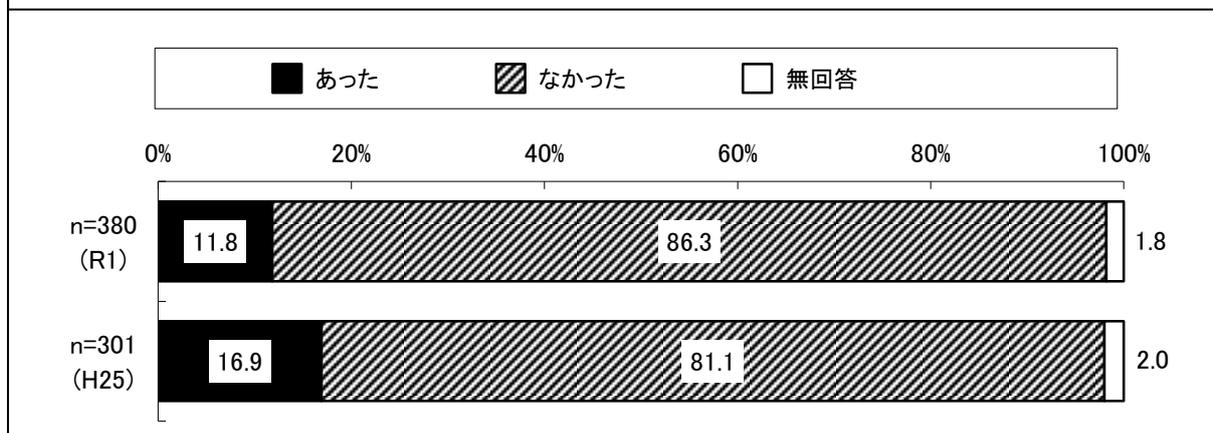
	調査数	年間 1 ～ 2 日	年間 3 ～ 5 日	年間 6 ～ 1 0 日	年間 1 1 日 以上	無 回 答
年間の利用日数	54	3.7	1.9	11.1	14.8	68.5
私用、リフレッシュ目的	25	12.0	24.0	20.0	32.0	12.0
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	30	10.0	40.0	26.7	10.0	13.3
不定期の就労	15	20.0	-	33.3	33.3	13.3
その他	5	-	20.0	20.0	-	60.0

利用希望日数をみると、私用、リフレッシュ目的では「年間 11 日以上」、冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等では「年間 3～5 日」が最も多くなっています。

8. 宿泊を伴う一時預かりについて

(1) 子どもを泊りがけで預けなければならなかったこと

問17 この1年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったことはありましたか。【〇は1つだけ】

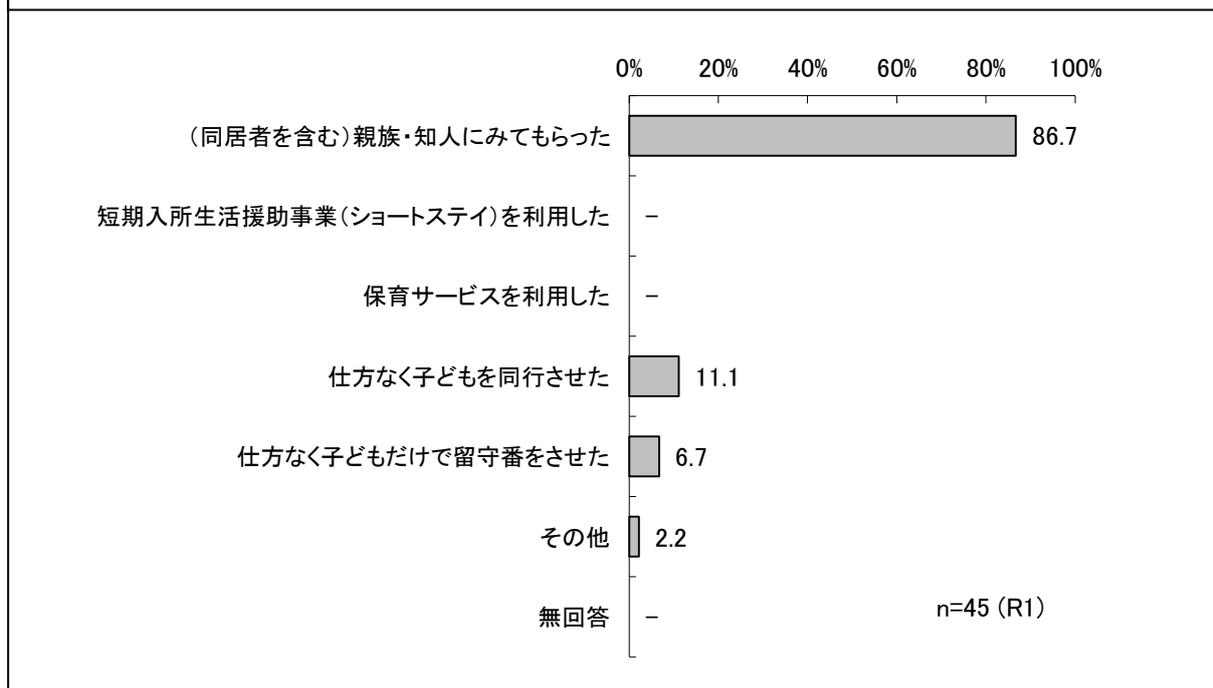


子どもを泊りがけで預けなければならなかったことでは、「なかった」(86.3%)が大半を占めています。

前回調査結果との比較では、今回「なかった」の割合が高くなっています。

(2) 子どもを泊りがけで預けなければならなかったときの対処

問17 この1年間の対処方法は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】また、その泊数は概ね何日ですか。【数字で記入】



子どもを泊りがけで預けなければならなかったときの対処では、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」(86.7%) が8割台と大半を占めています。

【対処方法ごとの日数】

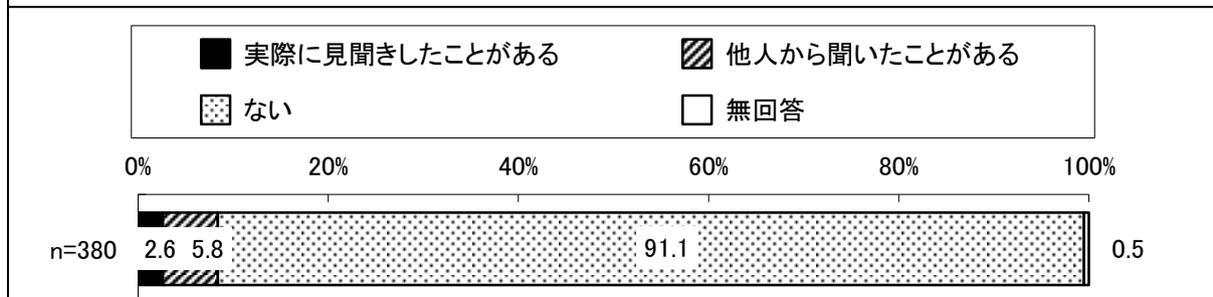
	調査数	年間 1 ～ 2 泊	年間 3 ～ 5 泊	年間 6 ～ 10 泊	年間 11 泊 以上	無 回 答
親族・知人にみてもらった	39	48.7	23.1	20.5	-	7.7
短期入所生活援助事業を利用した	-	-	-	-	-	-
保育事業を利用した	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもを同行させた	5	40.0	20.0	40.0	-	-
仕方なく子どもだけで留守番させた	3	33.3	33.3	-	-	33.3
その他	1	-	-	-	-	100.0

対処方法ごとの日数をみると、最も多かった親族・知人にみてもらった場合、「年間1～2泊」(48.7%) が半数近くを占めています。

9. 児童虐待について

(1) 「子どもへの虐待」を見聞きしたことがあるか

問18 お住まいの地域で「子どもへの虐待」を見聞きしたことはありますか。
【〇は1つだけ】

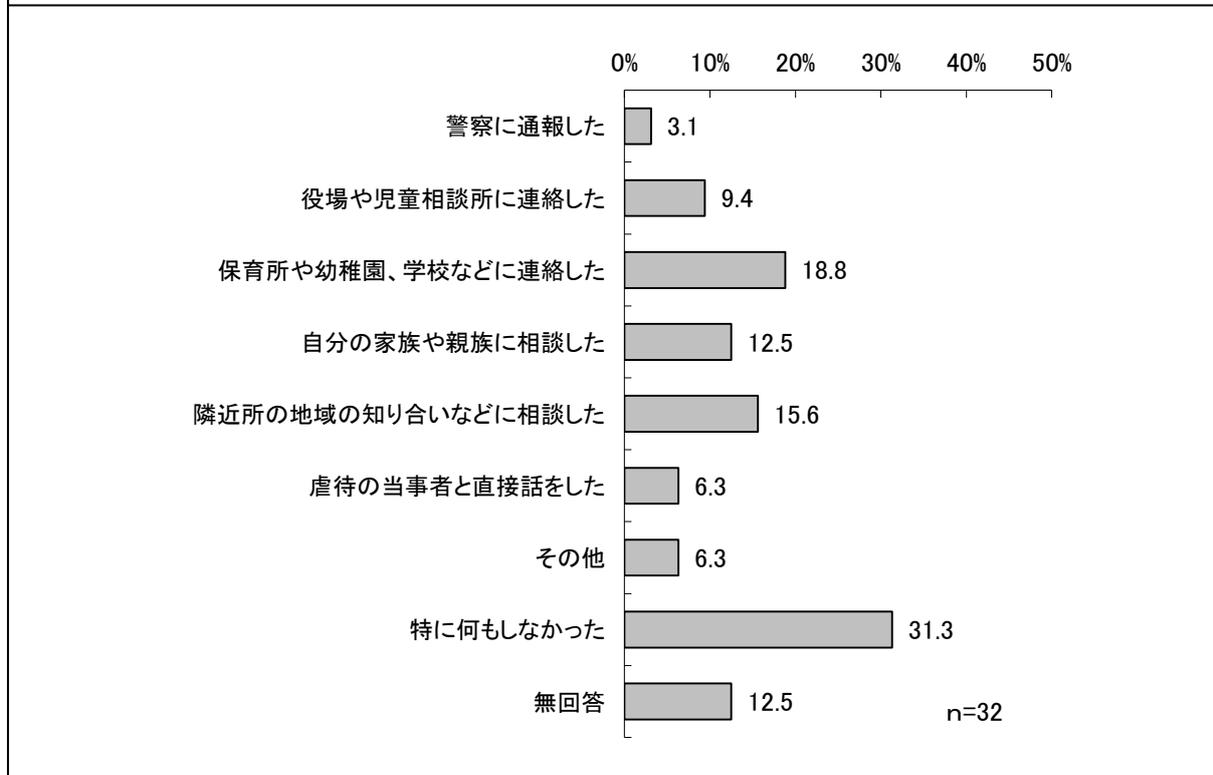


子どもの虐待について見聞きした経験をたずねたところ、「ない」(91.1%)が最も多く、次いで「他人から聞いたことがある」(5.8%)、「実際に見聞きしたことがある」(2.6%)となっています。

(2) 見聞きしたときの対処法

《問18-1は、問18で「1.」または「2.」を選ばれた方におうかがいします。》

問18-1 虐待を見聞きしたとき、あなたはどのような対応をしましたか。
【〇は1つだけ】

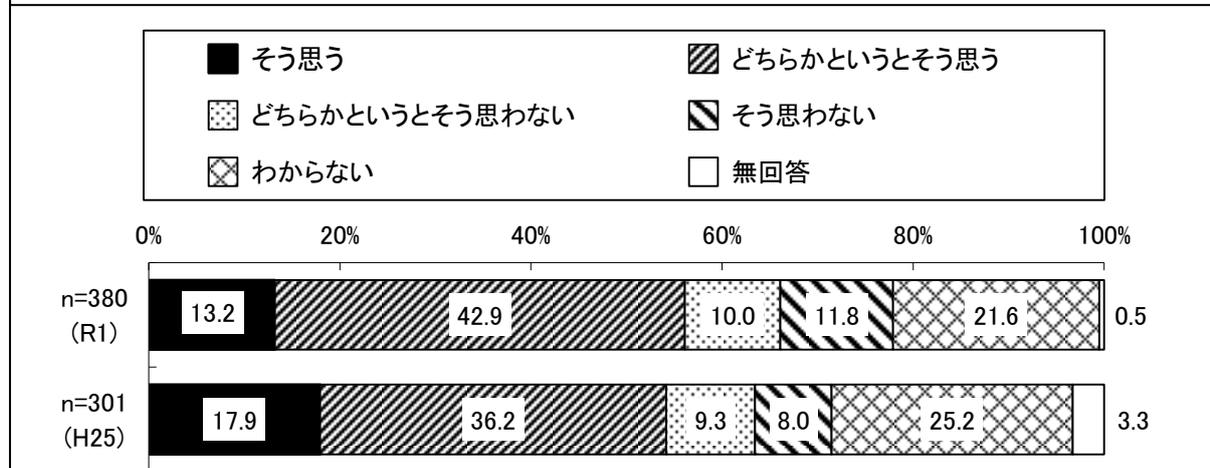


虐待を見聞きしたときの対処法について、「特に何もしなかった」(31.3%)が最も多く、次いで「保育所や幼稚園、学校などに連絡した」(18.8%)、「隣近所の地域の知り合いなどに相談した」(15.6%)となっています。

10. 子育て全般について

(1) 桂川町は子育てしやすいまちだと思うか

問19 桂川町は子育てしやすいまちだと思いますか。【あてはまる番号1つに○】

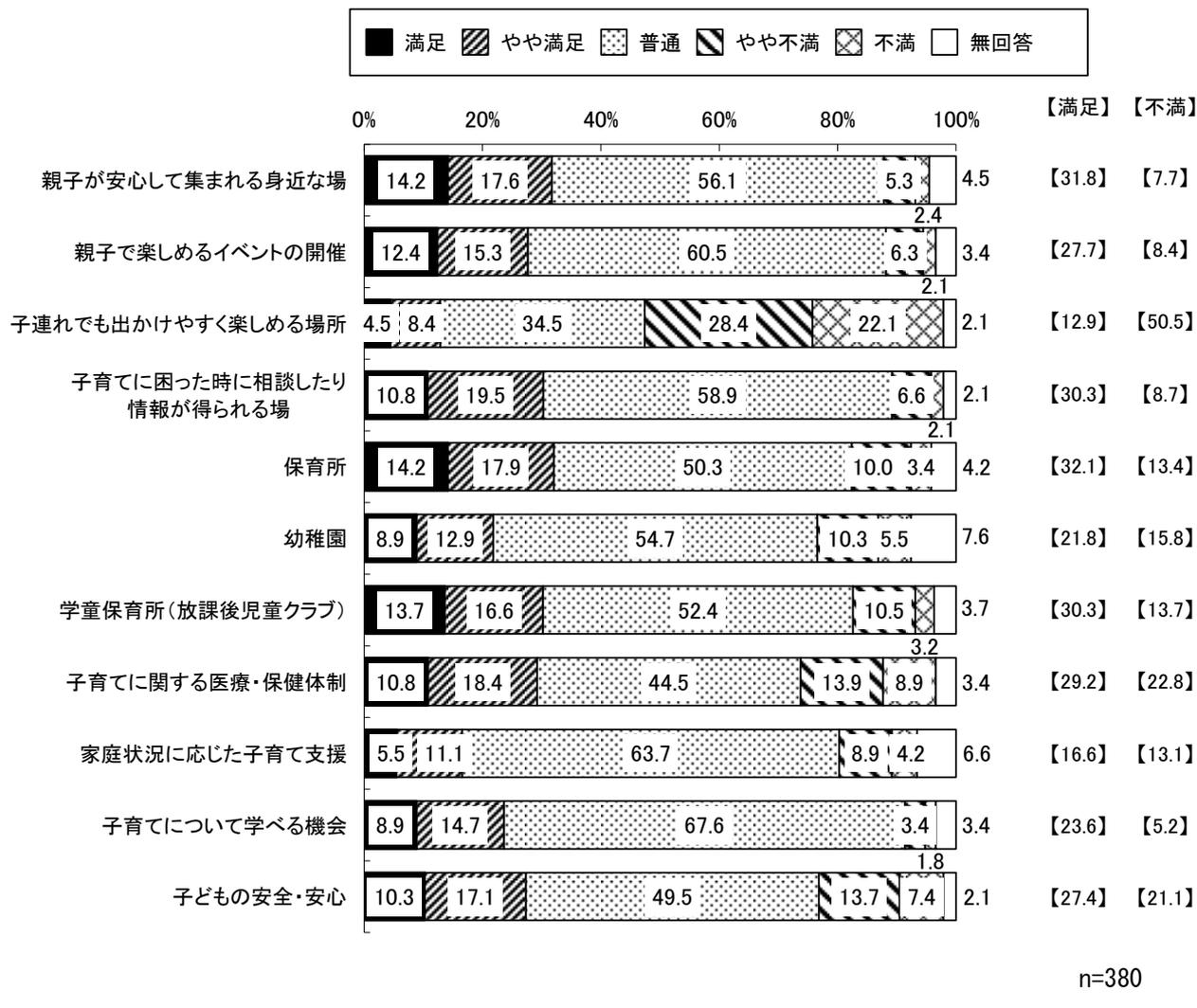


桂川町は子育てしやすいまちだと思うかたずねたところ、「どちらかというと思う」(42.9%)が最も多く、次いで「わからない」(21.6%)、「そう思う」(13.2%)となっており、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は56.1%、『そう思わない』(「そう思わない」+「どちらかというと思わない」)は21.8%を占めています。

前回調査結果との比較では、今回『そう思う』(前回54.1%→今回56.1%)、『そう思わない』(前回17.3%→今回21.8%)のいずれも、前回に比べ割合が高くなっています。

(2) 桂川町の子育て環境や支援の満足度と重要度

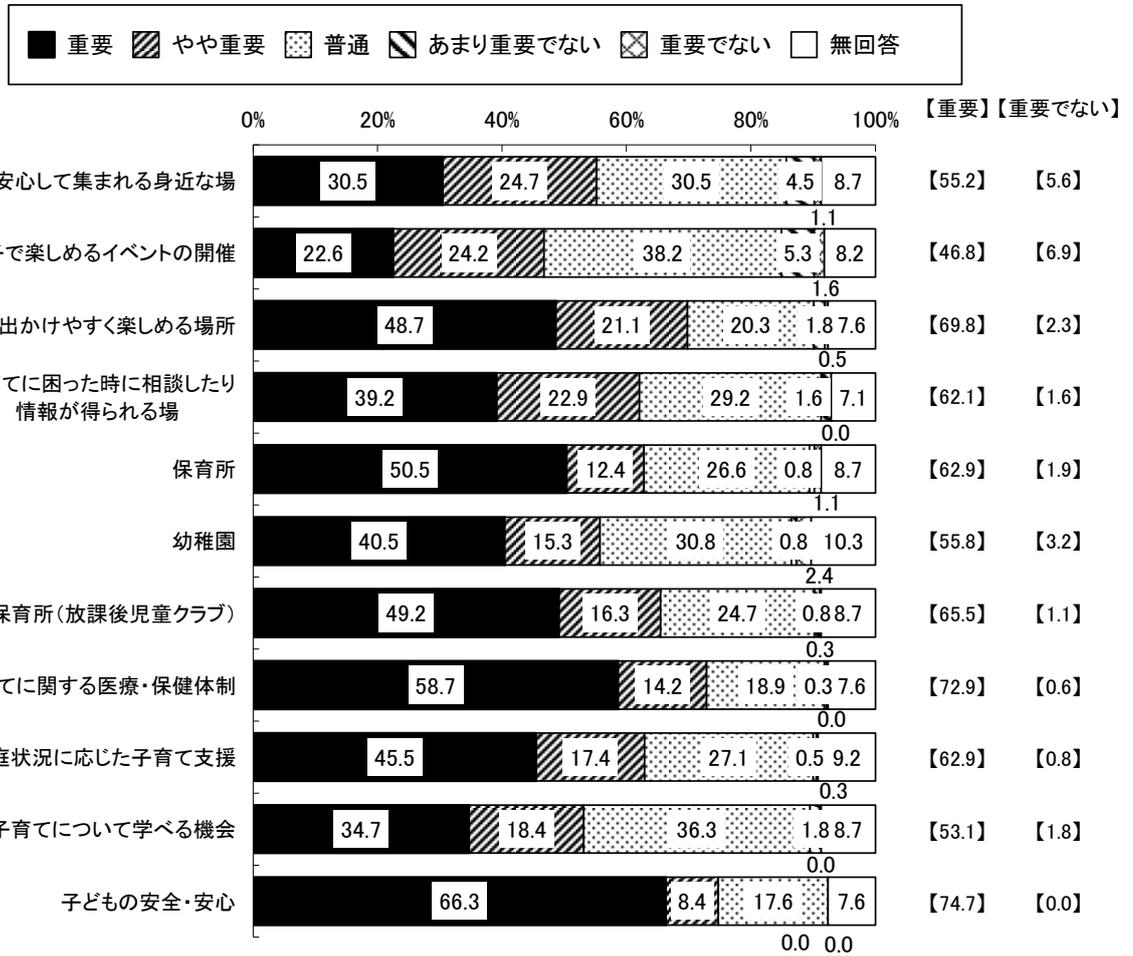
問20 桂川町の子育て環境や支援の満足度について、1～5の5段階評価でお答えください。
【1～5のうち、あてはまる番号1つに○】



桂川町の子育て支援策の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』の割合でみると、「保育所」(32.1%)、「親子が安心して集まれる身近な場」(31.8%)、「子育てに困った時に相談したり情報が得られる場」「学童保育所(放課後児童クラブ)」(いずれも30.3%)などがいずれも3割台を占め、他の項目に比べて高くなっています。

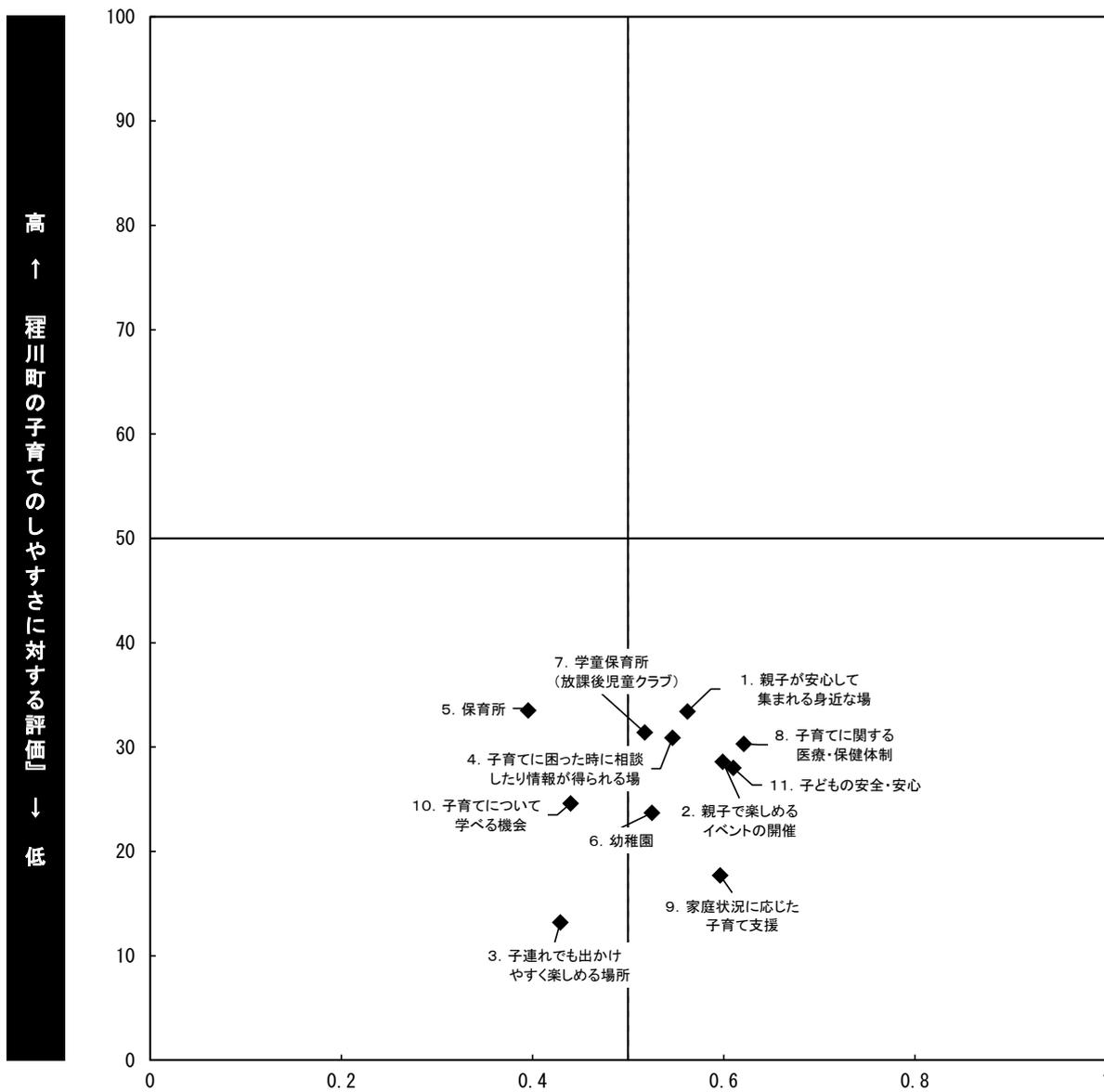
一方、「やや不満」と「不満」を足した『不満』の割合は、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所」(50.5%)が他の項目に比べて高くなっています。

問20 桂川町の子育て環境や支援の重要度について、1～5の5段階評価でお答えください。【1～5のうち、あてはまる番号1つに○】



n=380

桂川町の子育て環境や支援策の重要度について、「重要」と「やや重要」を足した『重要』の割合で見ると「子どもの安全・安心」(74.7%)が最も高く、これに次いで「子育てに関する医療・保健体制」(72.9%)が、いずれも7割台と高い割合を占めています。



(弱) ← 『子育てのしやすさ』と『桂川町の子育て環境や支援の満足度』の相関係数 → (強)

桂川町の子育て環境や支援策 11 項目それぞれの満足度と、問 19「桂川町は子育てしやすいまちだと思うか」との相関係数の関係を見ると、子育て支援策の多くで子育てしやすさとの間に 0.4 以上のやや相関がみられる関係にあります。

特に、相関係数が 0.6 以上の「8. 子育てに関する医療・保健体制」「11. 子どもの安全・安心」などについて、今後桂川町が子育てしやすいまちとなるために、より満足度を高めていくよう取り組みを進めていく必要があると考えられます。

資料編

桂川町子ども・子育て支援に関するニーズ調査 — 就学前児童保護者用 —

《調査ご協力についてのお願い》

皆様には、日頃より町政にご理解とご協力をたまり、誠にありがとうございます。

桂川町では、このたび町民の皆様の子育て支援に関する実態やご要望・ご意見等を把握するための「桂川町子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施いたします。

この調査は、今後5年間の桂川町における教育・保育事業や地域子育て支援事業の見込みと対応策を掲げる「第2期桂川町子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎資料となります。

お忙しいところ恐れ入りますが、町の子育て支援策の向上のため、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なおこの調査は、就学前のお子さんの保護者の方を対象にしております。

ご回答いただいた内容は、桂川町や国・県の子ども・子育て支援施策のために利用させていただきますものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用することは一切ございません。



令和元年7月

桂川町長 井上 利一

ご記入にあたってのお願い

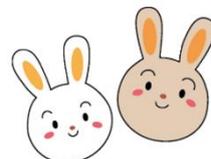
- ① 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- ② アンケートには、お子さんの身の回りの世話等を主にしている保護者の方がご記入ください。
- ③ ご回答は、選択肢に○を付けてお選びいただく場合と、数字等を具体的にご記入いただく場合がございます。
- ④ 設問または回答した選択肢によっては、一部の方だけに回答をお願いしている設問があります。その場合は説明文、矢印等に従ってお答えください。
- ⑤ “○”をつける数については、“(1つに○)”、“(あてはまるものすべてに○)”等の案内がありますので、設問ごとの案内にしたがってください。
※選択肢「その他」に“○”をした場合、具体的な内容を〔 〕内にご記入ください。
- ⑥ ご記入がすみましたら、お手数ですが...

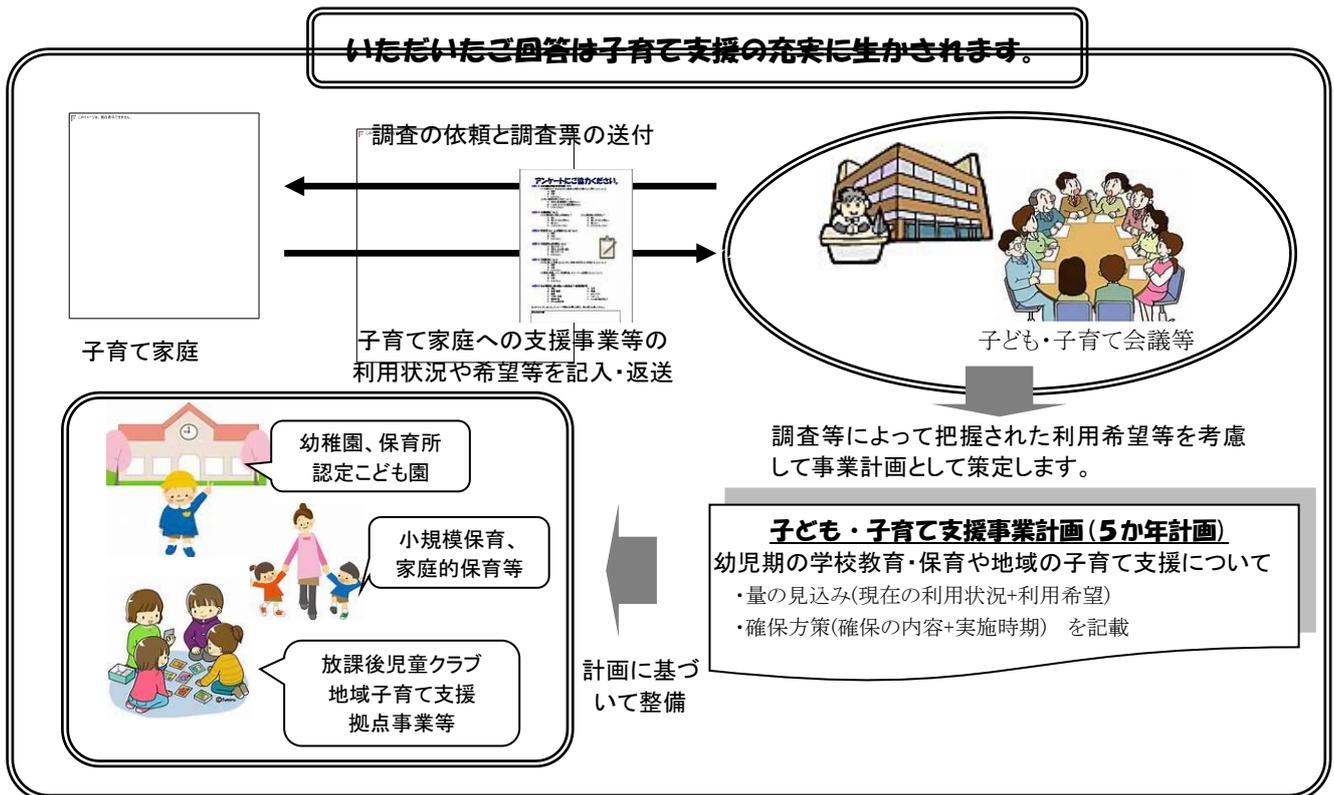
※幼稚園・保育所等で配布された方は、同封の返信用封筒に入れて、7月17日(水)までに幼稚園・保育所等に提出してください。

※郵便で送られてきた方は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、7月17日(水)までにポストにご投函ください。

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

桂川町 子育て支援課 担当：大浦・坂本
電話：65-0081 F A X：65-0098





(用語の定義)

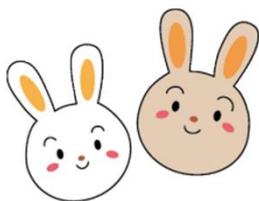
この調査票における用語の定義は以下のとおり

幼稚園 : 学校教育法に定める3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第 22 条)

保育所 : 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第 39 条)

認定こども園 : 幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)

子育て : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援



あて名のお子さんのことや子育て環境についてうかがいます。



問1 お住まいの小学校区を教えてください。(1つに○)

1. 桂川小学校 2. 桂川東小学校 3. わからない

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。(□内に数字でご記入ください。)

西暦 □ □ □ □ 年 □ □ 月生まれ

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。(□内に数字でご記入ください。)

きょうだい数 □ 人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみて、続柄は何ですか。(1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. その他〔 〕

問5 この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか。(1つに○)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(1つに○)

※続柄はあて名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他〔 〕

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問8 子育てについて、気軽に相談できる人はだれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親族 2. 友人・近所の人・保護者仲間
3. 保育士や幼稚園・学校等の先生 4. 病院の医師・看護師・助産師
5. 役場や社会福祉協議会等の職員 6. 区長、民生委員・児童委員
7. その他〔 〕 8. だれもない



あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問9 現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてうかがいます。

(①母親、②父親それぞれあてはまる欄に○、選択肢によっては日数や時間等も回答)

※以下の就労形態は、もっとも多い就労形態についてお答えください。

※家を出る時間と帰宅時間は24時間制(分単位を切り捨て)でお答えください。(例:18時)

時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。

※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

※フルタイムとは、常勤・非常勤に関わらず週5日程度かつ1日8時間程度の就労のこと。

※パート・アルバイト等とは、フルタイム以外の就労のこと。

①母親【父子家庭の場合は記入は不要です】(1つに○)

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | } ⇒ ①-1へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } ⇒ ②へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

①で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

① -1 週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。(〔 〕内に数字でご記入ください。)

1週あたり	〔 〕日	1日あたり	〔 〕時間
-------	------	-------	-------

① -2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(24時間制で〔 〕内に数字でご記入ください。)

家を出る時刻	〔 〕時	帰宅時刻	〔 〕時
--------	------	------	------

②父親【母子家庭の場合は記入は不要です】(○は1つ)

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | } ⇒ ②-1へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } ⇒ 問11へ |
| 6. これまで就労したことがない | |



②で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

② -1 週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。(〔 〕内に数字でご記入ください。)

1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間

② -2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(24時間制で〔 〕内に数字でご記入ください。)

家を出る時刻〔 〕時 帰宅時刻〔 〕時

問9の①または②で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 11 へお進みください。

問 10 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

①母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

②父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問9の①または②で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 12 へお進みください。

問 11 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する〔 〕内には数字をご記入ください。

①母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間

②父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
 - 希望する就労形態

<p>ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）</p> <p>イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）</p> <p>→1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間</p>



あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的にご利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所等、問12-1に示した事業が含まれます。

すべての方にうかがいます。

問12 お子さんは現在、幼稚園や保育所等の「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。
(1つに○)

1. 利用している
2. 利用していない ⇒ 問12-5へ

問12-1～問12-4は問12で「1」に○をした人にうかがいます。

▶ 問12-1 お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

事業番号	事業名
1	幼稚園（通常の就園時間の利用：桂川幼稚園等）
2	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3	認可保育所 （国が定める最低基準に適合した施設で県の認可を受けた施設：土師保育所、吉隈保育所、善来寺保育園等）
4	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）（※）
5	小規模な保育施設 （国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6人～19人のもの）（※）
6	家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育するサービス）（※）
7	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）（※）
8	その他の認可外の保育施設（認可保育所以外の子どもを保育する施設）（※）
9	居宅訪問型保育（ベビーシッター）（保育者が子どもの家庭で保育する事業）（※）
10	ファミリー・サポート・センター（会員登録した地域住民が子どもを預かる事業）（※）
11	その他〔 〕

※現在、桂川町にはありません。



- ▶ 問 12-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、現在どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。現在の利用状況と、希望する利用日数等を具体的にお答えください。(□内に数字でご記入ください。)
 ※利用時間帯は 24 時間制でお答えください。

事業番号	利用日数・利用時間・利用時間帯
	現在：1 週あたり[]日 1日あたり []時間 ([]時 []分～ []時 []分)
	希望：1 週あたり[]日 1日あたり []時間 ([]時 []分～ []時 []分)

- ▶ 問 12-3 問 12-1 で選択した事業番号のうち、主に利用している事業の実施場所はどこですか。(1つに○)

1. 桂川町	2. 飯塚市	3. 嘉麻市	4. 他の市町〔]
--------	--------	--------	------------

- ▶ 問 12-4 現在、利用されている幼稚園や保育所に対してどのように感じていますか。(1～8 それぞれ1つに○)

項目	大変満足	ほぼ満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満
1. 施設・設備	1	2	3	4	5
2. 子どもへの接し方	1	2	3	4	5
3. 教育・保育の内容	1	2	3	4	5
4. 病気やケガの時の対応	1	2	3	4	5
5. 保護者への情報伝達	1	2	3	4	5
6. 保護者の要望・意見への対応	1	2	3	4	5
7. 事故防止や災害時避難等の安全対策	1	2	3	4	5
8. 総合的な満足度	1	2	3	4	5

問 12 で「2」に○をつけた方にうかがいます。

- 問 12-5 利用していない理由は何ですか。(1つに○)

1. 子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で、利用する必要がない 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている 3. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない 4. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない 5. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない 6. 利用したいが、事業の利用要件（就労要件等）に当てはまらない 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない 8. 申し込みをしているが利用できない 9. 子どもが小さいため ⇒ ([] 歳くらいになったら利用しようと考えている) 10. その他 []
--



すべての方にうかがいます。

問 13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、今後「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

- | |
|--|
| 1. 幼稚園（通常の就園時間の利用：桂川幼稚園 等） |
| 2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） |
| 3. 認可保育所
（国が定める最低基準に適合した施設で県の認可を受けた施設：土師保育所、吉隈保育所、善来寺保育園 等） |
| 4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）（※） |
| 5. 小規模な保育施設（※）
（国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員概ね6人～19人のもの） |
| 6. 家庭的保育（保育ママ）（保護者の家庭等で子どもを保育する事業）（※） |
| 7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）（※） |
| 8. 認証・認定保育施設
（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）（※） |
| 9. その他の認可外の保育施設（認可保育所以外の子どもを保育する施設）（※） |
| 10. 居宅訪問型保育（ベビーシッター）（保育者が子どもの家庭で保育する事業）（※） |
| 11. ファミリー・サポート・センター（※）
（会員登録した地域住民が子どもを預かる事業） |
| 12. その他 [] |

※現在、桂川町にはありません。

問13 で「1.幼稚園(通常の通園時間の利用)」または「2.幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方にうかがいます。

問 13-1 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育を合わせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 13-2 問 13 で選択した事業を、利用したい場所はどこですか。(1つに○)

- | | | | |
|--------|--------|--------|-------------|
| 1. 桂川町 | 2. 飯塚市 | 3. 嘉麻市 | 4. 他の市町 [] |
|--------|--------|--------|-------------|

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の
利用状況についてうかがいます。



問 14 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いませんか。(A～Cのそれぞれについて、1つに○)

サービスの種類	A 知っている		B 利用した ことがある		C 今後 利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
1. 子育て支援センター（ひまわりのたね） （親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）						

問 15 あて名のお子さんは、現在、「子育て支援センター（ひまわりのたね）」を利用していますか。
(1つに○、また利用している場合、回数も〔 〕内に数字でご記入ください。)

1. 利用している	⇒	1ヶ月あたり	〔 〕回程度
2. 利用していない			

問 16 「子育て支援センター（ひまわりのたね）」について、現在は利用していないができれば今後利用したい、あるいは利用頻度を増やしたいと思いませんか。(1つに○) また、希望するおおよその利用回数をお答えください。(〔 〕内に数字でご記入ください。)

1. 利用していないが、今後利用したい	⇒	1ヶ月あたり	〔 〕回程度
2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい	⇒	1ヶ月あたり	〔 〕回程度
3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない			





あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 17 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます) 希望がある場合は、利用したい時間帯をお答えください。(口内に 09 時～18 時のように 24 時間制で数字をご記入ください。)(数字は一枠に一字)。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設等の事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日(口内に数字でご記入ください。)

1. 利用する必要はない	※現在、保育所等で土曜日の保育を利用されている方は、ここに○											
2. ほぼ毎週利用したい	_____ ↓											
3. 月に 1～2 回利用したい	_____ ↓											
利用したい 時間帯	□	□	時	□	□	分 から	□	□	時	□	□	分まで

(2) 日曜日・祝日(口内に数字でご記入ください。)

1. 利用する必要はない												
2. ほぼ毎週利用したい	_____ ↓											
3. 月に 1～2 回利用したい	_____ ↓											
利用したい 時間帯	□	□	時	□	□	分 から	□	□	時	□	□	分まで

現在、幼稚園を利用している方にうかがいます。利用していない方は、問 19 にお進みください。

問 18 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をお答えください。(口内に 09 時～18 時のように 24 時間制で数字をご記入ください。)(数字は一枠に一字)。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない												
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	_____ ↓											
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	_____ ↓											
利用したい 時間帯	□	□	時	□	□	分 から	□	□	時	□	□	分まで

幼児教育・保育無償化についてうかがいます。



国の方針では、2019年10月から、世帯の収入に関わらず3歳児以上の幼児教育・保育の無償化が予定されています。(利用料部分が無料。給食代などその他の部分は未定)また、0～2歳児については、住民税非課税世帯のみが無償化の対象となる予定です。

問 19 幼児教育・保育無償化が実施された場合、現在利用している教育・保育施設を継続して利用したいですか。それとも、異なる教育・保育施設を利用したいですか。(1つに○)

1. 継続して利用したい
2. 異なる教育・保育施設を利用したい
3. 現在教育・保育施設を利用していない

問 20 幼児教育・保育の無償化が実施された場合、新たにサービスを利用したり、利用するサービスを変更したいと思いますか。現状と、無償化後に希望するサービスをそれぞれ1つずつ選んでください。(あてはまる番号1つずつに○)

		現状 (利用)	無償化後 の希望
町内	公立桂川幼稚園：預かり保育なし	1	1
	公立桂川幼稚園：預かり保育を定期的に利用	2	2
	公立認可保育所：土師保育所、吉隈保育所	3	3
	私立認可保育園：善来寺保育園	4	4
町外	幼稚園：預かり保育なし	5	5
	幼稚園：預かり保育を定期的に利用	6	6
	認可保育所	7	7
	認定こども園	8	8
	その他認可外の保育施設	9	9
その他の保育施設		10	10
利用(希望)はない		11	11



**あて名のお子さんが病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

平日の定期的な教育・保育の事業を利用している方(問12で「1」に○をつけた方)にうかがいます。
定期的な教育・保育の事業を利用していない方は、問22へお進みください。

問21 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(1つに○)

1. あった ⇒ 問21-1へ

2. なかった ⇒ 問22へ

問21で「1」に○をつけた方にうかがいます。

問21-1 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字でご記入ください。

※半日程度についても1日としてカウントしてください。

1. 父親が休んだ	年間〔 〕日	} 問21-2へ
2. 母親が休んだ	年間〔 〕日	
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	年間〔 〕日	} 問22へ
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	年間〔 〕日	
5. 病児・病後児の保育を利用した	年間〔 〕日	
6. ベビーシッターを利用した	年間〔 〕日	
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	年間〔 〕日	
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間〔 〕日	
9. その他〔 〕	年間〔 〕日	

問21-1で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問21-2 その際、「できれば、病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても〔 〕内に数字でご記入ください。

※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ
医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育等を利用したかった ⇒〔 〕日

2. 利用したいと思わなかった

**あて名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う
一時預かり等の利用についてうかがいます。**



すべての方にうかがいます。

問 22 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○、1年間の利用日数も〔 〕内に数字でご記入ください。)

1. 一時預かり ※現在、桂川町にはありません (私用等理由を問わずに保育所(園)等で一時的に子どもを保育する事業)	年間〔 〕日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	年間〔 〕日
3. リフレッシュ事業 (託児ボランティア WaWa による託児支援・社会福祉協議会)	年間〔 〕日
4. ファミリー・サポート・センター ※現在、桂川町にはありません (地域住民が子どもを預かる事業)	年間〔 〕日
5. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	年間〔 〕日
6. ベビーシッター	年間〔 〕日
7. その他〔 〕	年間〔 〕日
8. 利用していない	

問 23 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。ある場合は、必要な日数もお答えください。
(必要な日数は〔 〕内に数字でご記入ください。)
※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい	年間 計〔 〕日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	年間〔 〕日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	年間〔 〕日
ウ. 不特定の就労	年間〔 〕日
エ. その他〔 〕	年間〔 〕日
2. 利用する必要はない	

問 24 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(あてはまるものすべてに○、宿泊数は〔 〕内に数字でご記入ください。)

※預け先が見つからなかった場合も含みます。

1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	年間〔 〕泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	年間〔 〕泊
	ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	年間〔 〕泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	年間〔 〕泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間〔 〕泊
	カ. その他〔 〕	年間〔 〕泊
2. なかった		



あて名のお子さんが5歳以上である人に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

あて名のお子さんが5歳以上の方にうかがいます。該当しない方は、問 28 へお進みください。

問 25 あて名のお子さんについて、小学校低学年(1年生～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○、あわせて〔 〕内に1週間のうちに過ごさせたい日数も数字でご記入ください。)

※学童保育所(放課後児童クラブ)を希望する場合は、利用時間を 24 時間制でお答えください。

【放課後子ども教室とは】

・地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動等を体験する取り組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

【学童保育所(放課後児童クラブ)とは】

・地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週〔 〕日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	週〔 〕日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室・スポーツクラブ・学習塾等)	週〔 〕日くらい
4. 児童館(※)	週〔 〕日くらい
5. 放課後子ども教室(※)	週〔 〕日くらい
6. 学童保育所(放課後児童クラブ)	週〔 〕日くらい⇒下校時から〔 〕時まで
7. ファミリー・サポート・センター(※)	週〔 〕日くらい
8. その他(公民館・公園等)	週〔 〕日くらい

※現在、桂川町にはありません。また、ひまわりアンビシャス広場、夢・人・未来塾は対象外です。



問 26 あて名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○、あわせて〔 〕内に1週間のうちに過ごさせたい日数も数字でご記入ください。)

1. 自宅	週〔 〕日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	週〔 〕日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室・スイミング・学習塾等)	週〔 〕日くらい
4. 児童館(※)	週〔 〕日くらい
5. 放課後子ども教室(※)	週〔 〕日くらい
6. 学童保育所(放課後児童クラブ)	週〔 〕日くらい⇒下校時から〔 〕時まで
7. ファミリー・サポート・センター(※)	週〔 〕日くらい
8. その他(公民館・公園等)	週〔 〕日くらい

※現在、桂川町にはありません。また、ひまわりアンビシャス広場、夢・人・未来塾は対象外です。

問 25 または 26 で「6. 学童保育所(放課後児童クラブ)」に○をつけた方にうかがいます。希望しない方は問 28 へお進みください。

問 27 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休み等長期の休暇期間中、学童保育所(放課後児童クラブ)の利用希望はありますか。(1つに○)
また、利用したい場合、時間帯をお答えください。(□内に数字でご記入ください。)

※希望する利用時間帯は 24 時間制でお答えください。

(1)土曜日

1. 利用する必要はない	
2. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	└──┬──┘
3. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	└──┬──┘
利用したい 時間帯	□□ 時 □□ 分 から □□ 時 □□ 分まで

(2)日曜日・祝日

1. 利用する必要はない	
2. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	└──┬──┘
3. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	└──┬──┘
利用したい 時間帯	□□ 時 □□ 分 から □□ 時 □□ 分まで

(3)夏休み・冬休み等長期の休暇期間中

1. 利用する必要はない	
2. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	└──┬──┘
3. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	└──┬──┘
利用したい 時間帯	□□ 時 □□ 分 から □□ 時 □□ 分まで



育児休業や短時間勤務制度等職場の 両立支援制度についてうかがいます。

すべての方にうかがいます。

問 28 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかまたは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、該当する〔 〕内に数字をご記入ください。(①母親、②父親ごとに1つに○)

※取得した(取得中である)の場合は、取得期間をお答えください。

※取得していない場合は、その理由を下の表から該当する番号を選び(あてはまるものすべてに○)お答えください。



①母親(1つに○)	②父親(1つに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である) ⇒取得期間〔 〕年〔 〕ヶ月	2. 取得した(取得中である) ⇒取得期間〔 〕年〔 〕ヶ月
3. 取得していない その理由を下の番号から選んで記入(あてはまるものすべてに○)	3. 取得していない その理由を下の番号から選んで記入(あてはまるものすべてに○)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格等が遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所等に預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他〔 〕

次のページの間 29 は、問 28 で父親または母親が「2. 取得した(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 30 へお進みください。



問 29 育児休暇取得後、職場に復帰しましたか。(1つに○)

①母親(1つに○)	②父親(1つに○)
1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である ⇒問 29-4 へ 3. 育児休業中に離職した ⇒問 30 へ	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である ⇒問 29-4 へ 3. 育児休業中に離職した ⇒問 30 へ

▶ 問 29 で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた母親または父親にうかがいます。

問 29-1 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所(園)入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。
(①母親、②父親ごとに1つに○)

※年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育所(園)に入園できなかったという場合も「1」を選択してください。

①母親(1つに○)	②父親(1つに○)
1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった	1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

▶ 問 29 で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた母親または父親にうかがいます。

問 29-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。(〔 〕に数字でご記入ください。)

①母親	②父親
実際の取得期間 〔 〕歳〔 〕ヶ月 希 望〔...〕歳〔...〕ヶ月	実際の取得期間 〔 〕歳〔 〕ヶ月 希 望〔 〕歳〔 〕ヶ月

▶ 問 29-2で実際の復帰と希望が異なる人にうかがいます。

問 29-3 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1)希望より早く復帰した人

①母親(あてはまるものすべてに○)	②父親(あてはまるものすべてに○)
1. 希望する保育所(園)に入園するため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他〔 〕	1. 希望する保育所(園)に入園するため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他〔 〕

(2)希望より遅く復帰した人

①母親(あてはまるものすべてに○)	②父親(あてはまるものすべてに○)
1. 希望する保育所(園)に入れなかったため 2. 自分や子ども等の体調が悪くなかったため 3. 家族や配偶者の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他〔 〕	1. 希望する保育所(園)に入れなかったため 2. 自分や子ども等の体調が悪くなかったため 3. 家族や配偶者の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他〔 〕



問 29 で「2.現在も育児休業中である」に○をつけた母親または父親にうかがいます。

問 29-4 お子さんが1歳になったときに必ず預けられるサービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。それとも、預けられるサービスがあっても1歳になる前に復帰しますか。(①母親、②父親ごとに1つに○)

①母親(1つに○)	②父親(1つに○)
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい

児童虐待についてうかがいます。

すべての方にうかがいます。

問 30 お住まいの地域で「子どもへの虐待」と思われることを見聞きしたことはありますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 実際に見聞きしたことがある | 2. 他人から聞いたことがある |
| 3. ない | |

▶ 問 30-1は、問 30 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-1 虐待を見聞きした時、あなたはどのような対応をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 警察に通報した | 2. 役場や児童相談所に連絡した |
| 3. 保育所や幼稚園、学校などに連絡した | 4. 自分の家族や親族に相談した |
| 5. 隣近所の地域の知り合いなどに相談した | 6. 虐待の当事者と直接話をした |
| 7. その他〔 | 〕 8. 特に何もしなかった |

子育て全般についてうかがいます。

すべての方にうかがいます。

問 31 桂川町は子育てしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかというそう思う |
| 3. どちらかというそう思わない | 4. そう思わない |
| 5. わからない | |



問 32 桂川町の子育て支援策についての「満足度」と「重要度」についてお知らせください。

①あなたは、各項目の現状について程度満足していますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

①あなたは、各項目の現状について程度重要視していますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

評価等 項目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない
■記載例 1. 親子が安心して集まれる身近な場	①	2	3	4	5	1	②	3	4	5
1. 親子が安心して集まれる身近な場 (子育て支援センター「ひまわりのたね」等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 親子で楽しめるイベントの開催 (園庭開放、親子ピクス、わんぱく教室等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所 (児童遊園、地域の公園等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 子育てに困った時に相談したり情報が得られる場 (子育て支援センター「ひまわりのたね」、 各種健診、教室等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 保育所 (保育所の数、サービスの量・質、費用負担等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 幼稚園 (幼稚園の数、サービスの量・質、費用負担等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 学童保育所(放課後児童クラブ) (学童保育所(放課後児童クラブ)の数、 サービスの量・質、費用負担等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 子育てに関する医療・保健体制 (乳幼児医療体制、母子保健サービス・健診等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 家庭状況に応じた子育て支援 (ひとり親家庭の日常生活支援、障がい児の 支援事業等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. 子育てについて学べる機会 (妊婦・乳幼児健診、母親学級、各種教室等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 子どもの安全・安心 (地域での見守り、子ども110番の家、虐待 防止対策の推進、安全な歩道整備等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

桂川町子ども・子育て支援に関するニーズ調査 — 小学生児童保護者用 —

《調査ご協力についてのお願い》

皆様には、日頃より町政にご理解とご協力をたまり、誠にありがとうございます。

桂川町では、このたび町民の皆様の子育て支援に関する実態やご要望・ご意見等を把握するための「桂川町子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施いたします。

この調査は、今後5年間の桂川町における教育・保育事業や地域子育て支援事業の見込みと対応策を掲げる「第2期桂川町子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎資料となります。

お忙しいところ恐れ入りますが、町の子育て支援策の向上のため、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なおこの調査は、小学生のお子さんの保護者の方を対象にしております。

ご回答いただいた内容は、桂川町や国・県の子ども・子育て支援施策のために利用させていただきますものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用することは一切ございません。

令和元年7月

桂川町長 井上 利一



ご記入にあたってのお願い

- ① 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- ② アンケートには、お子さんの身の回りの世話等を主にしている保護者の方がご記入ください。
- ③ ご回答は、選択肢に○を付けてお選びいただく場合と、数字等を具体的にご記入いただく場合がございます。
- ④ 設問または回答した選択肢によっては、一部の方だけに回答をお願いしている設問があります。その場合は説明文、矢印等に従ってお答えください。
- ⑤ “○”をつける数については、“(1つに○)”、“(あてはまるものすべてに○)”等の案内がありますので、設問ごとの案内にしたがってください。
※選択肢「その他」に“○”をした場合、具体的な内容を〔 〕内にご記入ください。
- ⑥ ご記入がすみでしたら、お手数ですが...

※学校で配布された方は、同封の返信用封筒に入れて、7月17日(水)までに学校に提出してください。

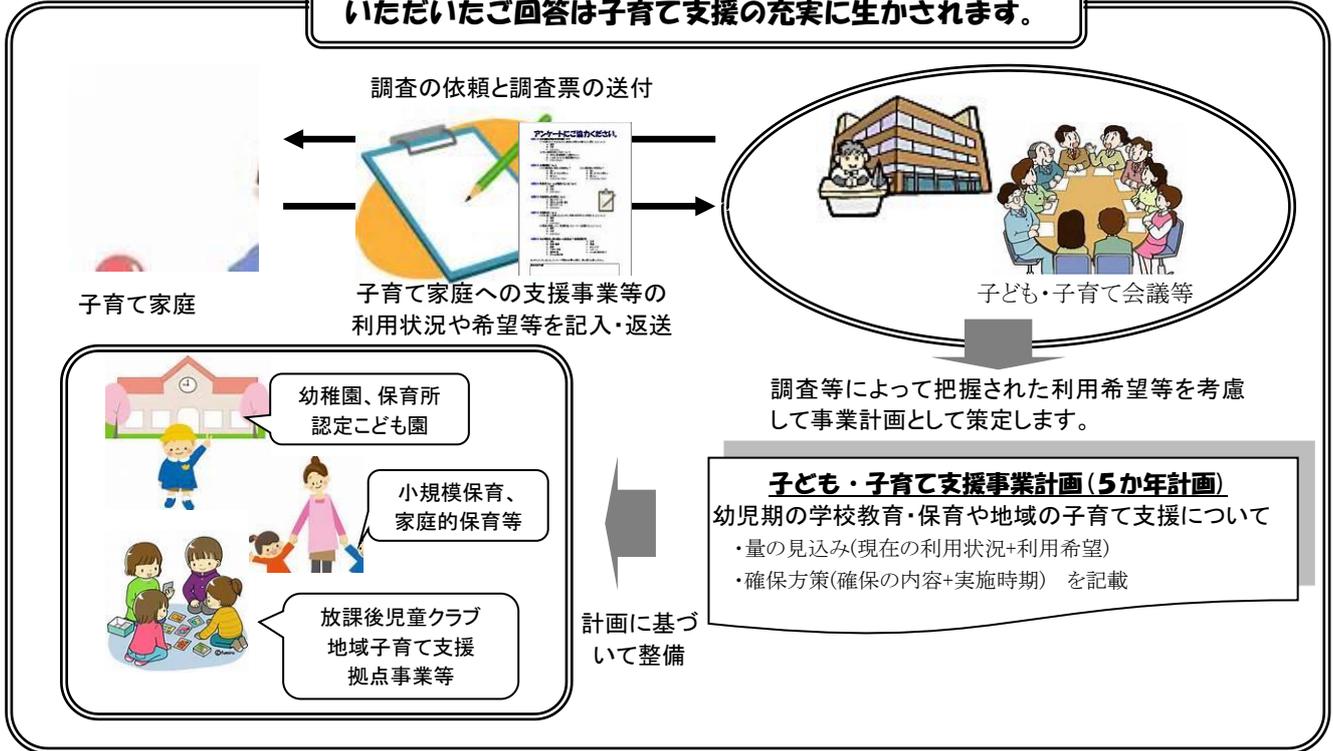
※郵便で送られてきた方は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、7月17日(水)までにポストにご投函ください。

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

桂川町 子育て支援課 担当：大浦・坂本
電話：65-0081 F A X：65-0098



いただいたご回答は子育て支援の充実に生かされます。



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

幼稚園 : 学校教育法に定める3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第 22 条)

保育所 : 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第 39 条)

認定こども園 : 幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)

子育て : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援



あて名のお子さんのことや子育て環境についてうかがいます。



問1 お住まいの小学校区を教えてください。(1つに○)

1. 桂川小学校

2. 桂川東小学校

問2 あて名のお子さんの生年月と学年をご記入ください。(□内に数字でご記入ください。)

西暦

年

月生まれ

年生

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。(□内に数字でご記入ください。)

きょうだい数

人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみて、続柄は何ですか。(1つに○)

1. 母親

2. 父親

3. その他〔 〕

問5 この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか。(1つに○)

1. 配偶者がいる

2. 配偶者がいない

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている人はだれですか。(1つに○)

※続柄はあて名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 父母ともに

2. 主に母親

3. 主に父親

4. 主に祖父母

5. その他〔 〕

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問8 子育てについて、気軽に相談できる人はだれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親族
2. 友人・近所の人・保護者仲間
3. 保育士や幼稚園・学校等の先生
4. 病院の医師・看護師・助産師
5. 役場や社会福祉協議会等の職員
6. 区長、民生委員・児童委員
7. その他〔 〕
8. だれもない



あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問9 現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてうかがいます。

(①母親、②父親それぞれあてはまる欄に○、選択肢によっては日数や時間等も回答)

※以下の就労形態は、もっとも多い就労形態についてお答えください。

※家を出る時間と帰宅時間は24時間制(分単位を切り捨て)でお答えください。(例:18時)
時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。

※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

※フルタイムとは、常勤・非常勤に関わらず週5日程度かつ1日8時間程度の就労のこと。

※パート・アルバイト等とは、フルタイム以外の就労のこと。

①母親【父子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ ①-1へ
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ ②へ
6. これまで就労したことがない	

①で「1」～「4」に○をした方にうかがいます。

▶ ①-1 週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
(〔 〕内に数字でご記入ください。)

1週あたり	〔 〕日	1日あたり	〔 〕時間
-------	------	-------	-------

▶ ①-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
(24時間制で〔 〕内に数字でご記入ください。)

家を出る時刻	〔 〕時	帰宅時刻	〔 〕時
--------	------	------	------



②父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	⇒ ②-1へ
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ 問 11 へ
6. これまで就労したことがない	

②で「1」～「4」に○をした方にうかがいます。

②-1 週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
(〔 〕内に数字でご記入ください。)

1週あたり	〔 〕日	1日あたり	〔 〕時間
-------	------	-------	-------

②-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
(24時間制で〔 〕内に数字でご記入ください。)

家を出る時刻	〔 〕時	帰宅時刻	〔 〕時
--------	------	------	------

問9の①または②で「3」または「4」に○をした方にうかがいます。該当しない方は、問 11 へお進みください。

問 10 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

①母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

②父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい



問9の①または②で「5」または「6」に○をした方にうかがいます。該当しない方は、問12へお進みください。

問11 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する〔 〕内には数字をご記入ください。

①母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 2. 1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
- | |
|-----------------------------|
| ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） |
| イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外） |
| →1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間 |

②父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 2. 1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
- | |
|-----------------------------|
| ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） |
| イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外） |
| →1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間 |



あて名のお子さんの学童保育所(放課後児童クラブ)の 利用についてうかがいます。



すべての方にうかがいます。

問 12 お子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○、あわせて〔 〕内に1週間のうちに過ごさせたい日数も数字でご記入ください。)

※学童保育所(放課後児童クラブ)を希望する場合は、利用時間を24時間制でお答えください。

【放課後子ども教室とは】

・地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動等を体験する取り組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

【学童保育所(放課後児童クラブ)とは】

・地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週〔 〕日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	週〔 〕日くらい
3. 習い事(ピアノ教室・スポーツクラブ・学習塾等)	週〔 〕日くらい
4. 児童館(※)	週〔 〕日くらい
5. 放課後子ども教室(※)	週〔 〕日くらい
6. 学童保育所(放課後児童クラブ)	週〔 〕日くらい ⇒下校時から〔 〕時まで
7. ファミリー・サポート・センター(※)	週〔 〕日くらい
8. その他(公民館・公園等)	週〔 〕日くらい

※現在、桂川町にはありません。またひまわりアンビシャス広場、夢・人・未来塾は対象外です。



すべての方にかがいます。

問 13 あて名のお子さんについて、今後の学童保育所(放課後児童クラブ)の利用意向はありますか。現在利用中の方もお答えください。(それぞれ1つに○) 利用を希望する場合は、週あたりの利用希望日数と平均的な利用時間帯もお答えください。

※利用時間帯は 24 時間制でお答えください。

(1)平日

1. 利用する必要はない

2. 利用したい → ◆週あたりの利用日数 () 日

希望する
利用時間帯

下校時間から [] 時 [] 分まで

(2)土曜日

1. 利用する必要はない

2. 利用したい → ◆月あたりの利用日数 () 日

希望する
利用時間帯

[] 時 [] 分から [] 時 [] 分まで

(3)夏休みや冬休み等長期の休暇期間中

1. 利用する必要はない

2. 利用したい → ◆週あたりの利用日数 () 日

希望する
利用時間帯

[] 時 [] 分から [] 時 [] 分まで

問 13 の(1)から(3)のいずれかで「2. 利用したい」に○をした方にかがいます。

問 13-1 学童保育所(放課後児童クラブ)に対して、どのようなことを希望しますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 利用時間の延長

2. 日曜日・祝日の保育

3. 施設・設備の改善

4. 学習・生活習慣づくりの充実

5. おやつ充実

6. その他 []

7. 現在のままでよい

あて名のお子さんが病気の際の対応についてうかがいます。



すべての方にうかがいます。

問 14 この年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休むことはありましたか。

1. あった ⇒ 問 14-1へ

2. なかった ⇒ 問 15へ

問 14で「1. あった」に○をした方にうかがいます。

問 14-1 この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字でご記入ください。

※半日程度についても1日としてカウントしてください。

1. 父親が休んだ	年間〔 〕日	} 問 14-2へ
2. 母親が休んだ	年間〔 〕日	
3. (同居者を含む)親族・知人に預けた	年間〔 〕日	} 問 15へ
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	年間〔 〕日	
5. 病児・病後児保育を利用した	年間〔 〕日	
6. ベビーシッターを利用した	年間〔 〕日	
7. ファミリー・サポート・センターを利用した ※現在、桂川町にはありません	年間〔 〕日	
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間〔 〕日	
9. その他〔 〕	年間〔 〕日	

問 14-1で「1」または「2」に○をした方にうかがいます。

問 14-2 その際、「できれば、病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても〔 〕内に数字でご記入ください。

※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育等を利用したかった	⇒〔 〕日
2. 利用したいと思わなかった	



**あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う
一時預かり等の利用についてうかがいます。**

すべての方にうかがいます。

問 15 あて名のお子さんについて、病気等のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○、1年間のおおよその利用日数も〔 〕内に数字でご記入ください。)

1. ファミリー・サポート・センター (※現在、桂川町にはありません) (地域住民が子どもを預かる事業)	年間〔 〕日
2. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (※現在、桂川町にはありません) (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	年間〔 〕日
3. 休日等保育事業 (保護者の仕事、冠婚葬祭、病気、介護等により日曜、祝日に家庭で看ることができない小学生児童を預かる事業)	年間〔 〕日
4. ベビーシッター	年間〔 〕日
5. その他〔 〕	年間〔 〕日
6. 利用していない	

問 16 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。 ある場合は、必要な日数もお答えください。(必要な日数は〔 〕内に数字でご記入ください。)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい	年間 計〔 〕日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	年間〔 〕日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	年間〔 〕日
ウ. 不定期の就労	年間〔 〕日
エ. その他〔 〕	年間〔 〕日
2. 利用する必要はない	

問 17 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(あてはまるものすべてに○、宿泊数は〔 〕内に数字でご記入ください。)

※預け先が見つからなかった場合も含みます。

1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	年間〔 〕泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	年間〔 〕泊
	ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	年間〔 〕泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	年間〔 〕泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間〔 〕泊
	カ. その他〔 〕	年間〔 〕泊
2. なかった		



問 20 桂川町の子育て支援策についての「満足度」と「重要度」についてお知らせください。

①あなたは、各項目の現状について程度満足していますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

①あなたは、各項目の現状について程度重要視していますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

評価等 項目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない
■記載例 1. 親子が安心して集まれる身近な場	①	2	3	4	5	1	②	3	4	5
1. 親子が安心して集まれる身近な場 (子育て支援センター「ひまわりのたね」等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 親子で楽しめるイベントの開催 (園庭開放、親子ピクス、わんぱく教室等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所 (児童遊園、地域の公園等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 子育てに困った時に相談したり情報が得られる場 (子育て支援センター「ひまわりのたね」、 各種健診、教室等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 保育所 (保育所の数、サービスの量・質、費用負担等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 幼稚園 (幼稚園の数、サービスの量・質、費用負担等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 学童保育所(放課後児童クラブ) (学童保育所(放課後児童クラブ)の数、 サービスの量・質、費用負担等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 子育てに関する医療・保健体制 (乳幼児医療体制、母子保健サービス・健診等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 家庭状況に応じた子育て支援 (ひとり親家庭の日常生活支援、障がい児の 支援事業等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. 子育てについて学べる機会 (妊婦・乳幼児健診、母親学級、各種教室等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 子どもの安全・安心 (地域での見守り、子ども110番の家、虐待 防止対策の推進、安全な歩道整備等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 21 桂川町の子育て支援に関するご意見や感想等をご自由にお書きください。





調査にご協力いただき、

誠にありがとうございました。

※学校で配布された方は、同封の返信用封筒に入れて、
7月17日（水）までに学校に提出してください。

※郵送で送られてきた方は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
7月17日（水）までにポストにご投函ください。



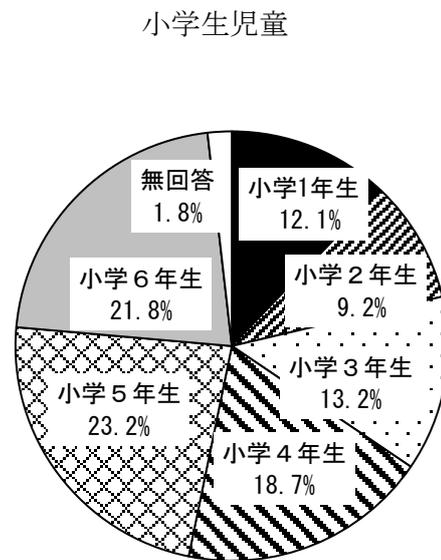
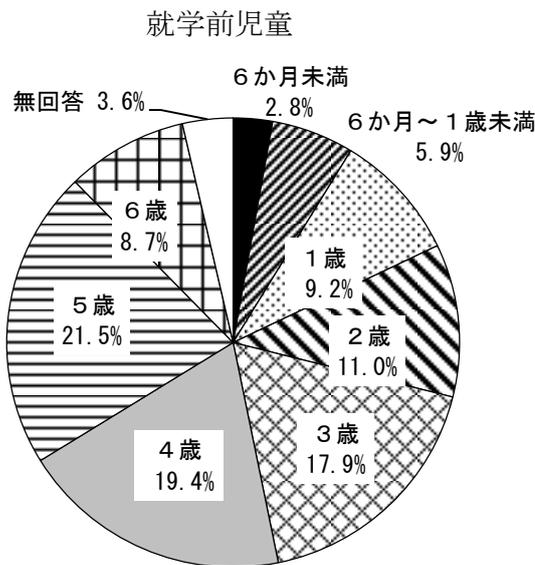
桂川町子ども・子育て支援に関する ニーズ調査結果の概要

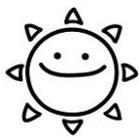


調査の概要

調査の目的	<p>国において平成 24 年8月に「子ども・子育て関連3法」が制定され、基礎自治体である市町村に「子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務づけられました。</p> <p>これを受けて、本調査は、平成 27 年度を初年度とする『桂川町子ども・子育て支援事業計画』の策定に向けて、町民の子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するために、「桂川町子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施しました。</p>	
区 分	就学前児童調査	小学生児童調査
調査対象者	就学前児童全員の保護者	小学校1年～6年の全児童の保護者
調査方法	町内の幼稚園や保育所に通っている児童については、幼稚園、保育所で配布・回収し、それ以外の児童については、郵送による配布・回収を実施	町内の小学校に通っている児童については、小学校で配布・回収し、それ以外の児童については、郵送による配布・回収を実施
調査期間	令和元年 7 月 3 日(水)～7 月 17 日(水)	令和元年 7 月 3 日(水)～7 月 17 日(水)
回収状況	配布数 462 件 回収数 391 件 回収率 84.6%	配布数 513 件 回収数 380 件 回収率 74.1%

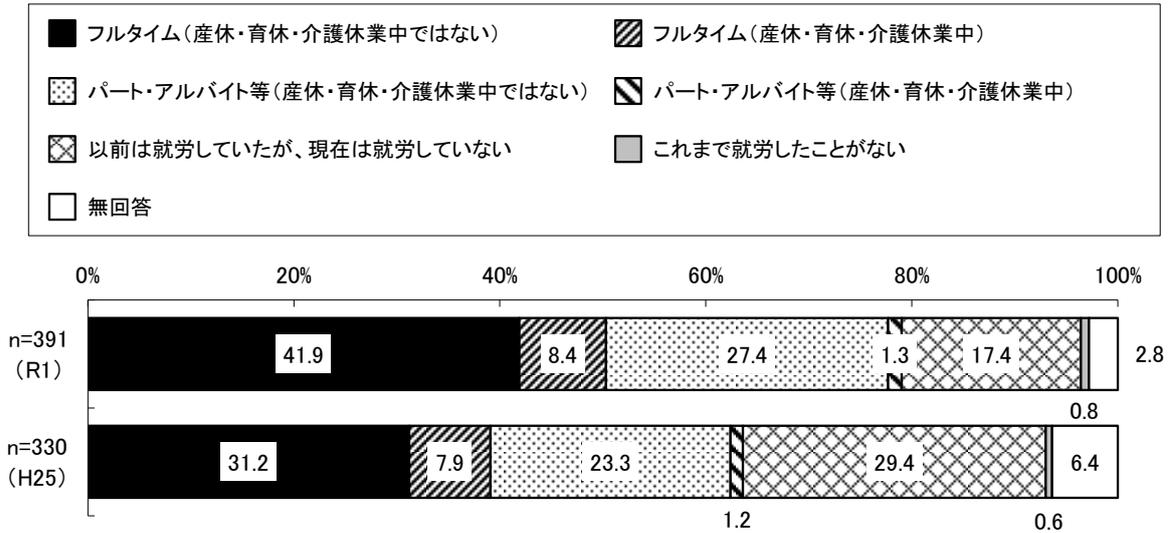
対象児童・生徒の年齢構成



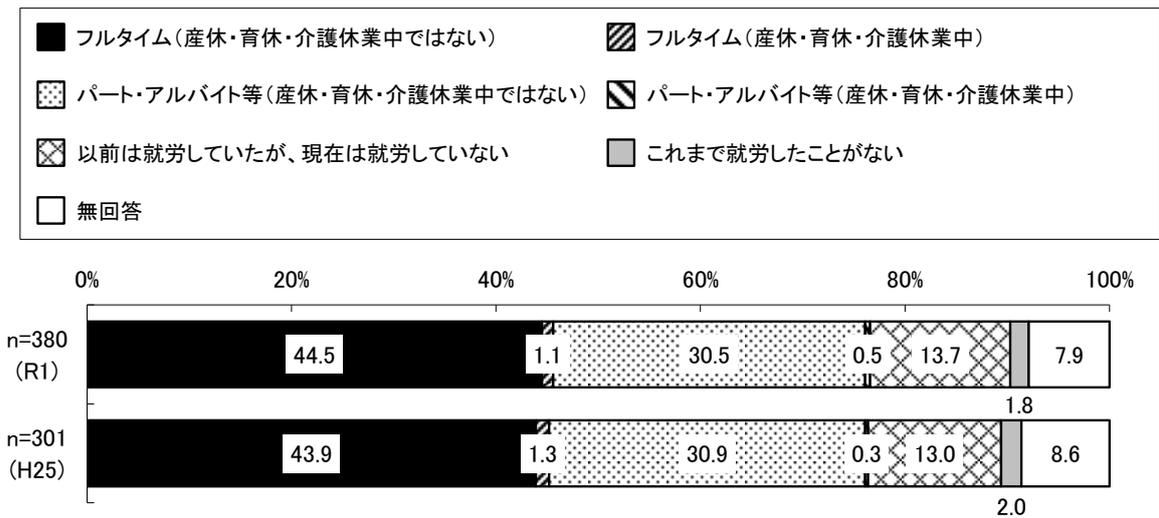


母親・父親の就業形態

母親（就学前児童）



母親（小学生児童）



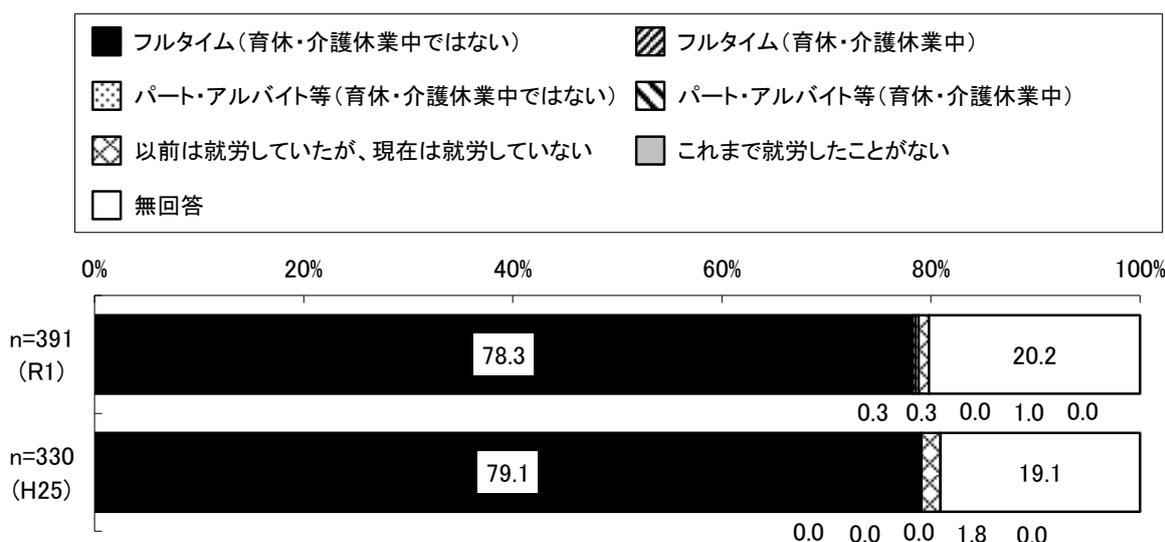
母親の就労状況は、就学前児童、小学生児童ともに「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（就学前児童 41.9%、小学生児童 44.5%）が最も多くなっています。次いで就学前児童、小学生児童ともに「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（就学前児童 27.4%、小学生児童 30.5%）が続いています。

前回調査結果との比較では、小学生児童では大きな差はみられませんが、就学前児童で、フルタイムを中心に就労している人の割合が高くなっています。

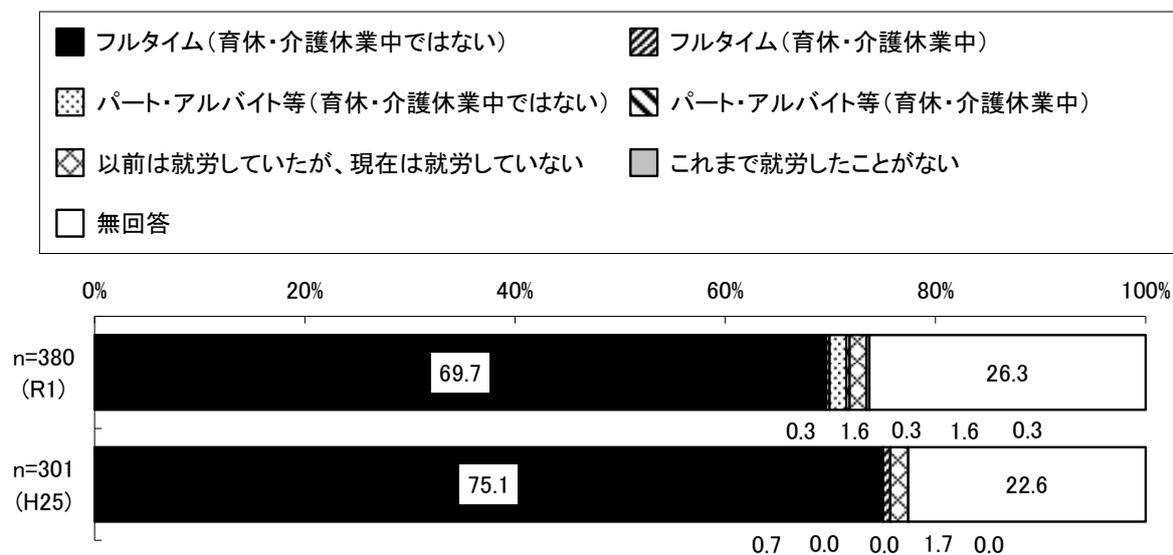




父親（就学前児童）



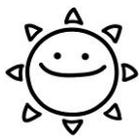
父親（小学生児童）



父親の就労状況では、就学前児童、小学生児童のいずれも「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（就学前児童 78.3%、小学生児童 69.7%）が高い割合を占めています。

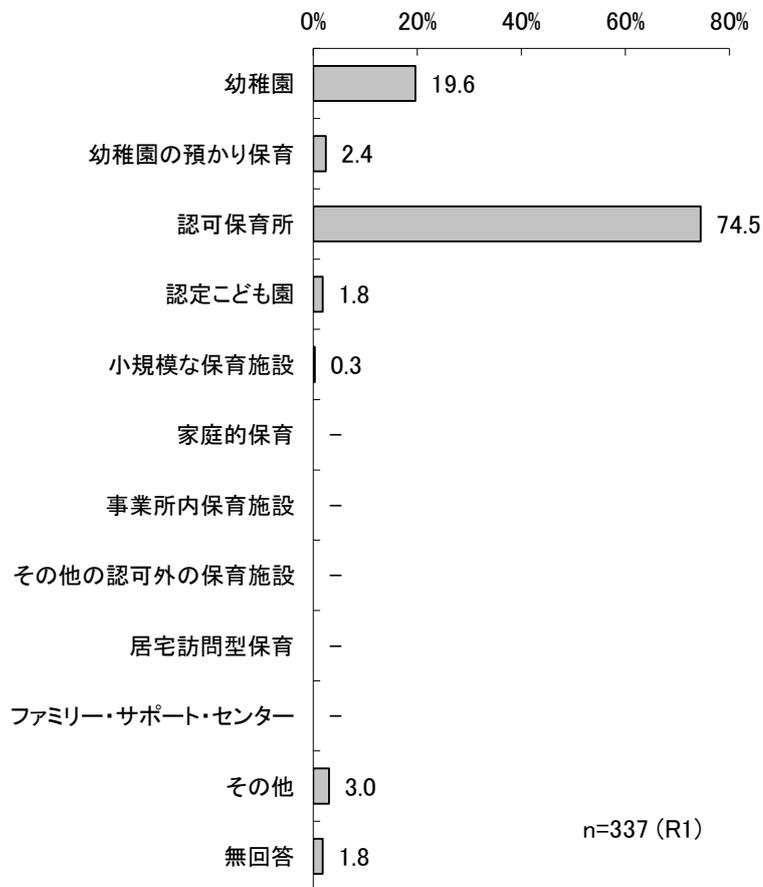
前回調査結果との比較では、特に大きな差はみられませんでした。





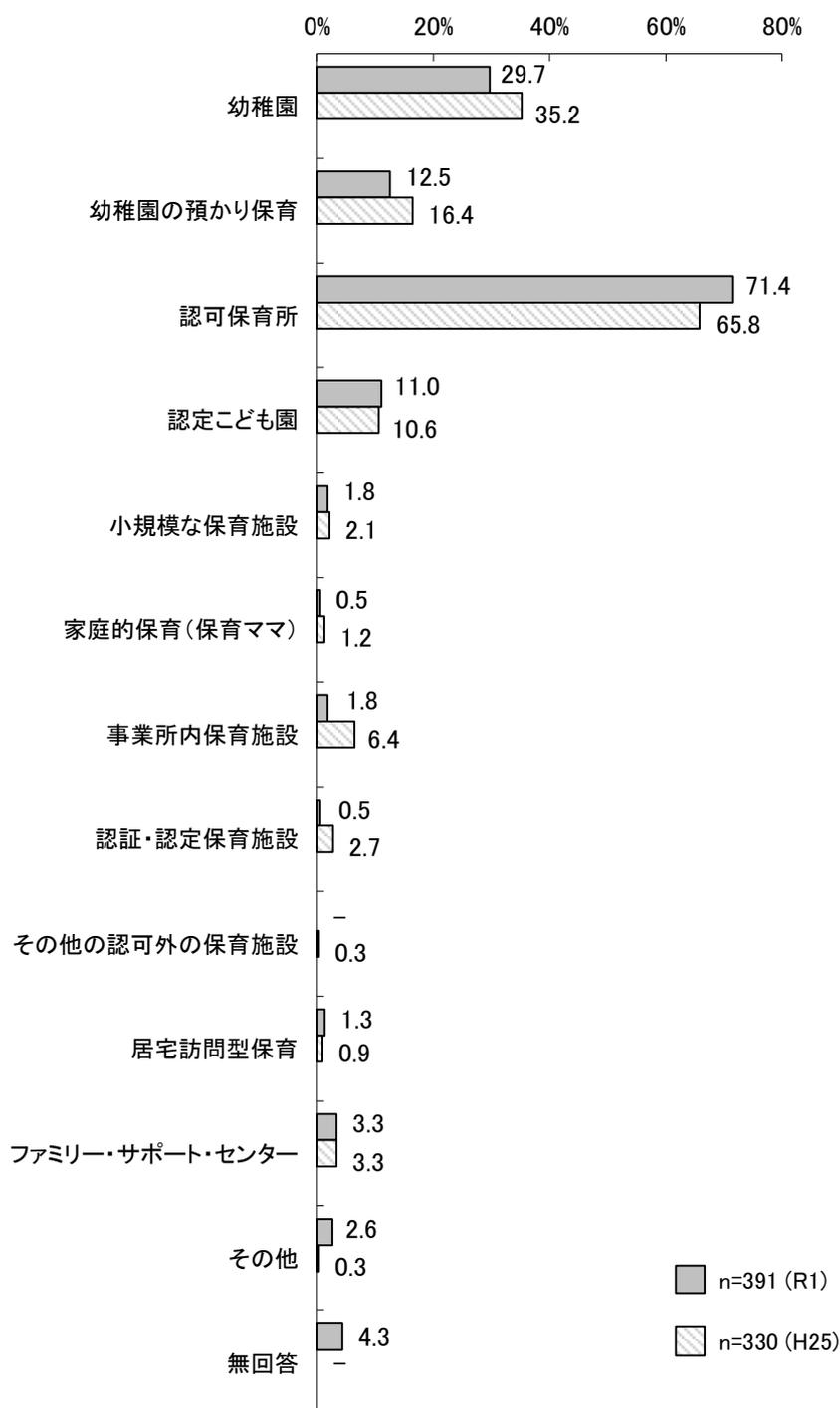
幼稚園、保育所等の利用状況と今後の利用希望

就学前児童



平日に定期的にご利用している教育・保育の事業をたずねたところ、「認可保育所」(74.5%)が最も多く、次いで「幼稚園」(19.6%)となっています。

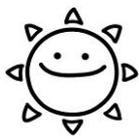




平日の教育・保育事業として定期的にご利用したい事業では、「認可保育所」(71.4%)が最も多く、次いで「幼稚園」(29.7%)、「幼稚園の預かり保育」(12.5%)「認定こども園」(11.0%)となっています。

前回調査結果との比較では、今回「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」の割合がやや低くなっており、「認可保育所」の割合が高くなっています。

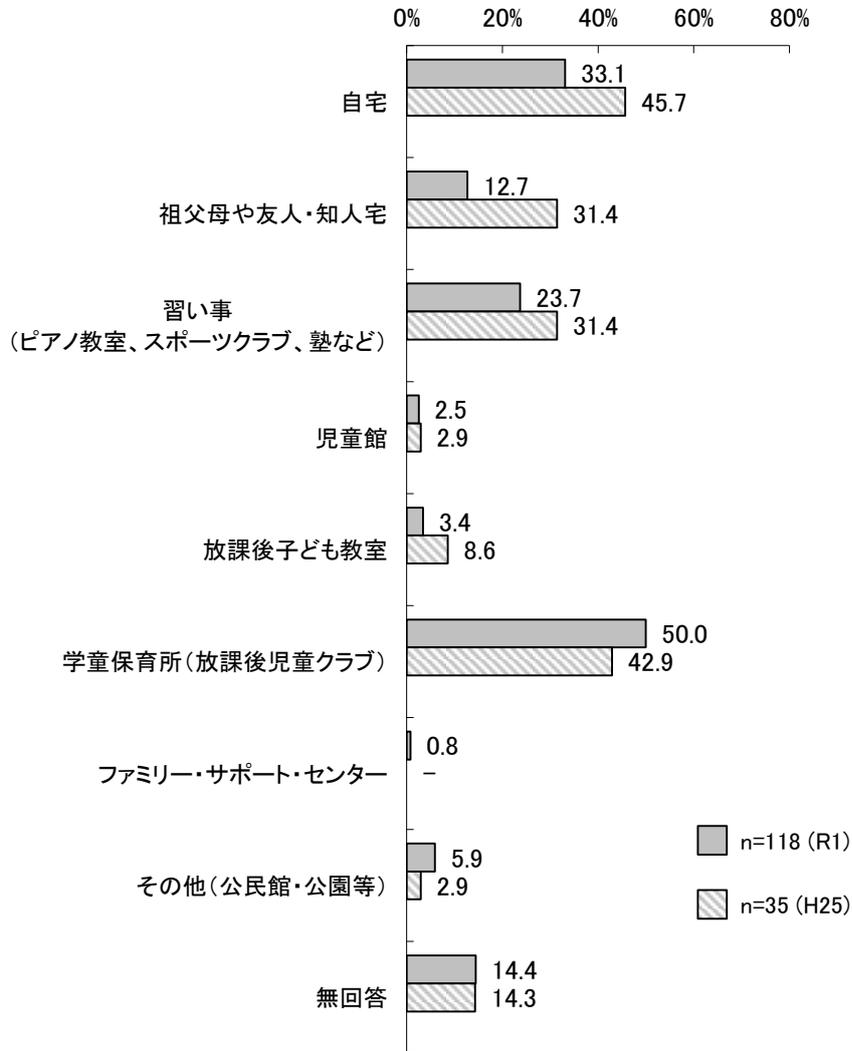




放課後児童クラブについて

平日の放課後の過ごし方（低学年の時）

就学前児童



子どもが5歳以上の保護者に、小学校低学年の放課後の過ごし方の希望についてたずねた結果では、「学童保育所(放課後児童クラブ)」(50.0%)が最も多く、次いで「自宅」(33.1%)となっています。

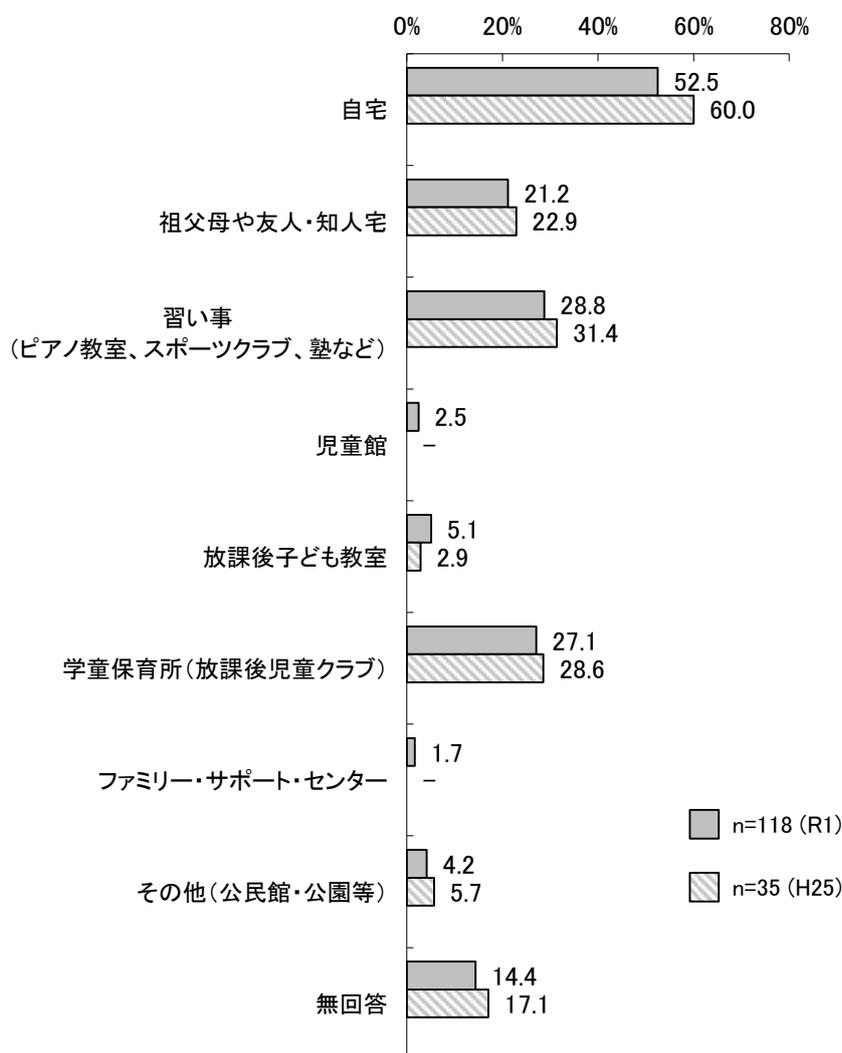
前回調査結果との比較では、今回「学童保育所(放課後児童クラブ)」の割合が高く、「自宅」「祖父母や友人・知人宅」「習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、塾など)」「放課後子ども教室」などの割合が低くなっています。





平日の放課後の過ごし方（高学年の時）

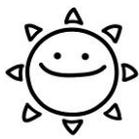
就学前児童



子どもが5歳以上の保護者に、小学校高学年の放課後の過ごし方の希望についてたずねた結果では、「自宅」(52.5%)が最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、塾など)」(28.8%)、「学童保育所(放課後児童クラブ)」(27.1%)が続いています。

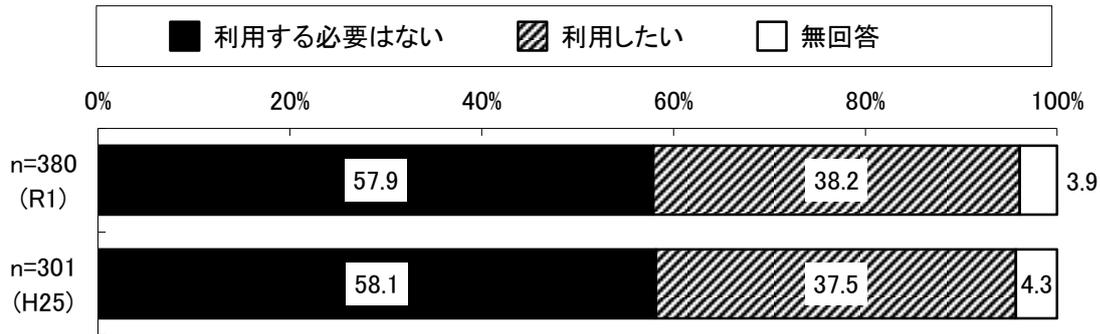
前回調査結果との比較では、今回「児童館」「放課後子ども教室」「ファミリー・サポート・センター」以外の割合が低くなっています。





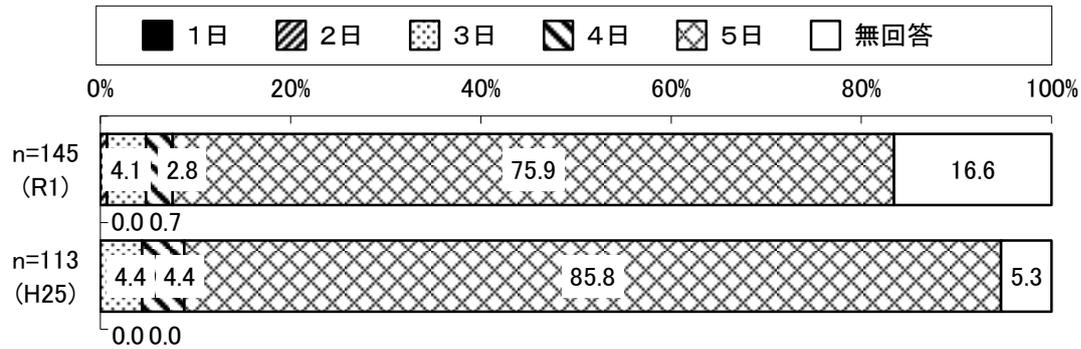
小学生児童

(1) 平日



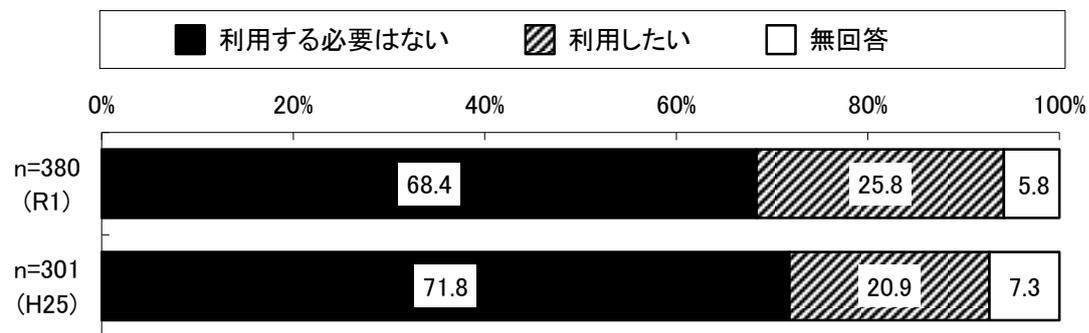
平日の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望については、「利用する必要はない」（57.9%）、「利用したい」（38.2%）となっています。

週あたり利用日数



また、希望者に利用日数と時間帯についてたずねたところ、週あたり日数では「5日」（75.9%）が最も多くなっています。

(2) 土曜日

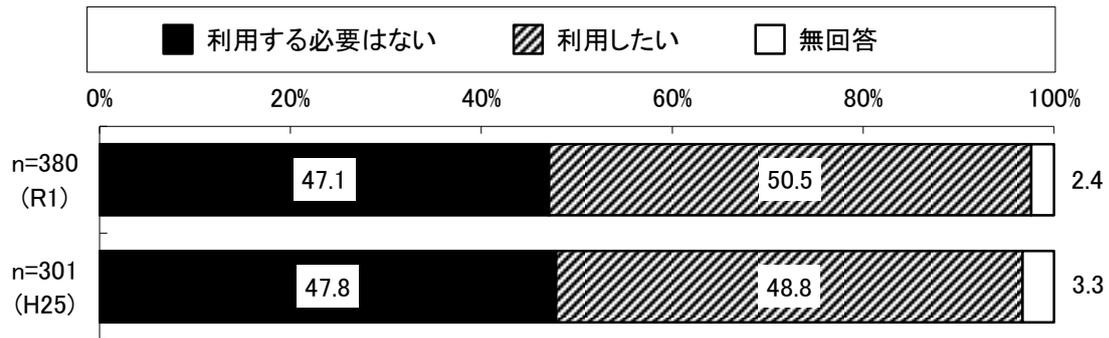


土曜日の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望については、「利用する必要はない」が68.4%、「利用したい」は25.8%となっています。



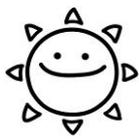


(3) 夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中について



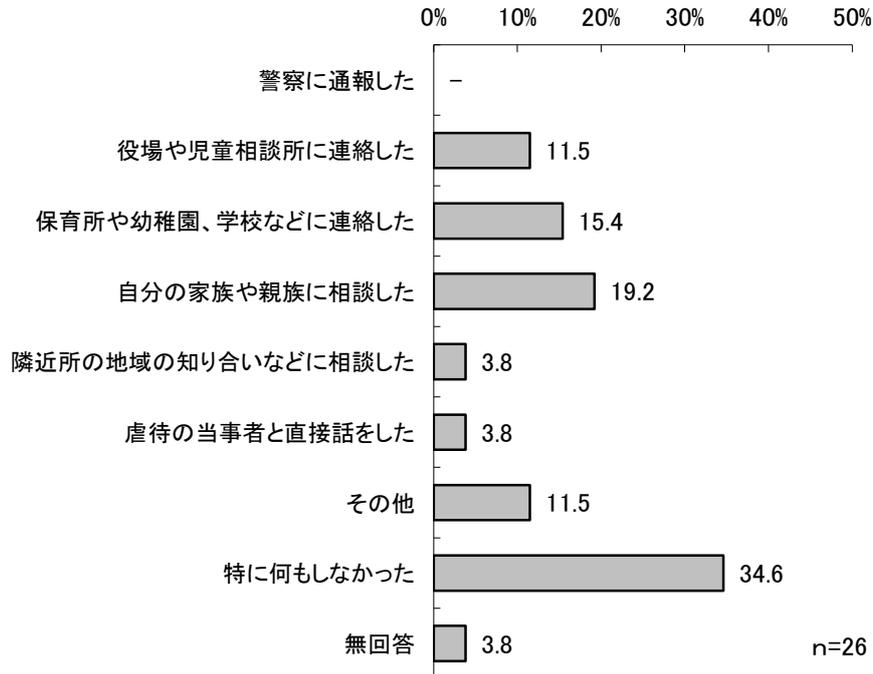
長期休暇中の学童保育所（放課後児童クラブ）の利用希望については、「利用したい」が50.5%、「利用する必要はない」は47.1%となっています。



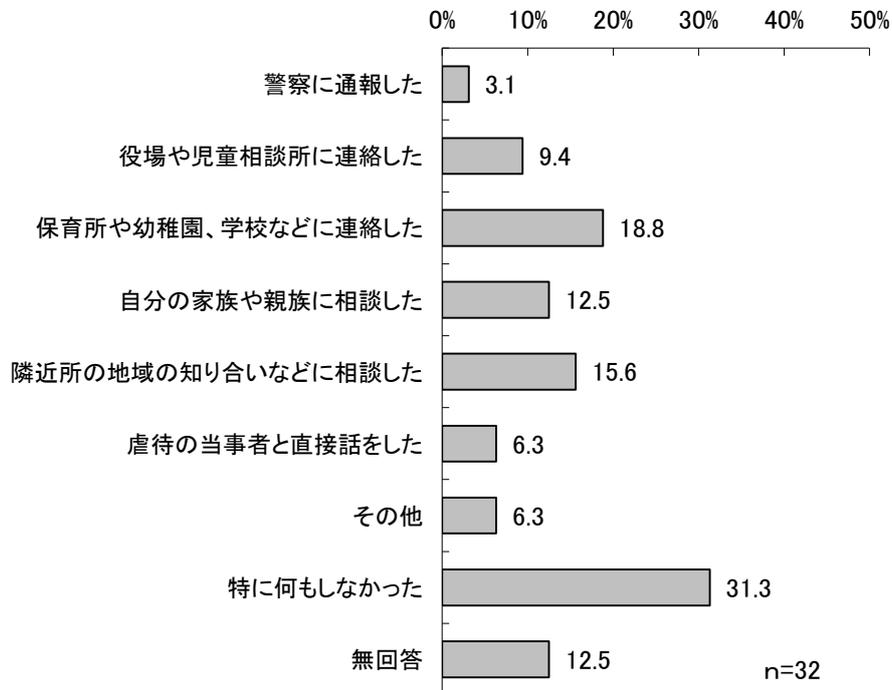


児童虐待について

就学前児童 児童虐待を受けたと思われる児童を発見した場合の対処法



小学生児童 児童虐待を受けたと思われる児童を発見した場合の対処法



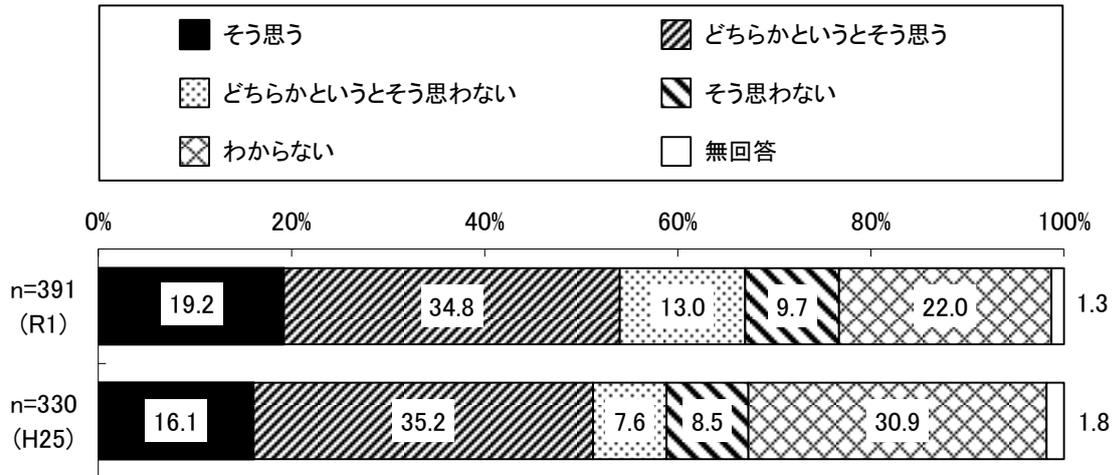
虐待を見聞きしたときの対処法については、就学前児童、小学生児童ともに「特に何もしなかった」（就学前児童 34.6%、小学生児童 31.3%）が最も多くなっています。



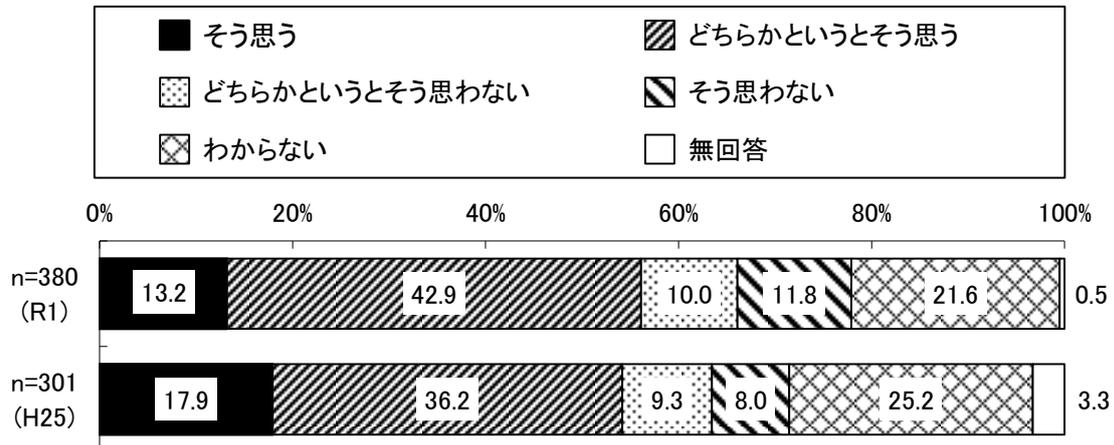


子育てに対する桂川町への評価

就学前児童



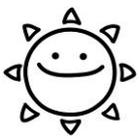
小学生児童



桂川町は子育てしやすいまちと思うかたずねたところ、就学前児童、小学生児童ともに「どちらかというと思う」（就学前児童 34.8%、小学生児童 42.9%）が最も多く、次いで「わからない」（就学前児童 22.0%、小学生児童 21.6%）となっています。

この結果、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかというと思う」）は、就学前児童で 54.0%、小学生児童では 56.1%となっています。この割合は、就学前児童、小学生児童ともに、前回調査結果より高くなっています。





子ども・子育て支援新制度について

子ども・子育て関連3法

◆3法とは

子ども・子育て支援法・認定こども園法の一部改正法・子ども・子育て支援法等の施行に伴う関係法律整備法

◆3法の趣旨

幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進

◆主なポイント

○認定こども園制度の改善

・幼保連携型認定こども園の許可・指導監督を一本化、学校及び児童福祉施設としての法的位置づけ

○認定こども園、幼稚園、保育所を通じた共通の給付(「施設型給付」)及び小規模保育等への給付(「地域型保育給付」)の創設

○地域の子ども・子育て支援の充実(利用者支援、地域子育て支援拠点等)

○基礎自治体(市町村)が実施主体

・市町村が地域のニーズにも基づき計画を策定、給付・事業を実施

○社会全体による費用負担

・消費税の引き上げによる、国及び地方の恒久財源の確保

○子ども・子育て会議の設置

・国に有識者、地方公共団体、事業主代表・労働者代表、子育て当事者、子育て支援当事者等が子育て支援の政策プロセス等に参画・関与(市町村等における設置は努力義務)



桂川町子ども・子育て支援に関するニーズ調査 報告書

発行年月日	令和元年 9 月
発 行	福岡県 桂川町
編 集	桂川町子育て支援課
	〒820-0693 福岡県嘉穂郡桂川町大字土居 361 番地
	電話 0948-65-0081 FAX 0948-65-0098